

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

図面番号	図面名	図面番号	図面名
A- 01	建築工事特記仕様書（その1）	A- 22	（仮設校舎）電気設備図
02	建築工事特記仕様書（その2）	23	（仮設校舎）コンセント設備図
03	建築工事特記仕様書（その3）	24	（仮設校舎）弱電設備図
04	建築工事特記仕様書（その4）	25	（仮設校舎）動力設備図
05	建築工事特記仕様書（その5）	26	（仮設校舎）系統図
06	建築工事特記仕様書（その6）	27	（仮設校舎）自動火災報知設備図
07	建築工事特記仕様書（その7）	28	（仮設校舎）誘導灯設備図
08	解体工事特記仕様書	29	（仮設校舎）給排水設備配置図・平面図
09	案内図、全体配置図、仮設参考図	30	（仮設校舎）換気設備図
10	（仮設校舎）仮設校舎周辺配置図	31	（仮設校舎）空調設備機器リスト（リースエアコン）
11	（仮設校舎）設計概要・仕上表	32	（仮設校舎）空調設備（リースエアコン）平面図
12	（仮設校舎）平面図	33	（仮設校舎）敷地整備図
13	（仮設校舎）立面図・断面図	34	（仮設校舎）仮設建築物解体後敷地整備図
14	（仮設校舎）建具キープラン・建具表・法チェック		
15	（仮設校舎）仮設校舎断面詳細図		
16	（仮設校舎）渡廊下平面図、立面図、求積図、矩計図、部分詳細図		
17	（仮設校舎）備品リスト		
18	（仮設校舎）基礎伏図		
19	（仮設校舎）小屋伏図		
20	（仮設校舎）軸組図		
21	（仮設校舎）耐力壁詳細図		

建築士事務所名称 登録番号 設計者	有限会社 野添設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号 野添義二 一級建築士大臣登録 第253725号	管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	2024.7 A1 表紙・図面リスト
		管理技術者 野添義二		
		設計者 野添義二		
図面名称 表紙・図面リスト		規格 A3 規格 A3	面番 図 面番 図	A-00

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借 特記仕様書																																																																																																																																																																																																																																																																										
I 工事概要																																																																																																																																																																																																																																																																										
1.工事場所	宮崎県宮崎市大字島之内2100																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.敷地面積	33,660m ²																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.工事概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>建築面積(m²)</th> <th>延べ面積(m²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設校舎(実習棟)</td> <td>プレハブ構造</td> <td>1</td> <td>458.15</td> <td>410.66</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設廊下(TP1)</td> <td>プレハブ構造</td> <td>1</td> <td>40.50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設廊下(TP2)</td> <td>プレハブ構造</td> <td>1</td> <td>33.65</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上記に係る仮設校舎建設工事</p>						建物名称	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考	仮設校舎(実習棟)	プレハブ構造	1	458.15	410.66		仮設廊下(TP1)	プレハブ構造	1	40.50			仮設廊下(TP2)	プレハブ構造	1	33.65																																																																																																																																																																																																																																														
建物名称	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																					
仮設校舎(実習棟)	プレハブ構造	1	458.15	410.66																																																																																																																																																																																																																																																																						
仮設廊下(TP1)	プレハブ構造	1	40.50																																																																																																																																																																																																																																																																							
仮設廊下(TP2)	プレハブ構造	1	33.65																																																																																																																																																																																																																																																																							
II 建築工事仕様																																																																																																																																																																																																																																																																										
1 共通仕様	<p>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標準」という。)による。</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書、標準仕様書及び標準図を適用する。</p> <p>(3) 本工事の事務処理に当たっては、宮崎県県土整備部営繕課定の工事事務処理要領による。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																									
2 特記仕様	<p>(1) 章は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図、当該表を示す。</p> <p>(4) 関係法令の改正等により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督員と協議すること。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																									
別表-1 設備工事との工事区分表																																																																																																																																																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">工事内容</th> <th colspan="4">●印は工事範囲とする</th> </tr> <tr> <th></th> <th>本工事</th> <th>電気設備 (建築工事)</th> <th>機械設備 工事</th> <th>機械設備 工事</th> <th>電気設備 工事</th> <th>機械設備 工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機器の基礎</td> <td>電気関係</td> <td>配電盤・制御盤の基礎</td> <td>屋内</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)</td> <td>屋外</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>テレビアンテナ基礎(〃)</td> <td>屋上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>避雷針の基礎(〃)</td> <td>屋内</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内設備</td> <td>屋上設備(架台、アンカーボルトを除く)</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">開口部</td> <td>機械関係</td> <td>機械式ドア(電気及び機械関係以外)</td> <td>屋外</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁、床、壁</td> <td>補強を要するもの</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>貫通スリーブ</td> <td>補強を要しないもの</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁、床、壁</td> <td>補強を要するもの</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>貫通部型枠</td> <td>補強を要しないもの</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>軽量鉄骨下地、壁</td> <td>補強を要するもの</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>天井ボード類の切込</td> <td>補強を要しないもの</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>理込形分電盤、端子盤等の型枠</td> <td>補強を要するもの</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>断熱材兼用型枠の切込</td> <td>補強を要しないもの</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>上記開口部の埋め戻し</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">換気扇の取付け棒</td> <td>スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0Aフロア用配線器具</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>点検口</td> <td>床、壁、天井</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>外部取付か引け</td> <td>ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>湯沸室のフード</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>換気扇の取付け棒</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>流し台</td> <td>排水トラップ共</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>防油堤</td> <td>オイルサービスタンクの防腐堤</td> <td>自家発用</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>タンク基礎</td> <td>空調用</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>床下マンホールの蓋</td> <td>雨水</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電気配管配線</td> <td>屋外排水管</td> <td>汚水、雑排水</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>雨水立管(たてとい)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>手すり</td> <td>多機能便所</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧鏡</td> <td>はめ込み洗面器用カウンター(前板共)</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガスボンベ転倒防止用の鎖</td> <td>自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管記録及び操作スイッチ</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>防火扉レリーズ</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>既製簡易切替(パネル工法)の配管及び埋込ボックス</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>配線ビット及びふた</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>別途機器などへの接続</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガス漏れ検知器</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">システム天井</td> <td>電気錠</td> <td>電気錠及び通電金具</td> <td>TENキー及び制御盤</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ユニットバス、ユニットバス内水栓</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ユニットバス換気扇</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ユニットバスへの給水給湯管、排水管接続</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>洗濯機パン</td> <td>ポート・Tバー</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>システム天井</td> <td>照明ライン設備プレート</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>空調ライン設備プレート</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							工事内容			●印は工事範囲とする					本工事	電気設備 (建築工事)	機械設備 工事	機械設備 工事	電気設備 工事	機械設備 工事	機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内	●				自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	屋外	●				テレビアンテナ基礎(〃)	屋上	●				避雷針の基礎(〃)	屋内	●				屋内設備	屋上設備(架台、アンカーボルトを除く)	●			開口部	機械関係	機械式ドア(電気及び機械関係以外)	屋外	●				梁、床、壁	補強を要するもの	●	●			貫通スリーブ	補強を要しないもの	●	●			梁、床、壁	補強を要するもの	●	●			貫通部型枠	補強を要しないもの	●	●			軽量鉄骨下地、壁	補強を要するもの	●	●			天井ボード類の切込	補強を要しないもの	●	●			理込形分電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの	●	●			断熱材兼用型枠の切込	補強を要しないもの	●	●			上記開口部の埋め戻し		●	●		換気扇の取付け棒	スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)		●	●			0Aフロア用配線器具		●	●			点検口	床、壁、天井	●				外部取付か引け	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	●				湯沸室のフード		●				換気扇の取付け棒		●				流し台	排水トラップ共	●				防油堤	オイルサービスタンクの防腐堤	自家発用	●				タンク基礎	空調用	●			床下マンホールの蓋	雨水		●		電気配管配線	屋外排水管	汚水、雑排水		●			雨水立管(たてとい)		●			手すり	多機能便所		●			化粧鏡	はめ込み洗面器用カウンター(前板共)		●			ガスボンベ転倒防止用の鎖	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管記録及び操作スイッチ		●				防火扉レリーズ		●			既製簡易切替(パネル工法)の配管及び埋込ボックス		●			配線ビット及びふた		●			別途機器などへの接続		●			ガス漏れ検知器		●		システム天井	電気錠	電気錠及び通電金具	TENキー及び制御盤	●			ユニットバス、ユニットバス内水栓		●			ユニットバス換気扇		●			ユニットバスへの給水給湯管、排水管接続		●			洗濯機パン	ポート・Tバー		●			システム天井	照明ライン設備プレート		●			空調ライン設備プレート			●	
工事内容			●印は工事範囲とする																																																																																																																																																																																																																																																																							
	本工事	電気設備 (建築工事)	機械設備 工事	機械設備 工事	電気設備 工事	機械設備 工事																																																																																																																																																																																																																																																																				
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	屋外	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		テレビアンテナ基礎(〃)	屋上	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		避雷針の基礎(〃)	屋内	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		屋内設備	屋上設備(架台、アンカーボルトを除く)	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
開口部	機械関係	機械式ドア(電気及び機械関係以外)	屋外	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		梁、床、壁	補強を要するもの	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		貫通スリーブ	補強を要しないもの	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		梁、床、壁	補強を要するもの	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		貫通部型枠	補強を要しないもの	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		軽量鉄骨下地、壁	補強を要するもの	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		天井ボード類の切込	補強を要しないもの	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		理込形分電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		断熱材兼用型枠の切込	補強を要しないもの	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		上記開口部の埋め戻し		●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
換気扇の取付け棒	スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)		●	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		0Aフロア用配線器具		●	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		点検口	床、壁、天井	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外部取付か引け	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		湯沸室のフード		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		換気扇の取付け棒		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		流し台	排水トラップ共	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		防油堤	オイルサービスタンクの防腐堤	自家発用	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
			タンク基礎	空調用	●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		床下マンホールの蓋	雨水		●																																																																																																																																																																																																																																																																					
電気配管配線	屋外排水管	汚水、雑排水		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		雨水立管(たてとい)		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		手すり	多機能便所		●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		化粧鏡	はめ込み洗面器用カウンター(前板共)		●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		ガスボンベ転倒防止用の鎖	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管記録及び操作スイッチ		●																																																																																																																																																																																																																																																																					
			防火扉レリーズ		●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		既製簡易切替(パネル工法)の配管及び埋込ボックス		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		配線ビット及びふた		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		別途機器などへの接続		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		ガス漏れ検知器		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
システム天井	電気錠	電気錠及び通電金具	TENキー及び制御盤	●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		ユニットバス、ユニットバス内水栓		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		ユニットバス換気扇		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		ユニットバスへの給水給湯管、排水管接続		●																																																																																																																																																																																																																																																																						
		洗濯機パン	ポート・Tバー		●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		システム天井	照明ライン設備プレート		●																																																																																																																																																																																																																																																																					
		空調ライン設備プレート			●																																																																																																																																																																																																																																																																					
	宮崎県建築工事特記仕様書																																																																																																																																																																																																																																																																									
	宮崎県土整備部営繕課			令和5年4月版																																																																																																																																																																																																																																																																						
	建築士事務所名 有限会社 野添設計			工事名称 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借																																																																																																																																																																																																																																																																						
一級建築士事務所 宮崎県知事登録 C-5666 号 一級建築士登録 第 253725 号			図面名称 建築工事特記仕様書 (その1)																																																																																																																																																																																																																																																																							
			検図																																																																																																																																																																																																																																																																							
			図面番号 A- 01																																																																																																																																																																																																																																																																							

⑥	コンクリートの種類	コンクリートの使用骨材による種類 ◎普通コンクリート ・軽量コンクリート	(6.2.1)	⑦	鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 ◎建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として指定を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構が、「()グレード」として評価し、国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督員の承諾する製作工場	(7.1.3)	⑧	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	⑨	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)から(表9.3.3)による 粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・Tミコム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個
	コンクリートの設計基準強度	普通コンクリートの設計基準強度Fc(N/mm ²) Fc 通用箇所 ◎1 8 挟てコンクリート ◎2 1 基礎盤体コンクリート、立上りコンクリート ◎2 1 土間スラブ ・ 軽量コンクリートの設計基準強度(27N/mm ² 以下) ・ 図示による	(6.2.2)		施工管理技術者	配置する ◎配置しない	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)から(表9.3.3)による 粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・Tミコム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個			
	レディミクストコンクリートの類別	類別 ◎I類 ・ II類	(6.2.1)(表6.2.1)		鋼材	鋼材の材質 種類の記号 使用箇所 規格等 SWH400等 柱、梁 ◎JISによる 大臣認定による SSC400 柱、梁 ◎JISによる 大臣認定による STK400 柱 ◎JISによる 大臣認定による SNR400B等 水平、壁プレース ◎JISによる ◎大臣認定による	(7.1.3)(7.1.4)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)から(表9.3.3)による 粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・Tミコム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個		
	気乾単位容積 ³ 上記に係る仮設校舎建設他工事	普通コンクリートの気乾単位容積質量 ・ 2.3t/m ³ 程度	(6.2.3)		高力ボルト	高力ボルトの区分 ・ ルンジ形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト セットの種類 ◎2種(F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類 ◎1種(F8T相当)	(7.2.2)(7.3.2)(7.4.1~7.4.9)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)から(表9.3.3)による 粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・Tミコム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個		
	スランプ	コンクリートの荷卸し地点におけるスランプ 打込み箇所 (スランプcm) ◎基礎 ◎15 ~ 18 ◎基礎梁 ◎15 ~ 18 ◎土間ガラフ ◎15 ~ 18 ・ 柱、梁、スラブ、壁	(6.2.4)(表6.2.2)		アンカーボルト	摩擦面の処理方法 ・ 標仕7.4.2(1)による	(7.2.4)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)から(表9.3.3)による 粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・Tミコム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個		
	コンクリートの仕上がり	打放し仕上げの種別等 種別 適用箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種	(6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4)		柱底均しモルタル工法	構造用アンカーボルトの種類 ◎図示による その他() 建方用アンカーボルトの種類 ◎図示による その他()	(7.2.4)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)から(表9.3.3)による 粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・Tミコム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個		
	セメントの種類	(6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1) ◎普通ポルトランドセメント、高炉セメントのA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 施工箇所 (・ 場所打ちコンクリート杭) ・ フライアッシュセメントB種 施工箇所 ()	(6.3.1)		溶接接合	無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ◎標仕7.2.9(2)(7)から(I)による ・ 標仕7.2.9(1)によるモルタル	(7.6.4、7)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)から(表9.3.3)による 粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・Tミコム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個		
	レディミクストコンクリート工場の選定	JISマーク表示認証工場で、宮崎県生コンクリート品質管理監査会議の監査に合格した工場 上記工場で製造されたレディミクストコンクリートを使用する場合には、「品質管理監査合格証」のみの提出とし、セメント、骨材、練り混ぜ水、混和剤の試験成績表及び配合計算書の提出を省略することができます。 ・ 上記以外の工場	(6.4.1)		溶接部の試験	開先の形状 ・ 図示による(鉄骨標準図) ・ その他()	(7.6.12)(表7.6.2)(表7.6.3)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)及び(表9.3.2)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部への断熱材及び絶縁用シート ◯設置しない ◯設置する 立上り部の保護方法 ・ 乾式保護材 ◯れんが押え ◯コンクリート押え ◯モルタル押え(屋内) 屋根露出防水 防水層の種別		
	混和材料	(6.3.1) ◎混和剤 種類 ◎AE減水材 ・ 混和材 種類	(6.3.1)		デッキプレートの溶接	エンドタブの切断する部分 ・ 全て ◯見え掛け部となる部分 ◯切断する部分無し ・ 切断する範囲 ◯図示による ◯その他() ・ 切断面の仕上げ ◯標仕7.6.7(1)(a)(b)(2)	(7.7.8)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)及び(表9.3.2)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部への断熱材及び絶縁用シート ◯設置しない ◯設置する 立上り部の保護方法 ・ 乾式保護材 ◯れんが押え ◯コンクリート押え ◯モルタル押え(屋内) 屋根露出防水 防水層の種別		
	打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継目地	打継ぎの位置 ◎標仕6.6.4(1)による 図示による() 目地寸法 ◎標仕9.7.3による 図示による() 間隔、位置、形状 ◎図示による()	(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)		塗料の種別	完全溶込み部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 抽取検査 AOQL(%) ◯ 4.0 ◯ 2.5 節 ◯ 全て ◯ 第6水準 ◯	(7.8.4)(表18.3.1)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)及び(表9.3.2)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 立上り部への断熱材及び絶縁用シート ◯設置しない ◯設置する 立上り部の保護方法 ・ 乾式保護材 ◯れんが押え ◯コンクリート押え ◯モルタル押え(屋内) 屋根露出防水 防水層の種別		
	型枠	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 ・ MCR工法 せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする。 ・ 高圧水洗工法 高压水洗工法の目荒らしは、水圧50Mpa以上かつ、2.5分/m ² とし、施工計画書を監督員に提出し承諾をうける。また、目荒らしの状態は、事前に監督員に承諾を受ける。 コンクリートの増し打ち厚さ ◎20mm せき板の材料及び厚さ ◎合板 (◎12mm) 断熱材を兼用した型枠の使用 ◯行う 通用箇所() 行わない	(6.8.2、3)		耐火被覆	耐火被覆材の接着する面 ・ 通用箇所 ◯図示による ◯種別 ◯標仕(表18.3.1) ()種	(7.9.2~7)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)及び(表9.3.2)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎7スラブ-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個		
	軽易なコンクリート工事の試験	コンクリートの用途が特に重要でない場合かつ小規模工事(総使用量が50m ³ 未満かつ1日の打設量が10m ³ 未満の場合)で、監督員の承諾を受けた場合は、JISマーク表示認証工場の品質證明書(監督員が指示するもの)の提出により、スランプ、空気量、単位容積質量、温度、塗化物量の試験及びコンクリート強度試験を省略することができます。	(6.9.1)		アンカーボルト等の設置	材料及び工法 ◯性能(耐火時間) 通用箇所(部位・部分) ・ 耐火材吹付け ◯半乾式吹付けコックル ◯湿式コックル ・ 耐火材張り ◯繊維混入けい酸カルシウム板 ・ 耐火材巻付け ◯高断熱ロッカ [®] ・ フジ張り ◯合板 ・ 耐火塗料 ◯	(7.10.3)(表7.10.1)	ALC [®] の区分等	(8.4.2~5)	防水工事	高日射反射率防水の適用 改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.1)及び(表9.3.2)による 部分粘着層付改質アスファルト-フーリング [®] シートの種類及び厚さ ◎標仕(表9.3.2)及び(表9.3.3)による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ◎7スラブ-フーリング [®] 類の製造所の指定 設置数量 ◎アスファルト-フーリング [®] 類の製造所の指定 個		
	宮崎県建築工事特記仕様書	建築士事務所名 有限会社 野添設計				工事名称 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎貸借			検査	A- 02			
	宮崎県国土整備部営繕課	一級建築士事務所 宮崎県知事登録	C-5666			図面名称 建築工事特記仕様書 (その2)							

10 石工事	・ 割付け 清掃	石材の割付け ・ 図示	(10.1.3)	12 木工事	・ 木材 屋根及び とい 工事	・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法mm 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 ・ 2級 ◎ A種 B種 ・ 2級 ◎ A種 B種	・ 長尺金属板葺 施工箇所 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ (mm) 屋根葺形式 ・ JIS G 3322の屋根用 コイル (CGLCCR-20-AZ150) ◎ 心木なし瓦棒葺 ・ 立平葺 ・ 蟻掛葺 ・ 横葺	13 金属工事 へ 続 き	・ アルミニウム製笠木 施工箇所 種類 製品幅 呼称肉厚 表面処理 種別 色合い等 ・ () 標準色 ・ () 特注色 ・ ()
	・ 天然石張り	屋内の床を本磨きとする場合のワックス掛け ・ 行う (適用場所・すべて)	(10.1.5)		・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法mm 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 ・ 床石 2等品 ◎ 正方形に近い矩形 ◎ A種 B種 ・ 2等品 ◎ 正方形に近い矩形 ◎ A種 B種	・ 下葺材料 ◎ アスファルトルーフィング 940 ・ 改良アスファルトルーフィング下葺材 ・ 一般タイプ ・ 複層材タイプ ・ 施工区分による風圧力の(1.1.15.1.3)倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・ 設置する (図示)	棟上避雷導体システム ・ 無 ・ 有 (実厚2.0以上)		
	・ テラゾ張り	・ ジェットバーナーの場合のバフ仕上げ ・ 有 ・ 無	(10.2.1)(表10.2.1、2)		・ 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法mm 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 ・ 石の種類 ◎ 大理石 ◎ ()	・ (13.2.2)(13.3.2、3)(表13.2.1) 形式 ◎ 重ね形 ◎ はせ縫形 ◎ かん合形 形状(mm) 山高 (88) 山下 () 板厚 (◎ 0.6 0.8) 耐力による区分 種 ・ 1等 ◎ 10%以下 ◎ A種 B種 ・ 1等 ◎ ()	・ 手すり及びタラップ (20.12.12) 種類 材料の種別 表面処理 ・ 手すり ◎ ステンレス(SUS304) ◎ HL程度 ・ 鋼製 溶融亜鉛めっき 外部 ◎ C種 ◎ () ・ タラップ ◎ ステンレス(SUS304) ◎ 研磨無し ◎ HL程度 ・ 鋼製 溶融亜鉛めっき 内外部 ◎ C種 ◎ ()		
	・ 取付け金物	上記に係る仮設校舎建設他工事 寸法による区分 300型 400型	(10.2.2)(表10.2.3~4)		・ JAS 1083 (製材)以外の製材 施工箇所 樹種 寸法mm 造作材の材面の品質 ・ 外壁湿式工法及び内壁空積工法 受金物の材質、形状及び寸法 ・ 図示による ・ その他()	・ 防虫処理 ・ 有り (種別: A種 B種) ・ 有り (種別: A種 B種) ・ 有り (種別: A種 B種)	JIS G 3302以外のタイフレームの表面処理 ・ () JIS G 3302の表面処理 ・ ()		
	・ その他の材料	乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 ・ 図示 ・ 標注(表10.2.4)による (方式: 一般方式 ワッキガ方式)	(10.2.3)		・ 造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ 図示による ・ その他()	・ (12.2.1) 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 ・ 外壁湿式工法を使用するドレンパイプの材質 ・ 樹脂外皮付ケムッシュ巻き 25~35φ	・ 粘土葺 種類 () 大きさ () ・ 産地等 () ・ 適用区分による風圧力の(1.1.15.1.3)倍の風圧力に対応した工法	・ モルタル塗り (15.3.2、5) モルタル ・ 現場調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所() 形状 (◎ 図示 ・ 設けない	
	・ 石張り工法	石材の厚さ ・ 図示による ・ その他()	(10.3.2、3)(10.4.2、3)(10.5.2、3)(10.6.2、3)		・ 外壁石張り工法 ・ 外壁湿式工法 内壁石張り工法 ・ 内壁空積工法 ・ 乾式工法	・ (10.3.2)(10.4.2)(10.5.2)(10.6.2~3)(10.7.2~3) ・ 行う (小口共) (箇所) ・ 行わない	・ (13.4.2) 種類 () 大きさ () ・ 産地等 () ・ 適用区分による風圧力の(1.1.15.1.3)倍の風圧力に対応した工法	・ 左官工事 (15.3.2、5) モルタル ・ 現場調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所() 形状 (◎ 図示 ・ 設けない	
	・ 石裏面処理	・ 行う (小口共) (箇所) ・ 行わない	(10.3.2)(10.4.2)(10.5.2)(10.7.2)		・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ぱり造作用集成柱 施工箇所 化粧薄板の樹種 心材の樹種 寸法mm 化粧薄板の厚さmm 見付け材面の品質	・ (14.1.3) 引抜き耐力の確認試験 ◎ 行う ・ 行わない ・ 図示による ・ その他()	・ ラス系下地 (15.2.4) ラスの材料 ・ ラスによる区分 (M) 山高、山ビッチ、質量及び溶接区分による区分 (LS4建築基準法に基づく耐力壁) ステープルの形状及び寸法 () 直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工 ()		
	・ 裏打ち処理	・ 行う 次の箇所には行わない (箇所)	(10.3.2)(10.4.2)(10.5.2)(10.7.2)		・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法mm 見付け材面の品質 含水率	・ (14.2.1) 種類 下記以外の見え挂かり全て ◎ H(L)程度 ・ No.2B程度 ・ 鏡面上げ程度 ・ ()	・ 14 金属工事 ・ あと施工アンカーの確認試験 引抜き耐力の確認試験 ◎ 行う ・ 行わない ・ 図示による ・ その他()		
	・ 目地等	伸縮調整目地 位置 ・ 図示による ・ その他() シーリング材の目地寸法 ・ 図示による ・ その他() 屋外4m以上、屋内3~6m程度 ・ 外壁に適用する場合の建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法 適用区分による風圧力の(1.1.15.1.3)倍の風圧力に対応した構法	(10.3.3)(10.4.3)(10.5.3)(10.6.2)(10.7.2)		・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ぱり造作用集成材 施工箇所 化粧薄板の樹種 心材の樹種 寸法mm 化粧薄板の厚さmm 見付け材面の品質 ・ 伸縮調整目地 位置 ・ 図示による ・ その他() シーリング材の目地寸法 ・ 図示による ・ その他() 屋外4m以上、屋内3~6m程度 ・ 外壁に適用する場合の建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法 適用区分による風圧力の(1.1.15.1.3)倍の風圧力に対応した構法	・ (14.2.2)(表14.2.1) 種別 色合い等 施工箇所(成形板、笠木、建具以外) 備考 ・ 標準色 () ・ 特注色 () ・ ()	・ せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5) せっこうボード及びせっこうラミネートの種類及び厚さ 種類 (GB-R GB-L) 長さ () mm 木質系セメント板の種類及び厚さ 種類 () 長さ () mm		
11 タ イ ル 工 事	・ セメントモルタルによるタイル張り	タイルの形状、寸法等 施工 種類 寸法 吸水率による区分 箇所 mm I類 II類 III類 施釉 無釉 有無 標準 特注 有無	(11.2.2、3、7)	12 木工事	・ 造作用单板積層材 施工箇所 厚さmm 表面の化粧加工 防虫処理 ・ JAS 0701に基づく造作用单板積層材 施工箇所 厚さmm 表面の化粧加工 防虫処理 ・ 床張り用合板等 施工箇所 厚さmm 表面の化粧加工 防虫処理 ・ 木製合板 施工箇所 厚さ、表面の樹種名、接着の程度、板面の品質、防虫等の処理 ・ 構造用合板 施工箇所 厚さ、表面の樹種名、接着の程度、等級、板面の品質、防虫等の処理 ・ パーティクルボード 施工箇所、厚さ、表面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分、難燃性による区分 ・ 構造用ハネル 施工箇所、厚さ、等級 ・ 防腐・防蟻處理が不要な樹種による製材 ・ 薬剤の加圧注入による防腐 ・ 保存処理区分 ・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 ・ 薬剤の接着剤による混入による防腐・防蟻処理 ・ 合板等の加圧注入処理の適用 ・ 木材処理 施工箇所: 合板、集成材等を除く全ての木材 処理方法: 伸縮調整継手	・ 鉄鋼の亜鉛めっき 表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、タラップ以外) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種	・ せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5) せっこうボード及びせっこうラミネートの種類及び厚さ 種類 (GB-R GB-L) 長さ () mm 木質系セメント板の種類及び厚さ 種類 () 長さ () mm		
	・ 壁タイル張りの工法 外装タイル ◎ 密着張り 内装タイル以外のユニットタイル ◎ マスク張り モザイクタイル張り	標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする	(11.3.2~4、7)		・ 軽量鉄骨天井下地 野線等の種類 屋外 (25形 19形) 屋内 (19形 25形) 野線受、吊りボルト及びインサートの間隔 900程度 () 周辺部の端からの間隔 300程度 () 野線の間隔 ()	・ せっこう系 セメント系 (15.5.2)(表15.5.1)			
	・ 有機系接着剤によるタイル張り	タイルの形状、寸法等 施工 種類 寸法 吸水率による区分 箇所 mm I類 II類 III類 施釉 無釉 有無 標準 特注 有無	(11.3.2~4、7)		・ 軽量鉄骨壁下地 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ・ その他の () 天井のふとろが3mを超える場合の補強方法 ◎ 図示 ・ その他()	・ せっこう系 セメント系 (15.6.2)(表15.6.1)(15.6.6) 種類 呼び名 仕上げの形状 ・ 薄付け 仕上げ塗材 ・ 外装薄塗材Si ・ 可とう外装薄塗材Si ・ 外装薄塗材E ・ 可とう外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S ・ 内装薄塗材C ・ 内装薄塗材L ・ 内装薄塗材F ・ 内装薄塗材Si ・ 砂壁じゅらく ・ 砂壁じゅらく ・ 京壁じゅらく ・ 複層 仕上げ塗材 ・ 可とう複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材RS ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE ・ 吹付用軽量骨材 仕上げ塗材 ・ こて塗用軽量骨材 ・ 平たん状			
	・ 試験張り 見本焼き	試験張り 行う ◎ 行わない 見本焼き 行う ◎ 行わない			・ 軽量鉄骨壁下地 天井下地における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示 補強方法 図示 天井下地における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所 図示 補強方法 図示	・ せっこう系 セメント系 (15.6.2)(表15.6.1)(15.6.6) 種類 呼び名 仕上げの形状 ・ 薄付け 仕上げ塗材 ・ 外装薄塗材Si ・ 可とう外装薄塗材Si ・ 外装薄塗材E ・ 可とう外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S ・ 内装薄塗材C ・ 内装薄塗材L ・ 内装薄塗材F ・ 内装薄塗材Si ・ 砂壁じゅらく ・ 砂壁じゅらく ・ 京壁じゅらく ・ 複層 仕上げ塗材 ・ 可とう複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材RS ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE ・ 吹付用軽量骨材 仕上げ塗材 ・ こて塗用軽量骨材 ・ 平たん状			
	・ 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗処理)	標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする			・ 軽量骨材張り 出入り及びこれに準ずる開口部の補強 ・ その他の () 天井の高さが5mを超える場合 ・ 図示	・ 所要量等の確認方法 図示による ・ その他() (15.6.7) 仕上げ吹付け厚さ 図示による ・ その他() (15.12.2、3)			
	・ 接着剤の溶剂7倍ヒドロゲン酸放散量 ◎ F☆☆☆☆	試験張り 行う ◎ 行わない 見本焼き 行う ◎ 行わない			・ 伸縮調整継手 ・ 伸縮調整継手の設置 施工箇所: 伸縮調整継手 処理方法: 伸縮調整継手	・ 伸縮調整継手 ・ 伸縮調整継手の設置 施工箇所: 伸縮調整継手 処理方法: 伸縮調整継手 (14.6.3)	・ 伸縮調整継手 ・ 伸縮調整継手の設置 施工箇所: 伸縮調整継手 処理方法: 伸縮調整継手 (14.6.3)		
	・ 目地のシリコン材 打継ぎ目地 ひび割れ誘発目地 伸縮調整目地 その他の目地	打継ぎ目地 リレックスシリコン材 ひび割れ誘発目地 リレックスシリコン材 伸縮調整目地 变成シリコンシリコン材 その他の目地 变成シリコンシリコン材			・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。	・ 防火材料 ・ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。 (15.6.2)			
	・ 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗処理)	下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗処理)			・ 伸縮調整継手 ・ 伸縮調整継手の設置 施工箇所: 伸縮調整継手 処理方法: 伸縮調整継手 (14.6.3)	・ 伸縮調整継手 ・ 伸縮調整継手の設置 施工箇所: 伸縮調整継手 処理方法: 伸縮調整継手 (14.6.3)			
	・ 接着剤の溶剂7倍ヒドロゲン酸放散量 ◎ F☆☆☆☆	接着剤の溶剂7倍ヒドロゲン酸放散量 ◎ F☆☆☆☆			・ 伸縮調整継手 ・ 伸縮調整継手の設置 施工箇所: 伸縮調整継手 処理方法: 伸縮調整継手 (14.6.3)	・ 伸縮調整継手 ・ 伸縮調整継手の設置 施工箇所: 伸縮調整継手 処理方法: 伸縮調整継手 (14.6.3)			

⑯	・ 防火戸 建 具 工 事 ・ 見本の制作等 ・ 防犯部品の使用 ④ アルミニウム製建具 上記に係る 外部に面する建具 コンクリート下地系及び鉄骨下地系 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工場所 ・ A種 S-4 ◎ A-3 ◎ W-4 ◎ 70 ◎ 建具表による ・ B種 S-5 . () . () . () . () ・ C種 S-6 A-4 W-5 () 木下地 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工場所 ・ D種 S-2 A-3 W-3 . () ◎ 建具表による ・ E種 S-3 () () () 断熱ドアセット、防音サッシ ・ 遮音性の等級 (◎ 建具表による . ()) (建具符号: ◎ 建具表による . ()) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 断熱性の等級 (◎ 建具表による . ()) (建具符号: ◎ 建具表による . ()) 材料 ・ パシス鋼板、SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ パシス製のくすりの仕上げ HL 形状及び仕上げ 表面処理(外部に面する建具) 種別 BB-1種 BB-2種 (標示(表14.2.1)による) 着色 標準色 特別色 表面処理(屋内の建具) 種別 BC-1種 BC-2種 (標示(表14.2.1)による) 着色 標準色 特別色 結露水の処理方法 水貯め式 排水 工法 水切り板、ぜん板 図示 木下地の場合の内付け建具 適用しない 適用する (16.2.3) 網戸の防虫網 網の種類 ステンレス製(SUS316) ◎ 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 網径 ◎ 0.25mm以上 網目 ◎ 16~18メッシュ 形式 ◎ 外部可動式 固定式 (16.2.2、5)(表16.3.1) コンクリート下地系及び鉄骨下地系 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工場所 ・ A種 S-4 W-4 . () ◎ 建具表による ・ B種 S-5 A-4 W-5 . () 木下地 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工場所 ・ D種 S-2 A-4 W-3 . () ◎ 建具表による ・ E種 S-3 . () 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 断熱性の等級 (H-4 H-5 H-6 H-7 H-8) (建具符号: ◎ 建具表による . ()) 材料 ・ ガラス 標準色 特注色 形状及び仕上げ 標準色 特注色 工法 水切り板、ぜん板 図示 木下地の場合の内付け建具 適用しない 適用する (16.2.2)(16.4.2)(表16.2.1) 性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号: ◎ 建具表による . ()) ・ 適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・ 建具表による S-4 S-5 . () ステンレス製鋼板 ◎ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.4.3) 鋼板 材料 ◎ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 ◎ Z12又はF12 厚さ ◎ 標示16.4.2による (16.2.2)(16.5.2~4) 性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号: ◎ 建具表による . ()) ・ 適用しない 鋼板 溶融亜鉛めっき鋼板及び銅板(JIS G 3302) ・ 電気亜鉛めっき鋼板及び銅板(JIS G 3313) ビニル被覆鋼板 使用する 使用しない 使用箇所 ◎ 図示による その他() カラー鋼板 使用する 使用しない 使用箇所 ◎ 図示による その他() (16.6.3) ステンレス鋼板の材料 ◎ SUS304 ◎ SUS430J1L その他() (16.7.2) かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 () ふすまの上張り (表16.7.3) ◎ 新島の子又はビニル紙程度(押入の裏面は除く) 烟の子 (16.8.4) マスターキー ◎ 製作する 製作しない 鏡の本数 () 本1組 品質は、JIS A 5759による	(16.1.3)	・ 建具表による 防火戸の自動閉鎖機構 ◎ 図示による その他() 防火戸ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ◎ 図示による その他() (16.1.4) 特殊な建具の仮組 ◎ 実施する ◎ 実施しない 特殊な建具の仮組(建具番号:) (16.1.6) ・ 建具表による 外部に面する建具 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1) コンクリート下地系及び鉄骨下地系 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工場所 ・ A種 S-4 ◎ A-3 ◎ W-4 ◎ 70 ◎ 建具表による ・ B種 S-5 . () . () . () ・ C種 S-6 A-4 W-5 () 木下地 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工場所 ・ D種 S-2 A-3 W-3 . () ◎ 建具表による ・ E種 S-3 () () 断熱ドアセット、防音サッシ ・ 遮音性の等級 (◎ 建具表による . ()) (建具符号: ◎ 建具表による . ()) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 断熱性の等級 (◎ 建具表による . ()) (建具符号: ◎ 建具表による . ()) 材料 ・ パシス鋼板、SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ パシス製のくすりの仕上げ HL 形状及び仕上げ 表面処理(外部に面する建具) 種別 BB-1種 BB-2種 (標示(表14.2.1)による) 着色 標準色 特別色 表面処理(屋内の建具) 種別 BC-1種 BC-2種 (標示(表14.2.1)による) 着色 標準色 特別色 結露水の処理方法 水貯め式 排水 工法 水切り板、ぜん板 図示 木下地の場合の内付け建具 適用しない 適用する (16.2.3) 網戸の防虫網 網の種類 ステンレス製(SUS316) ◎ 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 網径 ◎ 0.25mm以上 網目 ◎ 16~18メッシュ 形式 ◎ 外部可動式 固定式 (16.2.2、5)(表16.3.1) コンクリート下地系及び鉄骨下地系 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工場所 ・ A種 S-4 W-4 . () ◎ 建具表による ・ B種 S-5 A-4 W-5 . () 木下地 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工場所 ・ D種 S-2 A-4 W-3 . () ◎ 建具表による ・ E種 S-3 . () 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 断熱性の等級 (H-4 H-5 H-6 H-7 H-8) (建具符号: ◎ 建具表による . ()) 材料 ・ ガラス 標準色 特注色 形状及び仕上げ 標準色 特注色 工法 水切り板、ぜん板 図示 木下地の場合の内付け建具 適用しない 適用する (16.2.2)(16.4.2)(表16.2.1) 性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号: ◎ 建具表による . ()) ・ 適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・ 建具表による S-4 S-5 . () ステンレス製鋼板 ◎ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.4.3) 鋼板 材料 ◎ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 ◎ Z12又はF12 厚さ ◎ 標示16.4.2による (16.2.2)(16.5.2~4) 性能等級 簡易気密型ドアセット 適用する(建具符号: ◎ 建具表による . ()) ・ 適用しない 鋼板 溶融亜鉛めっき鋼板及び銅板(JIS G 3302) ・ 電気亜鉛めっき鋼板及び銅板(JIS G 3313) ビニル被覆鋼板 使用する 使用しない 使用箇所 ◎ 図示による その他() カラー鋼板 使用する 使用しない 使用箇所 ◎ 図示による その他() (16.6.3) ステンレス鋼板の材料 ◎ SUS304 ◎ SUS430J1L その他() (16.7.2) かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 () ふすまの上張り (表16.7.3) ◎ 新島の子又はビニル紙程度(押入の裏面は除く) 烟の子 (16.8.4) マスターキー ◎ 製作する 製作しない 鏡の本数 () 本1組 品質は、JIS A 5759による	(16.9.2、3)(表16.9.1~表16.9.4)	・ 引き戸用駆動装置 ◎ 建具表による 車椅子使用者用便扉戸引戸用駆動装置 ◎ 建具表による ・ 引き戸用検査装置 ◎ 建具表による 戸の開閉方式 ◎ 建具表による 引き戸用後出装置の種類(標示(表16.9.4)による) ・ 建具表による タッチパネルの種類 ・ 無線式タッチパネル 光線式タッチパネル 車椅子使用者用便扉戸引戸用タッチパネルの種類 ・ 大形押しごとタッチパネル 非接触タッチパネル 戻り防止措置 行う(適用箇所は建具表による) 行わない 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1) 性能値等 ◎ 標示(表16.10.1)による 製造所の仕様による 重量シャッター (16.11.2、3) シャッターの種類 ・ 管理用シャッター 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度(pa) 開閉機能による種類 ◎ 上部電動式(手動併用) 上部手動式 安全装置 電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ◎ 建具表による .) 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ◎ 建具表による .) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危険防止装置 ・ 危険防止装置 リモコンの有無 無 有(リモコン個数 個) 電動式の場合の電源 三相200V 0.75kW以下(過電流保護装置付) 管理用シャッターのシャッターカース ・ 設ける 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帶) JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板銅帶) めっきの付着量 ◎ Z12又はF12 開閉機能 ◎ 上部電動式(手動併用) 手動式 シャッターケース ◎ 設ける 設けない 外部に面するシャッターの耐風圧強度 (pa) 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ◎ 建具表による .) スラットの材質 JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帶) めっき付着量 ◎ Z06又はF06 . () JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帶) めっき付着量 ◎ AZ90 . () スラットの形状 ◎ イターロッキング 形 ◎ オーバーラッピング 形 ガイドレール ◎ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ◎ ステンレス製 S US 304(厚さ1.5mm) 危害防止機構(電動の場合) ◎ 有(障害物感知装置自動閉鎖型) 電動式の場合の電源 ◎ 単相100V(過電流保護装置付) (16.12.2~4) 軽量シャッター 開閉機能 ◎ 上部電動式(手動併用) 手動式 シャッターケース ◎ 設ける 設けない 外部に面するシャッターの耐風圧強度 (pa) 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ◎ 建具表による .) スラットの材質 JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帶) めっき付着量 ◎ Z06又はF06 . () JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帶) めっき付着量 ◎ AZ90 . () スラットの形状 ◎ イターロッキング 形 ◎ オーバーラッピング 形 ガイドレール ◎ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ◎ ステンレス製 S US 304(厚さ1.5mm) 危害防止機構(電動の場合) ◎ 有(障害物感知装置自動閉鎖型) 電動式の場合の電源 ◎ 単相100V(過電流保護装置付) (16.13.2、3) オーバーヘッドドア セクション材料 耐風圧性能区分 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材料 ・ スライド . 125 ◎ スライド 形 ◎ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム . 100 ◎ チー式 ◎ ローラー 形 ・ フィバーグラス . 75 ◎ 電動式 ◎ ハンドル 形 ・ 50 ◎ ハンドル 形 オーバーヘッドドアの障害物感知装置(設置箇所 建具表による .) (16.14.5) JIS A 5212によるもの 寸法(mm) 色調 パターン 防火認定 ・ クリア 熱線反射 ・ 乳白 カラー() なし 有り ガラスの種類及び厚さ等 図示 (16.14.2) ガラスの種類及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさmm アルミニウム製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 鋼製及び軽量鋼製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 樹脂製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 (16.14.3) ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさmm アルミニウム製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 鋼製及び軽量鋼製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 樹脂製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 (16.14.3) ガラス用フィルム 種類 記号 内貼り用 外貼り用 その他性能等 ・ 日射調整フィルム SC-1 SC-2 ・ 低反射フィルム LE ・ 衝撃吸収ガラス飛散防止フィルム GI-1 GI-2 ・ 相間変位吸収ガラス飛散防止フィルム GD-1 GD-1 ・ ガラス貫通防止フィルム DF 品質は、JIS A 5759による	(16.1.3)	・ 自動ドア開閉装置 建 具 工 事 ・ 戸の開閉方式 ◎ 建具表による 引き戸用後出装置の種類(標示(表16.9.4)による) ・ 建具表による タッチパネルの種類 ・ 無線式タッチパネル 光線式タッチパネル 車椅子使用者用便扉戸引戸用タッチパネルの種類 ・ 大形押しごとタッチパネル 非接触タッチパネル 戻り防止措置 行う(適用箇所は建具表による) 行わない 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1) 性能値等 ◎ 標示(表16.10.1)による 製造所の仕様による 重量シャッター (16.11.2、3) シャッターの種類 ・ 管理用シャッター 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度(pa) 開閉機能による種類 ◎ 上部電動式(手動併用) 上部手動式 安全装置 電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ◎ 建具表による .) 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ◎ 建具表による .) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危険防止装置 ・ 危険防止装置 リモコンの有無 無 有(リモコン個数 個) 電動式の場合の電源 三相200V 0.75kW以下(過電流保護装置付) 管理用シャッターのシャッターカース ・ 設ける 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帶) JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板銅帶) めっきの付着量 ◎ Z12又はF12 開閉機能 ◎ 上部電動式(手動併用) 手動式 シャッターケース ◎ 設ける 設けない 外部に面するシャッターの耐風圧強度 (pa) 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ◎ 建具表による .) スラットの材質 JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帶) めっき付着量 ◎ Z06又はF06 . () JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帶) めっき付着量 ◎ AZ90 . () スラットの形状 ◎ イターロッキング 形 ◎ オーバーラッピング 形 ガイドレール ◎ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ◎ ステンレス製 S US 304(厚さ1.5mm) 危害防止機構(電動の場合) ◎ 有(障害物感知装置自動閉鎖型) 電動式の場合の電源 ◎ 単相100V(過電流保護装置付) (16.12.2~4) 軽量シャッター 開閉機能 ◎ 上部電動式(手動併用) 手動式 シャッターケース ◎ 設ける 設けない 外部に面するシャッターの耐風圧強度 (pa) 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ◎ 建具表による .) スラットの材質 JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帶) めっき付着量 ◎ Z06又はF06 . () JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び銅帶) めっき付着量 ◎ AZ90 . () スラットの形状 ◎ イターロッキング 形 ◎ オーバーラッピング 形 ガイドレール ◎ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ◎ ステンレス製 S US 304(厚さ1.5mm) 危害防止機構(電動の場合) ◎ 有(障害物感知装置自動閉鎖型) 電動式の場合の電源 ◎ 単相100V(過電流保護装置付) (16.13.2、3) オーバーヘッドドア セクション材料 耐風圧性能区分 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材料 ・ スライド . 125 ◎ スライド 形 ◎ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム . 100 ◎ チー式 ◎ ローラー 形 ・ フィバーグラス . 75 ◎ 電動式 ◎ ハンドル 形 ・ 50 ◎ ハンドル 形 オーバーヘッドドアの障害物感知装置(設置箇所 建具表による .) (16.14.5) JIS A 5212によるもの 寸法(mm) 色調 パターン 防火認定 ・ クリア 熱線反射 ・ 乳白 カラー() なし 有り ガラスの種類及び厚さ等 図示 (16.14.2) ガラスの種類及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさmm アルミニウム製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 鋼製及び軽量鋼製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 樹脂製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 (16.14.3) ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさmm アルミニウム製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 鋼製及び軽量鋼製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 樹脂製 ◎ シーリング材(SR-1) ◎ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ グレイング チャネル形 (16.14.3) ガラス用フィルム 種類 記号 内貼り用 外貼り用 その他性能等 ・ 日射調整フィルム SC-1 SC-2 ・ 低反射フィルム LE ・ 衝撃吸収ガラス飛散防止フィルム GI-1 GI-2 ・ 相間変位吸収ガラス飛散防止フィルム GD-1 GD-1 ・ ガラス貫通防止フィルム DF 品質は、JIS A 5759による	(16.1.3)	・ 建 具 工 事 ・ 戸の開閉方式 ◎ 建具表による 引き戸用後出装置の種類(標示(表16.9.4)による) ・ 建具表による タッチパネルの種類

内装工事	下地の工法	(19.2.3)	(20.2.4)	構造形式 操作方法 圧縮装置 遊音性能 パネル表面 ハネ見込み 操作方法 500Hz 材質 仕上げ ・平行方向 手動式 フラッ式 36未満 鋼板 焼付塗装 60程度 ・二方向 電動式 ハドル式 36以上 鋼板 焃付塗装 60程度 ・部分電動式 取付け方法は製造所の仕様とし、適切な資料を監督員に提出する。	(20.2.4)	有り(市販品) ・30組用 ・無し かぎ箱 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事 (統 き)	路床土 A種 B種 C種 D種 路盤の構成及び仕上り 路床安定処理の方法 安定処理の方法 路床安定化処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰・特号 1号 消石灰・特号 1号 添加量 kg/m ³ (目標CBR 3以上)	(22.2.2, 3, 5)(表22.2.1)
	ビニール床シート張り	(19.2.2, 3)						
	種類の記号、色柄、厚さ等	○ 図示による その他()						
	工法	熱溶接工法 密封(施工箇所:)						
	特殊機能	・帶電防止 耐荷重性 防滑性 耐薬品性						
	帶電防止	・帶電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値(JIA A 1454)1×10の7乗~1×10の10乗程度						
	ビニール床タイル張り	(19.2.2)						
	種類の記号、色柄、厚さ等	○ 図示による その他()						
	特殊機能	・帶電防止 防滑性 視覚障害者用						
	帶電防止	・帶電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値(JIA A 1454)1×10の7乗~1×10の10乗程度						
	上記に係る仮設校舎建設工事	(19.2.2)						
	種類の記号、色柄、厚さ等	○ 国示による その他()						
	カーペット敷き	(19.2.3~4)(表19.3.2)						
	バイル形状、種別等	○ 国示による その他()						
	見切り、押え金物							
	材質、形状等	○ 国示による その他()						
	合成樹脂塗床	(19.4.2, 3)(表19.4.4~8)						
	エボキシ樹脂系塗床の工法及び仕上げの種類	薄膜流し展工法 (・平滑仕上げ 防滑仕上げ) 厚膜流し展工法 (・平滑仕上げ 防滑仕上げ) 樹脂モルタル工法 (・平滑仕上げ 防滑仕上げ)						
	フローリング張り	(19.5.2~6)(表19.5.1~5)						
	単層フローリング カーペット1等 ローリングアーチ1等 タイプ1等	複合フローリング 天然木化粧複合フローリング フローリング張りの工法 釘留め工法(根太張り) 接着工法						
	モザイクパーケットの樹種、厚さ及び大きさ	○ 国示による その他()						
	フローリングボードの特殊張り	○ 国示による 体育館等の床(詳細は国示)						
	畳敷き	(19.6.2)(表19.6.1)						
	種別 A種 B種 C種 D種 (KT-) 衝撃緩和型畠 (畠表: C1 C2)	○ 国示による その他()						
	せっこうボード	(19.7.2, 3)(表19.7.1)						
	せっこうボード等の種類、厚さ、下地等	○ 国示による その他()						
	軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材	○ 通用する 通用しない						
	天井のボード類(カカツル吸音板を除く)の重ね張りを行う場合	○ 国示による 重ね張り						
	せっこうボードの目地工法等	目地工法の種類 仕上げ表による 実付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ベベエッジ スコアエッジ	○ 国示による その他()					
	壁紙張り	(19.8.2, 3)						
	壁紙の品質及び防火性能	○ 国示による その他()						
	断熱材	(19.9.2, 3)						
	断熱材打込み工法	種類 厚さmm 備考						
	ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材						
	押出法ポリスチレンフォーム断熱材(エキナシ)	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材						
	硬質ウレタンフォーム断熱材	・硬質ウレタンフォーム断熱材						
	フェノールフォーム断熱材	・フェノールフォーム断熱材						
	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材						
	施工箇所 床版 (・屋根スラブ下) 接地床 国示)							
	壁版 外壁内側部分(倉庫、便所、設備室、車庫、) を除く 国示)							
	断熱材現場発泡工法	断熱材の種類 ○ A種1又はB種1H 厚さ(mm) 25 施工箇所 国示)						
	浴室天井材	○ 市販品						
	材質 表面仕上げ 幅(mm) 備考	・アルミニウム製 塗付塗装品 (準不燃品) 200 仕上げ ・アルマイト処理品 () 300 仕上げ ・硬質塗ビ製 塗装品 木目調 ()						
	性能等が確認できる資料を監督員に提出すること。	施工箇所 尺寸mm 高さmm 通用地震時水平力 耐荷重性能 表面仕上げ材						
	・450角以上 100 1.0G以上 3,000N 帯電防止床タイル 600角以下 120 0.6G以上 5,000N タイプ ・450角以上 100 1.0G以上 3,000N 帯電防止床タイル 600角以下 120 0.6G以上 5,000N タイプ	・450角以上 100 1.0G以上 3,000N 帯電防止床タイル 600角以下 120 0.6G以上 5,000N タイプ						
	JIS A 6512によるものとする。	構造形式 表面板及び厚さ(mm) パネル仕上げ パネル見込み ・パネル式 鋼板 (0.6 0.8) マルミン樹脂焼付 60以上 ・スタッド式(内蔵) () 30以上 ・スタッド式(露出) ()						
	遮音性能 中心周波数500Hzの音についての透過損失(dB)	36未満 36以上						
ユニット及びその他の工事	フレーケスワフ	(20.2.2)	(20.2.4)	構造形式 操作方法 圧縮装置 遊音性能 パネル表面 ハネ見込み 操作方法 500Hz 材質 仕上げ ・平行方向 手動式 フラッ式 36未満 鋼板 焼付塗装 60程度 ・二方向 電動式 ハドル式 36以上 鋼板 焃付塗装 60程度 ・部分電動式 取付け方法は製造所の仕様とし、適切な資料を監督員に提出する。	(20.2.4)	かぎ箱 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事 (統 き)	路床土 A種 B種 C種 D種 路盤の構成及び仕上り 路床安定処理の方法 安定処理の方法 路床安定化処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰・特号 1号 消石灰・特号 1号 添加量 kg/m ³ (目標CBR 3以上)	(22.2.2, 3, 5)(表22.2.1)
	可動間仕切(パーティション)	(20.2.3)						
	JIS A 6512によるものとする。	構造形式 表面板及び厚さ(mm) パネル仕上げ パネル見込み ・パネル式 鋼板 (0.6 0.8) マルミン樹脂焼付 60以上 ・スタッド式(内蔵) () 30以上 ・スタッド式(露出) ()						
	性能等が確認できる資料を監督員に提出すること。	施工箇所 尺寸mm 高さmm 通用地震時水平力 耐荷重性能 表面仕上げ材						
	・450角以上 100 1.0G以上 3,000N 帯電防止床タイル 600角以下 120 0.6G以上 5,000N タイプ ・450角以上 100 1.0G以上 3,000N 帯電防止床タイル 600角以下 120 0.6G以上 5,000N タイプ	・450角以上 100 1.0G以上 3,000N 帯電防止床タイル 600角以下 120 0.6G以上 5,000N タイプ						
内装工事	移動間仕切(パーティション)	(20.2.4)	(20.2.4)	構造形式 操作方法 圧縮装置 遊音性能 パネル表面 ハネ見込み 操作方法 500Hz 材質 仕上げ ・平行方向 手動式 フラッ式 36未満 鋼板 焃付塗装 60程度 ・二方向 電動式 ハドル式 36以上 鋼板 焃付塗装 60程度 ・部分電動式 取付け方法は製造所の仕様とし、適切な資料を監督員に提出する。	(20.2.4)	かぎ箱 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事 (統 き)	路床土 A種 B種 C種 D種 路盤の構成及び仕上り 路床安定処理の方法 安定処理の方法 路床安定化処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰・特号 1号 消石灰・特号 1号 添加量 kg/m ³ (目標CBR 3以上)	(22.2.2, 3, 5)(表22.2.1)
	トイレ	(20.2.5)						
	パネル表面材の種類	・マルミン樹脂系化粧板(標準色、アルミ製コーナーエッジ付) ・ポリエチル樹脂系化粧板						
	脚部 構造金物(ステンレス製)	○ 幅木タイプ 支柱タイプ						
	集材手すり	(20						

23 植 栽 工 事 及 び 屋 上 緑 化	・ 植栽地の確認等	土壤の水素イオン濃度指数(pH)試験 電気伝導度(EC)の試験	・ 行う ・ 行う	・ 行わない ・ 行わない	(23.1.3)	24 昇 降 機 設 備 工 事	昇降機設備工事については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」の第9編昇降機設備工事による。	25 そ の 他 特 記 事 項 ～ 統 き	25 そ の 他 特 記 事 項 ～ 統 き			
	・ 植栽基盤の整備	植栽基盤整備	・ 適用する ・ 不適用	・ 適用しない ・ 不適用	(23.2.2, 4)							
	・ 樹木	○ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	樹高12m以上 (○ 100 • 120 • 150) 樹高7m以上12m未満 (○ 80 • 100) 樹高3m以上7m未満 (○ 60 • 80) 樹高3m未満 (○ 50 • 60)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示	・ 適用する ・ 不適用							
	・ 芝、 地被類	○ B種	○ 20	○ 植栽範囲 ・ 図示	・ 適用する ・ 不適用							
	上記に係る仮設校舎建設工事 但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする											
	・ 埋込み用土	植栽基盤の排水設備	・ 設ける (○ 図示) ・ 設けない									
	・ 土壤改良材	・ 客土	・ 現場発生土の良質土									
	・ 樹木	○ 図示による										
	・ 支柱	樹種、寸法、株立数等	○ 図示による									
	・ 幹巻き用材料	支柱材 防腐処理方法	○ 丸太 ・ 真竹 ○ 加圧式防腐処理丸太材									
	・ 芝	○ 幹巻き用テープ	・ わら及びこも									
	・ 吹付けは種	種類 芝張りの工法	○ コウライシバ 平地 法面	・ ノシバ ○ 目地張り ・ 目地張り ○ べた張り ○ べた張り								
	・ 地被類	種子の種類 発芽率	○ 洋芝類(採取後2年以内) ○ 80%以上 ・ 種子の量	g/m ²								
	・ 屋上緑化	樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数							
	(23.4.2)											
	23.5.2, 3											
	植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壤層の厚さ 排水層 ・ 軽量骨材(層の厚さ :) ・ 板状成形品 植込み用土 ○ 改良土 ・ 人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ○ 図示											
	23.3.4											
	新植樹木の枯補償 補償期間 ○ 引渡しの日から1年 ・ その他()											
	移植樹木の枯損処置 樹木等の伐採伐根及び移植の方法は図示による 移植樹木の枯損処置期間 ○ 引渡しの日から1年 ・ その他()											
	23.3.6											
	芝及び地被類の枯補償 補償期間 ○ 引渡しの日から1年 ・ その他()											
	(23.4.7)											

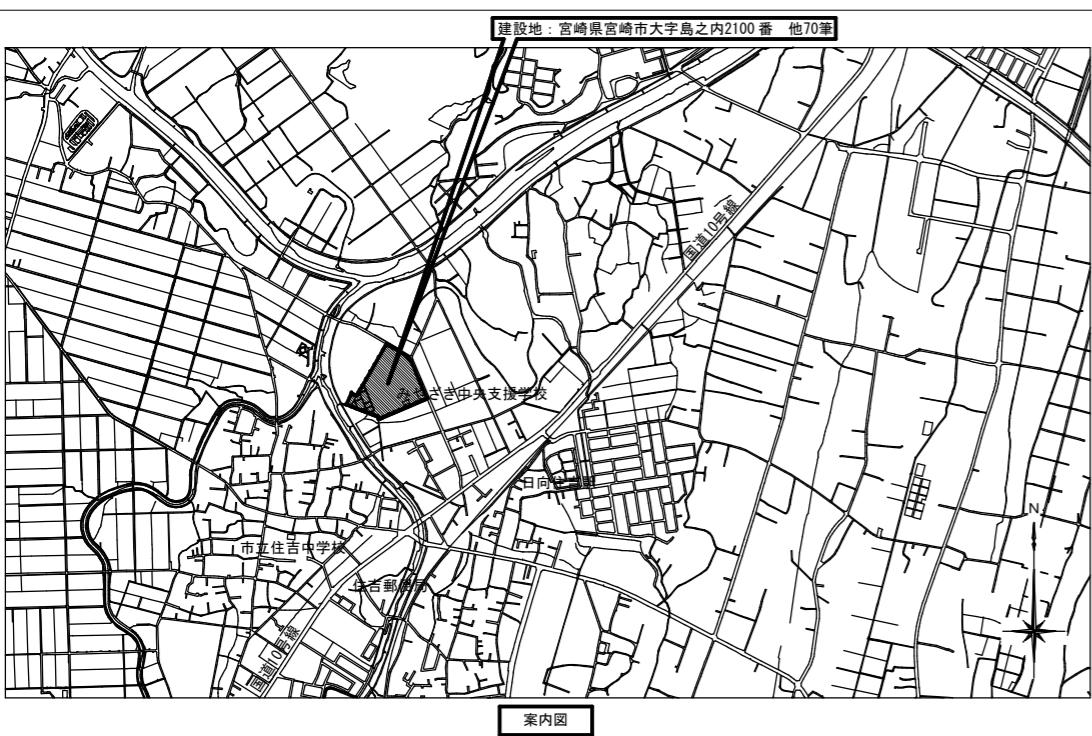
This flowchart illustrates the inspection process for foundation construction, categorized by foundation type and specific construction methods.

- 4 地業工事**
 - 既製コンクリート杭地業**
 - 種類**
 - ・遠心力高強度プレストレスコンクリート杭(PHC杭)
 - ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
 - SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490
 - ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
 - 試験場**
 - ・行う 孔径はオーガー径とする 位置及び長さは図示による()
 - 試験場の施工は試験杭の施工に先立ち行う
 - ・行わない
 - 杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等 (4.2.2)(4.3.3)**

	種類 種別	コガート強度 (N/mm ²)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)
試験杭	上杭 中杭 下杭					
上記に係る仮設杭	上杭 中杭 下杭					
本杭						
 - 試験杭の施工**
 - ・本杭の施工に先立ち行う
 - 試験杭の位置、本数 ④最初の一一本
 - ・図示による()
 - 杭先端部形状**
 - ・開放形
 - ・半開放形
 - ・閉そく形
 - 施工方法**
 - ・セメントミルク工法
 - アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
 - ・図示
 - 杭の支持地盤への根入れ深さ
 - ・図示
 - 杭の精度**
 - 水平方向の位置ずれ
 - ・杭径の1/4かつ100mm以下
 - 建込み時の杭の鉛直度
 - ・1/100以内
 - 特定埋込杭工法**
 - H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha = 250$ を採用できる工法 図示による()
 - 上記以外の特定埋込杭工法 認定番号 支持力係数 $\alpha \geq$
 - 工法**
 - ・プレボーリング拡大根固め工法
 - ・中堀り拡大根固め工法
 - 杭周固定液**
 - ・使用する
 - ・使用しない
 - 杭の精度**
 - 水平方向の位置ずれ
 - ・評定等の評価内容による
 - 杭の傾斜**
 - ・評定等の評価内容による
 - 杭の支持層への根入れ深さ**
 - ・図示による()
 - ・評定等の評価内容による
 - 杭継手工法**
 - ・アーケ溶接継手
 - ・標準4.3.6による
 - 溶接材料
 - ・標準7.2.5(1)(2)による
 - 機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)**
 - 工法
 - ・評定等を受けた工法 (図による)
 - 検査
 - ・評定等により定められた項目 (図による)
 - 施工
 - ・評定等がされた施工管理基準による (図による)
 - 杭頭の処理**
 - ・行う
 - 處理方法(切断にともなう補強方法含む)
 - ・図示による()
 - ・行わない
 - 杭頭の中詰め材料**
 - ・基礎のコンクリートと同調合のもの
- 4 地業工事**
 - 鋼杭地業**
 - 種類の記号**
 - ・SKK400
 - ・SKK490
 - 杭の種類、寸法、継手等**

	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						
 - 試験杭の施工**
 - ・本杭の施工に先立ち行う
 - 試験杭の位置、本数 ④最初の一一本
 - ・図示による()
- 4 地業工事**
 - 地盤改良(セメント系固化剤を用いた工法による改良)**
 - 工法**
 - ・浅層混合処理工法
 - 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ()
 - 長期設計支持力
 - ・() kN/m²
 - ・深層混合処理工法
 - 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ()
 - 長期設計支持力
 - ・() kN/m²
 - 置換コンクリート地業(ラグコンクリート地業)**
 - 形狀、支持地盤、仕様
 - ・図示による()
 - 長期設計支持力
 - ・() kN/m²
 - セメントの種類**
 - ・高炉セメントB種
 - コンクリートの設計基準強度**
 - () N/mm²
 - 構造体強度補正(S)**
 - () N/mm²
 - 工法**
 - ・()
 - 仕様、範囲、計測、試験等**
 - ・図示による()
- 4 地業工事**
 - 場所打ちコンクリート杭地業**
 - 杭の現場継手**
 - ・アーケ溶接継手
 - 形状
 - ・JIS A 5525による
 - 溶接材料
 - ・標準7.2.5(1)(2)による
 - 機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)**
 - 工法
 - ・評定等を受けた工法 (図による)
 - 検査
 - ・評定等により定められた項目 (図による)
 - 施工
 - ・評定等がされた施工管理基準による (図による)
 - 杭頭の処理**
 - ・行う
 - 處理方法(切断にともなう補強方法含む)
 - ・図示による()
 - ・行わない
 - 杭頭の中詰め材料**
 - ・基礎のコンクリートと同調合のもの
- 4 地業工事**
 - 孔壁測定**
 - ・行う 測定方法、測定箇所は図示による()
 - ・行わない
 - 杭の支持層への根入れ深さ**
 - ・図示による()
 - 杭の精度**
 - 水平方向の位置ずれ
 - ・杭径の1/4かつ100mm以下
 - 評定等の評価内容による
 - 建込み時の杭の鉛直度**
 - ・1/100以内
 - 評定等の評価内容による
 - 工法**
 - ・浅層混合処理工法
 - 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ()
 - 長期設計支持力
 - ・() kN/m²
 - ・深層混合処理工法
 - 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ()
 - 長期設計支持力
 - ・() kN/m²
 - セメントの種類**
 - ・高炉セメントB種
 - コンクリートの設計基準強度**
 - () N/mm²
 - 構造体強度補正(S)**
 - () N/mm²
 - 工法**
 - ・()
 - 仕様、範囲、計測、試験等**
 - ・図示による()

解体工事特記仕様書																													
I 工事概要																													
1 工事名称 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎貸借																													
2 工事場所 宮崎県宮崎市大学島之内2100																													
3 敷地面積 33,660 m ²																													
4 主要用途 特別支援学校																													
5 解体建物概要 (様毎に記載)																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名</th><th>構造</th><th>階数</th><th>建築面積 (m²)</th><th>延面積 (m²)</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>101 仮設校舎</td><td>鉄骨造</td><td>1</td><td>458.15</td><td>410.66</td><td></td></tr> <tr> <td>TP1 渡り廊下(吹きさらし)</td><td>鉄骨造</td><td>1</td><td>40.50</td><td>0</td><td></td></tr> <tr> <td>TP2 渡り廊下(吹きさらし)</td><td>鉄骨造</td><td>1</td><td>33.65</td><td>0</td><td></td></tr> </tbody> </table>						建物名	構造	階数	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)	備考	101 仮設校舎	鉄骨造	1	458.15	410.66		TP1 渡り廊下(吹きさらし)	鉄骨造	1	40.50	0		TP2 渡り廊下(吹きさらし)	鉄骨造	1	33.65	0	
建物名	構造	階数	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)	備考																								
101 仮設校舎	鉄骨造	1	458.15	410.66																									
TP1 渡り廊下(吹きさらし)	鉄骨造	1	40.50	0																									
TP2 渡り廊下(吹きさらし)	鉄骨造	1	33.65	0																									
上記に係る解体工事																													
II 解体工事仕様																													
1 共通仕様																													
(1) 国面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書・同解説(令和5年版)」(以下「共仕」という。)により、共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」による。																													
(2) 本工事の事務処理に当たっては、宮崎県土整備部営繕課制定の工事事務処理要領による。																													
2 特記仕様																													
(1) 章は、番号に○印の付いたものを適用する。																													
(2) 項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。																													
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、共仕の該当項目、該当図、該当表を示す。																													
(4) 關係法令の改正等により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督員と協議すること。																													
章	項目	特記事項																											
一般共通事項	① 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> 建築工事標準詳細図(令和4年改定) ・ 																											
	② 官公署その他への届出手続等	<ul style="list-style-type: none"> 工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署との他の関係機関への必要な届出手續等を遅延なく行うこと。 (共1. 1. 3) 																											
	・ 電気保安技術者	<ul style="list-style-type: none"> 適用する ・ 適用しない 																											
	・ 技能士	<ul style="list-style-type: none"> ③ とび <ul style="list-style-type: none"> 1棟の延床面積が1000 m²を超える建築物は原則として1級技能士 1棟の延床面積が1000 m²以下の建築物は原則として1級又は2級技能士 																											
	・ 条件明示項目	<ul style="list-style-type: none"> 共仕1. 3. 5 (1) ~ (2)以外の施工条件 ・ 図示 ・ 現場説明書による 																											
	④ 施工中の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 工事着手前に近隣住民等へ周知すると共に、必要に応じて近隣建物及び付帯施設の状況を写真撮影するなど事前調査を行うこと。 また、工事の施工により近隣建物及び付帯施設に損傷を与えた時は、現状に復旧すること。 																											
	⑤ 工事写真	<ul style="list-style-type: none"> 原則として、電子データで下記のものを監督員に提出する。 撮影方法においては、「常識工事写真撮影要領(令和5年版)」国土交通省大臣官房官庁営繕部制定及び監督員の指示による。 																											
		<table border="1"> <tr> <td>区分</td><td>分類・規格</td><td>提出方法</td><td>提出部数</td><td>備考</td></tr> <tr> <td>着工前</td><td>・ カラー、デジタル写真</td><td>・ CD-R</td><td>・ 1部</td><td>・ (部)</td></tr> <tr> <td>工事中</td><td>・ カラー、デジタル写真</td><td>・ CD-R</td><td>・ 1部</td><td>・ (部)</td></tr> <tr> <td>完成時</td><td>・ カラー、デジタル写真</td><td>・ CD-R</td><td>・ 1部</td><td>・ (部)</td></tr> <tr> <td>完成写真</td><td>・ カラー、デジタル写真</td><td>・ 紙</td><td>・ 1部</td><td>詳細は、「工事業務 処理要領」による</td></tr> </table>				区分	分類・規格	提出方法	提出部数	備考	着工前	・ カラー、デジタル写真	・ CD-R	・ 1部	・ (部)	工事中	・ カラー、デジタル写真	・ CD-R	・ 1部	・ (部)	完成時	・ カラー、デジタル写真	・ CD-R	・ 1部	・ (部)	完成写真	・ カラー、デジタル写真	・ 紙	・ 1部
区分	分類・規格	提出方法	提出部数	備考																									
着工前	・ カラー、デジタル写真	・ CD-R	・ 1部	・ (部)																									
工事中	・ カラー、デジタル写真	・ CD-R	・ 1部	・ (部)																									
完成時	・ カラー、デジタル写真	・ CD-R	・ 1部	・ (部)																									
完成写真	・ カラー、デジタル写真	・ 紙	・ 1部	詳細は、「工事業務 処理要領」による																									
・ 完成図等	<ul style="list-style-type: none"> 作成する <ul style="list-style-type: none"> ・ 2ヶ折り製本 ・ ○ 1部 ・ (部) 設計変更等に伴う図面修正は、受注者が行うこと (○ 修正 CADデータ及びPDFデータ ・ 2部 ・ (部) 																												
・ 施工数量調査	<ul style="list-style-type: none"> 調査範囲及び調査方法 ・ 行う ○ 行わない 範囲: ○ 図示による () 方法: ○ 図示による () 																												
建築工事事務所名 有限会社 野添設計																													
一級建築工事事務所 宮崎県知事登録 C-5666 号 一級建築士登録 第 253725 号																													
設計者 野添 義二																													
宮崎県解体工事特記仕様書																													
宮崎県土整備部営繕課 令和6年4月版																													



■施設・敷地概要

工事名称	みやざき中央支援学校仮設校舎建設工事
申請地	宮崎県宮崎市大字島之内2100番 他70筆
区域・用途地域	都市計画区域内（市街化調整区域）・無指定地域、建ぺい70%、容積200%
防火地区	指定なし
その他の地域	なし
敷地面積	33,660 m ² (⑧農業棟 確認済証: H28年 計認建築宮崎市建00010号 交付時の敷地形状の変更がないことを確認し引用。)
主要用途	(区分 08100) 特別支援学校

■増築建物概要

棟番号	名称	床面積	建築面積	構造	階数	耐火	工事対象
101	仮設校舎	410.68	458.18	S	1	その他	仮設 (R7.5-R9.2)
TP1	渡り廊下（吹さらし）	40.50	40.50	S	1		仮設 (R7.5-R9.2)
TP2	渡り廊下（吹さらし）	33.28	33.28	S	1		仮設 (R7.5-R8.9)
	合計	410.68	531.96				

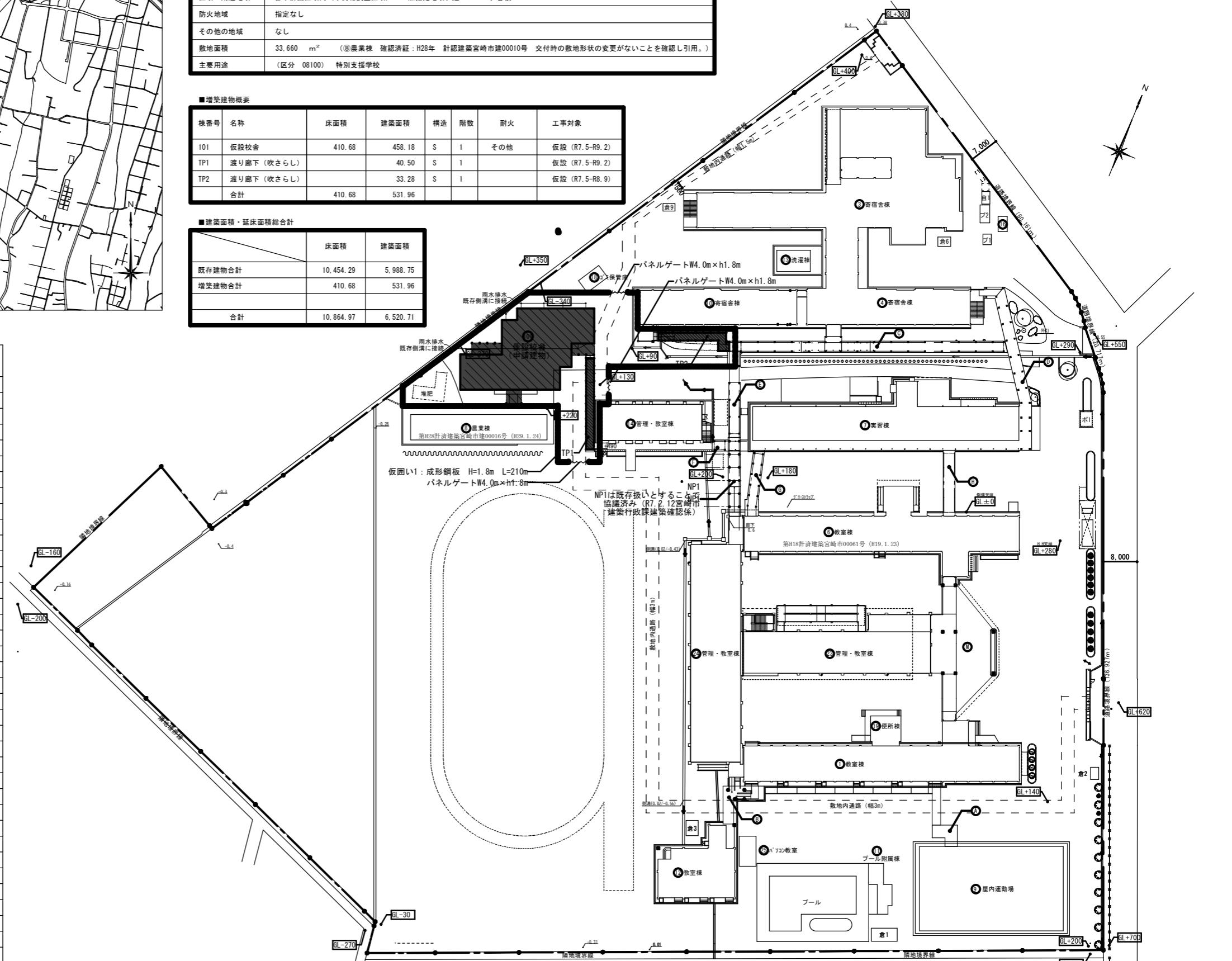
■建築面積・延床面積総合計

	床面積	建築面積
既存建物合計	10,454.29	5,988.75
増築建物合計	410.68	531.96
合計	10,864.97	6,520.71

■既存建物概要

棟番号	名称	床面積	建築面積	構造	階数	耐火	工事対象
1	教室棟	1,102.00	551.00	RC	2	耐火建築物	
3	寄宿舎	1,317.00	658.50	RC	2	耐火建築物	
4	寄宿舎	624.00	312.00	RC	2	耐火建築物	
6	教室棟	1,791.00	613.00	RC	3	耐火建築物	
7	実習棟	534.00	534.00	S	1	その他	解体予定
8	農業棟	195.76	246.96	S	1	その他	
9	屋内運動場	702.00	702.00	RC	1	準耐火建築物	
10	寄宿舎	600.00	300.00	RC	2	耐火建築物	
11	プール付属棟	39.00	39.00	S	1	その他	
12	教室棟	221.00	221.00	RC	1	耐火建築物	
13	洗濯室	40.00	40.00	RC	1	その他	
14	管理・教室棟	415.00	207.50	RC	2	耐火建築物	
16	ボイラー棟	7.00	7.00	S	1	その他	
18	ゴミ保管庫	12.00	12.00	W	1	その他	
19	便所棟	48.00	48.00	S	1	耐火建築物	
23	管理・教室棟	1,272.00	424.00	RC	3	耐火建築物	
24	管理・教室棟	1,399.00	466.33	RC	3	耐火建築物	
25	パソコン教室	29.00	29.00	S	1	その他	
倉1	倉庫1	18.91	18.91	ブレ	1	その他	
倉2	倉庫2	5.51	5.51	ブレ	1	その他	
倉3	倉庫3	8.64	8.64	ブレ	1	その他	
倉6	倉庫6	6.71	6.71	ブレ	1	その他	
倉7	倉庫7	建物にあらず (2.89m ²)	CB	1	その他		
倉8	倉庫8	建物にあらず (2.32m ²)	ブレ	1	その他		
倉9	倉庫9	5.13	5.13	ブレ	1	その他	
ボ1	ポンプ小屋1	9.18	9.18	RC	1	その他	
ブ1	プロパン庫1	5.00	5.00	ブレ	1	その他	
ブ2	プロパン庫2	9.66	9.66	RC	1	その他	
自1	自転車置場	5.70	5.70	S	1	その他	
堆肥	堆肥置場	32.09	32.09	S	1	その他	
A	渡り廊下（吹さらし）	46.96	S	1			
B	渡り廊下（吹さらし）	40.95	S	1			
C	渡り廊下（吹さらし）	136.22	S	1		解体 (R7.9) 予定	
D	渡り廊下（吹さらし）	81.89	S	1		解体 (R7.9) 予定	
E	渡り廊下（吹さらし）	48.99	S	1			
F	渡り廊下（吹さらし）	7.15	S	1		一部解体 (R7.9) 予定	
G	渡り廊下（吹さらし）	28.20	S	1		解体 (R7.9) 予定	
H	渡り廊下（吹さらし）	39.82	S	1		解体 (R7.9) 予定	
NP1	渡り廊下（吹さらし）	40.75	S	1			
	合計	10,454.29	5,988.75				

※記事

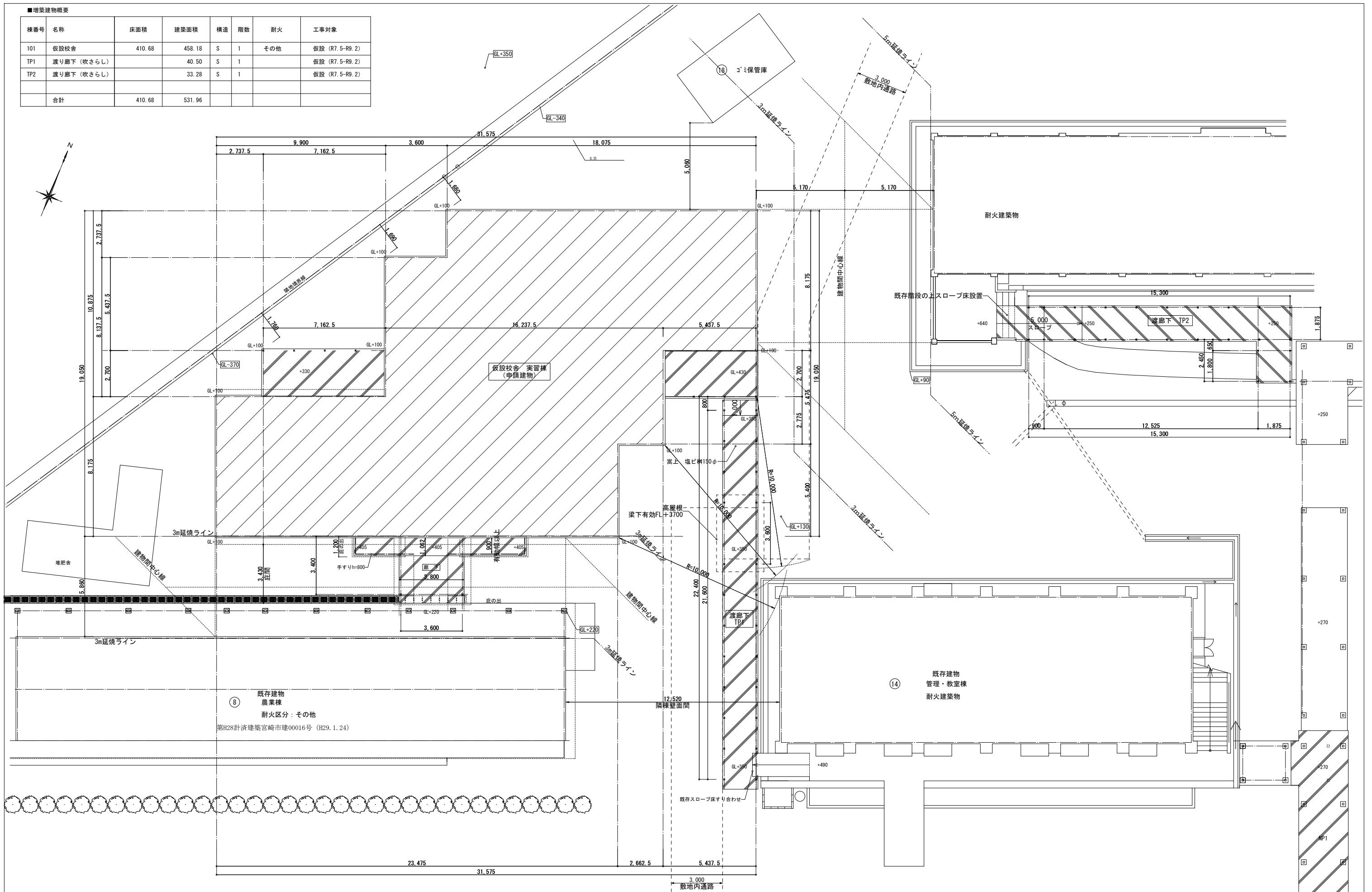


建築士事務所名称	有限会社 野添設計	工事名	高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計監修月	2024.7	図面No.	A-09
登録番号	一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号	工事監修者	野添勝久	設計監修者	野添勝久	設計監修者	野添勝久
設計者	野添義二 一級建築士大臣登録 第253725号	図面名称	案内図、全体配置図、仮設参考図	監修者	野添義二	監修者	野添義二

※記事

■増築建物概要

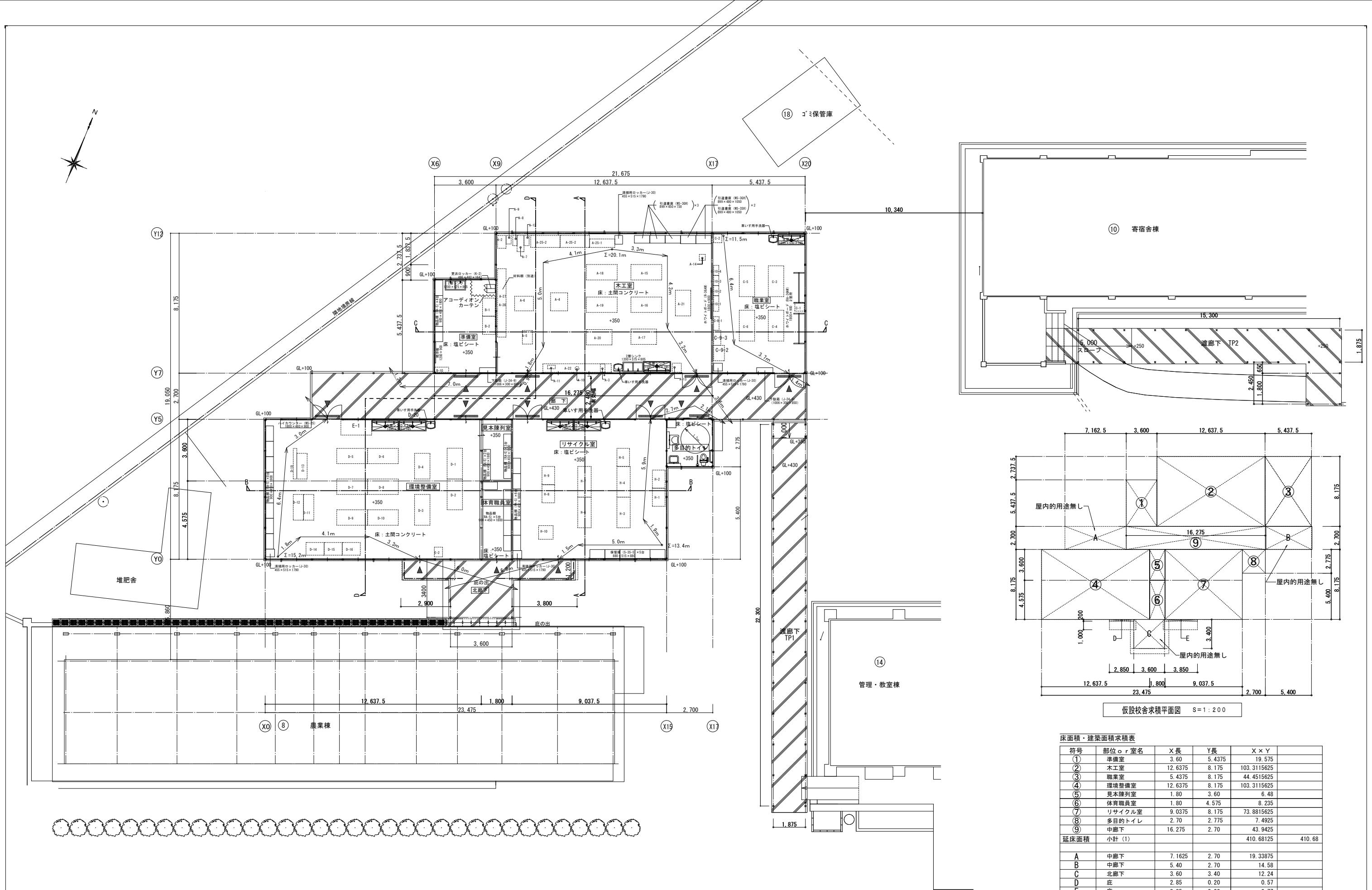
棟番号	名称	床面積	建築面積	構造	階数	耐火	工事対象
101	仮設校舎	410.68	458.18	S	1	その他	仮設 (R7.5-R9.2)
TP1	渡り廊下（吹さらし）		40.50	S	1		仮設 (R7.5-R9.2)
TP2	渡り廊下（吹さらし）		33.28	S	1		仮設 (R7.5-R9.2)
	合計	410.68	531.96				



注記：詳細については、監督員と協議・承諾の上施工を行う。また、特に雨漏り、建物強度、安全等の対策には十分配慮すること。

特記：本設計は標準仕様であり、本設計と同等以上の性能を有すると認められる場合は、監督者の承諾を得て自社仕様及び自社規格寸法による、責任施工とすることが出来る。

※記事	建築士事務所名称	有限会社 野添設計	管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	図面番号 A-11	面No. A-11
			管理技術者 野添勝久			
登録番号	一級建築士事務所宮崎県知事登録	第C-5666号	図面名称 (仮設校舎) 設計概要・室内仕上表	A1	面No. A-11	
		第253725号		A3 No Scale		
設計者	野添義二 一級建築士大臣登録	野添義二	備考 1/200	面No. A-11	面No. A-11	



床面積・建築面積求積表				
符号	部位○r室名	X長	Y長	X×Y
(1)	準備室	3.60	5.4375	19.575
(2)	木工室	12.6375	8.175	103.3115625
(3)	職業室	5.4375	8.175	44.4515625
(4)	環境整備室	12.6375	8.175	103.3115625
(5)	見本陳列室	1.80	3.60	6.48
(6)	体育器具室	1.80	4.575	8.235
(7)	リサイクル室	9.0375	8.175	73.8815625
(8)	多目的トイレ	2.70	2.775	7.4925
(9)	中廊下	16.275	2.70	43.9425
延床面積		小計(1)		410.68125
A	中廊下	7.1625	2.70	19.33875
B	中廊下	5.40	2.70	14.58
C	北廊下	3.60	3.40	12.24
D	底	2.85	0.20	0.57
E	底	3.85	0.20	0.77
建築面積		小計(1)+小計(2)	=	458.18000
建築面積				458.18

※記事

建築士事務所名称
登録番号
設計者

有限会社 野添設計
一級建築士事務所宮崎県知事登録
第0-5666号
野添義二 一級建築士大臣登録
第253725号

工事件名
管理建築士
野添勝久
管理技術者
野添勝久
図面名称
(仮設校舎)平面図

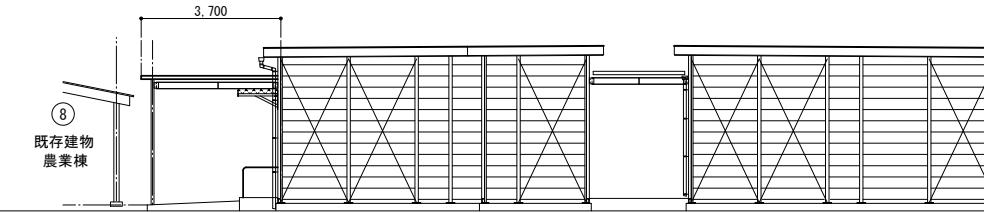
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
第0-5666号
野添義二

図面番号
2024.7
A1
1/100
1/200
図面
A-12
A3
1/200
1/400

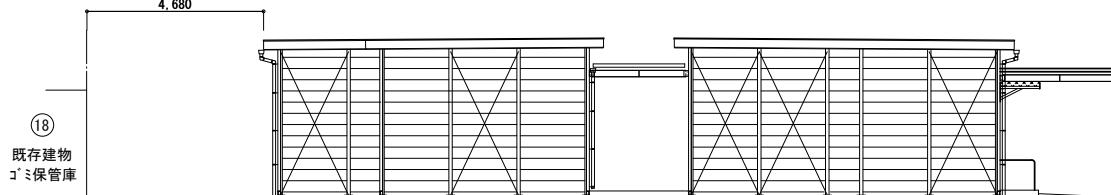
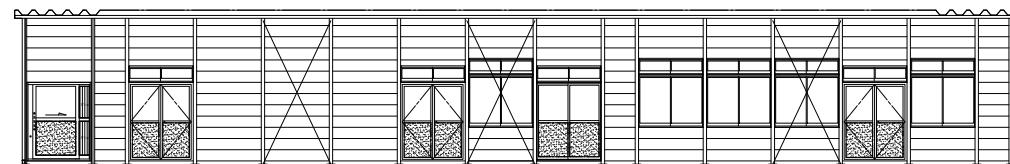


採光補正係数= $D/H \times 10^{-1}$
 $=3.43/2.44 \times 10^{-1}$
 $=13.06 > 3$

Y0 立面図 S=1:100

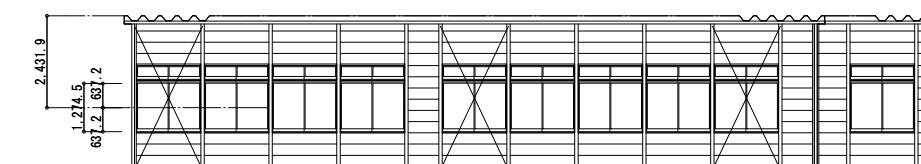
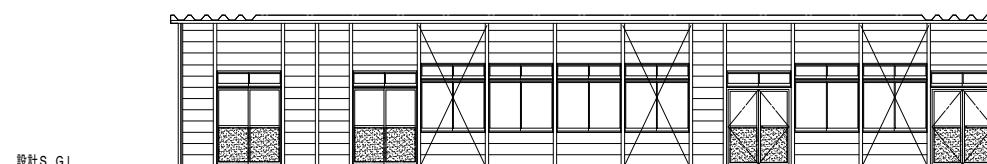


X0 立面図 S=1:100



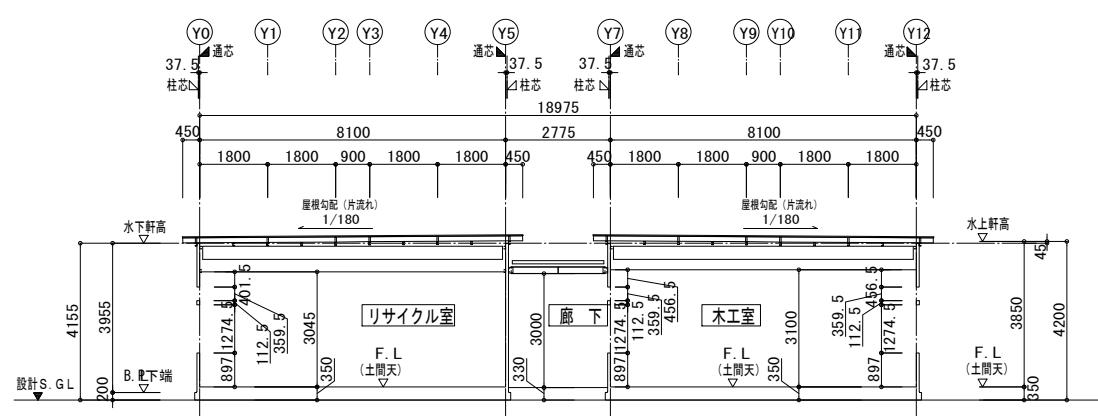
Y5 立面図 S=1:100

X0 立面図 S=1:100

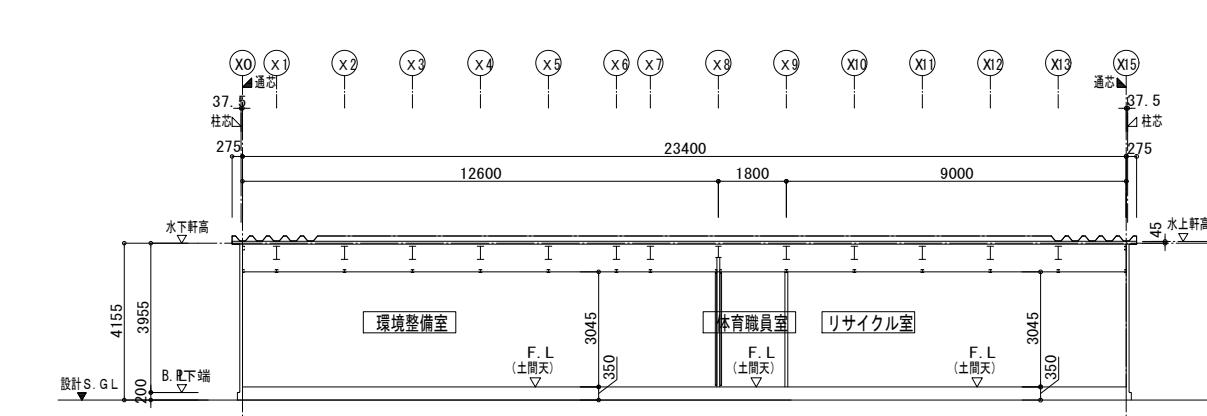


Y7 立面図 S=1:100

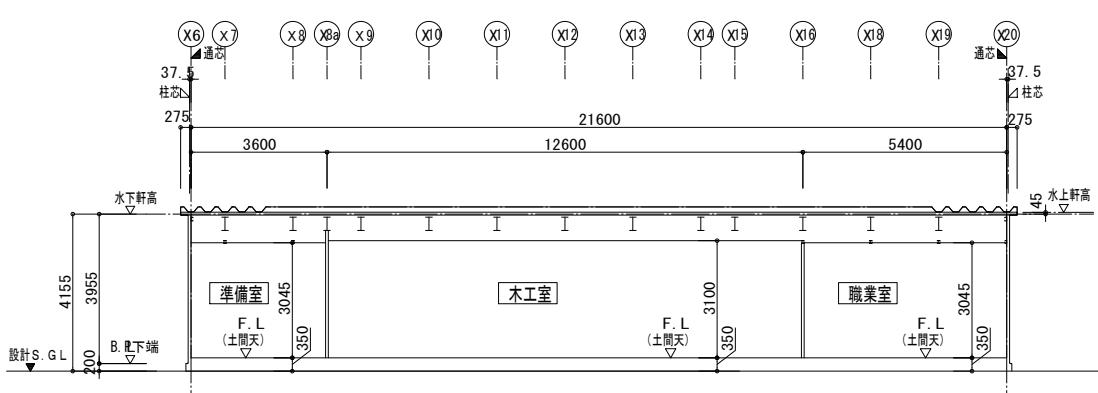
Y12 立面図 S=1:100



A-A 断面図 S=1:100



B-B 断面図 S=1:100



C-C 断面図 S=1:100

※記事

建築士事務所名称

有限会社 野添設計

登録番号

一級建築士事務所宮崎県知事登録

第0-5666号

設計者

野添義二 一級建築士大臣登録

第253725号

管理建築士
野添勝久

管理技術者
野添勝久

設計者
野添義二

工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

図面名称
(仮設校舎)立面図・断面図

右上部

2024.7

A1

1/100

図

右下部

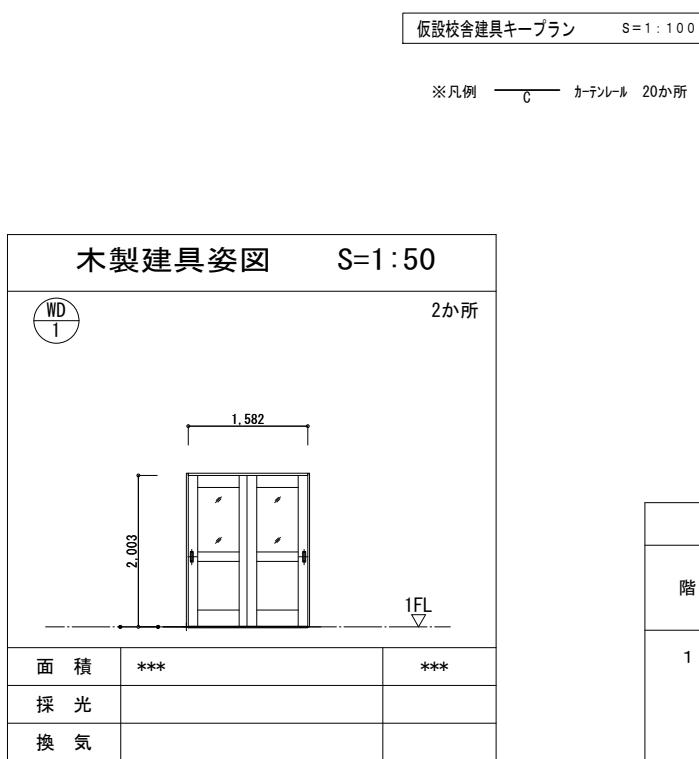
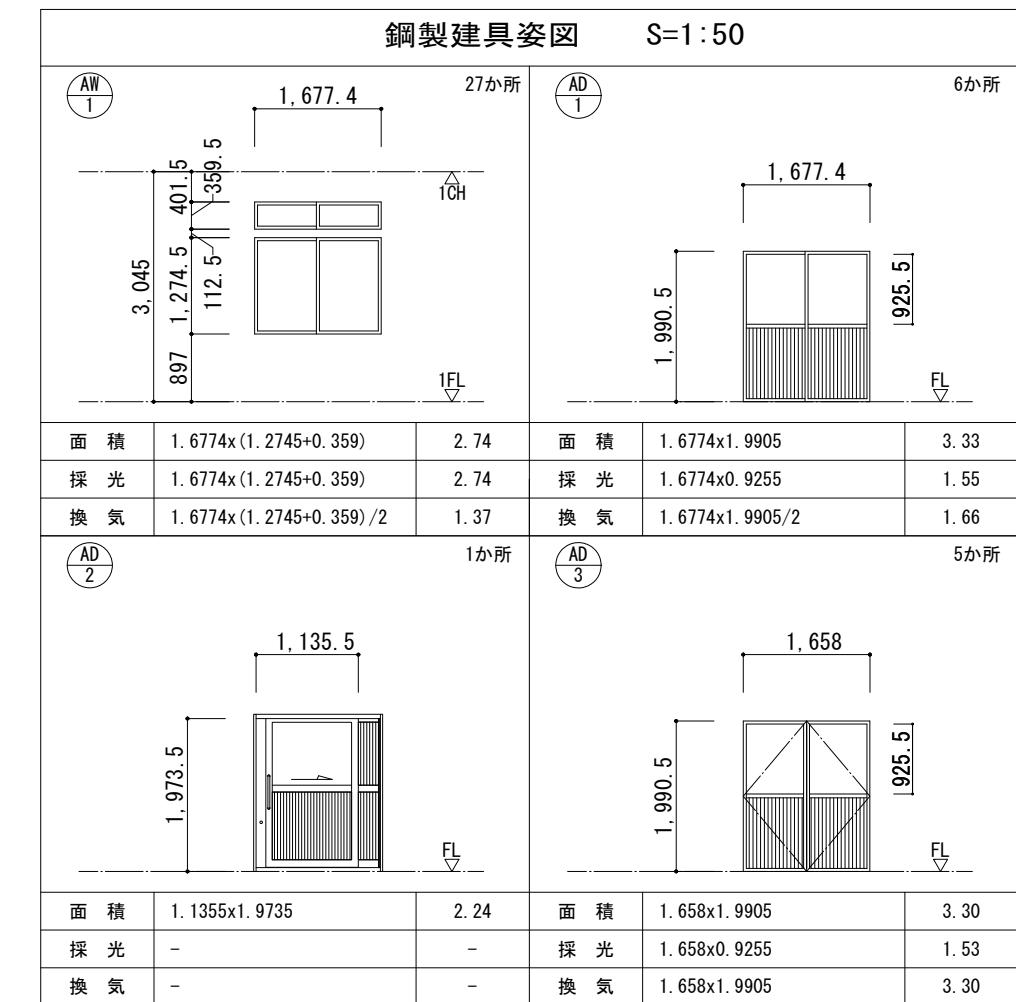
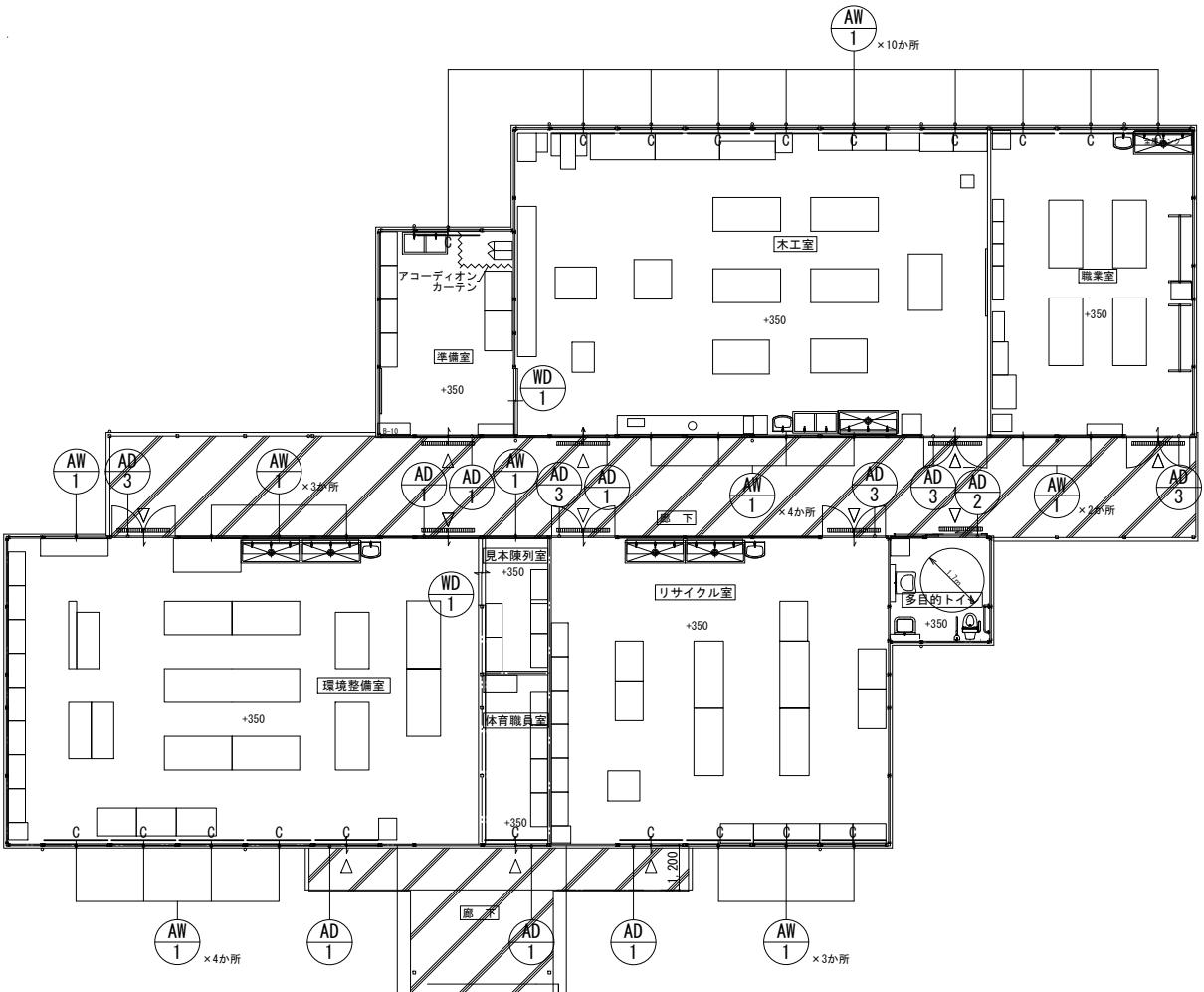
A3

1/200

右上部

A-13

図

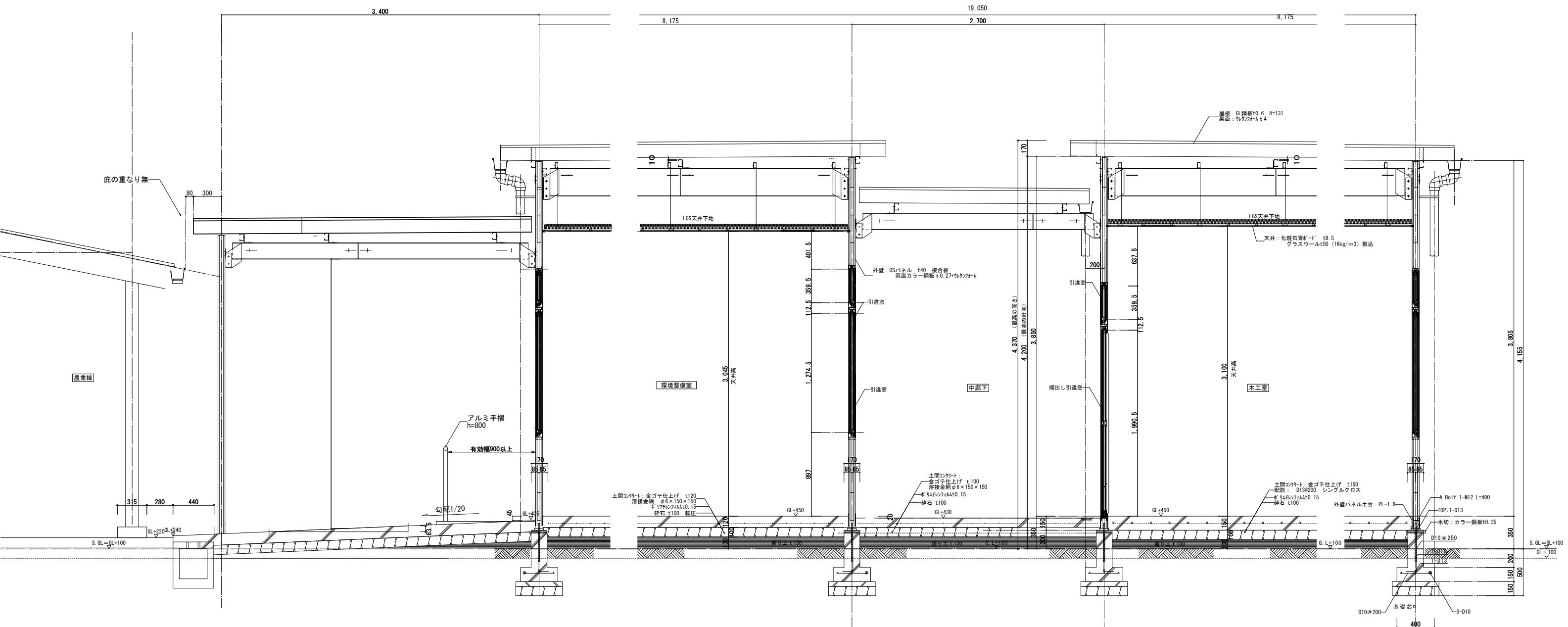


採光補正係数算定

階	建具番号	計算式		
		10d/h-1.0	補正係数	室名
1	AW-1	(10 × 5.0m以上 / 2.44) - 1.0 = 19.49	3.00	準備室、木工室
	AW-1	(10 × 4.68m / 2.44) - 1.0 = 18.18	3.00	職業室
	AW-1	(10 × 3.43m / 2.44) - 1.0 = 13.06	3.00	環境整備室 リサイクル室

消防無窓チェックリスト

階	床面積(m ²)	有窓算定 (1/30)			
		必要開口面積	有効開口面積計算	合計	判定
1	410.68	13.690	AD-1 3.33x3 + 1.6774x1.2745x17 = 36.34	36.34	OK



仮設校舎断面D-D詳細図 S=1:100

※記事

建築士事務所名称 有限会社 野添設計

登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第0-5666号
設計者 野添義二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士
野添勝久

管理技術者
野添勝久

設計者
野添義二

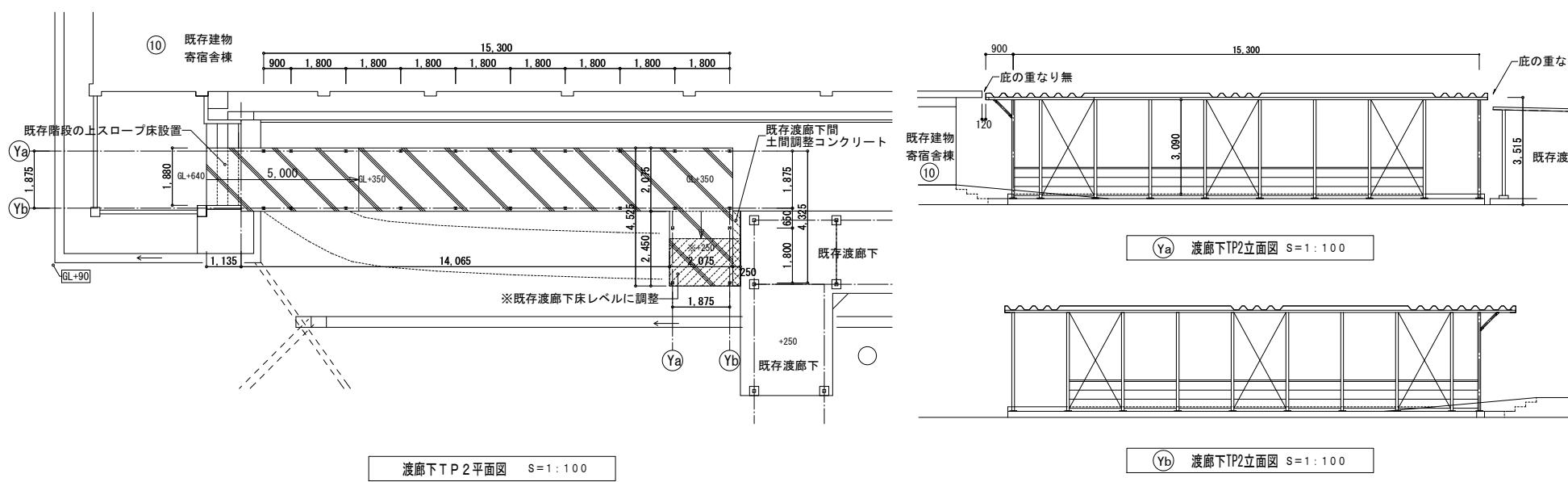
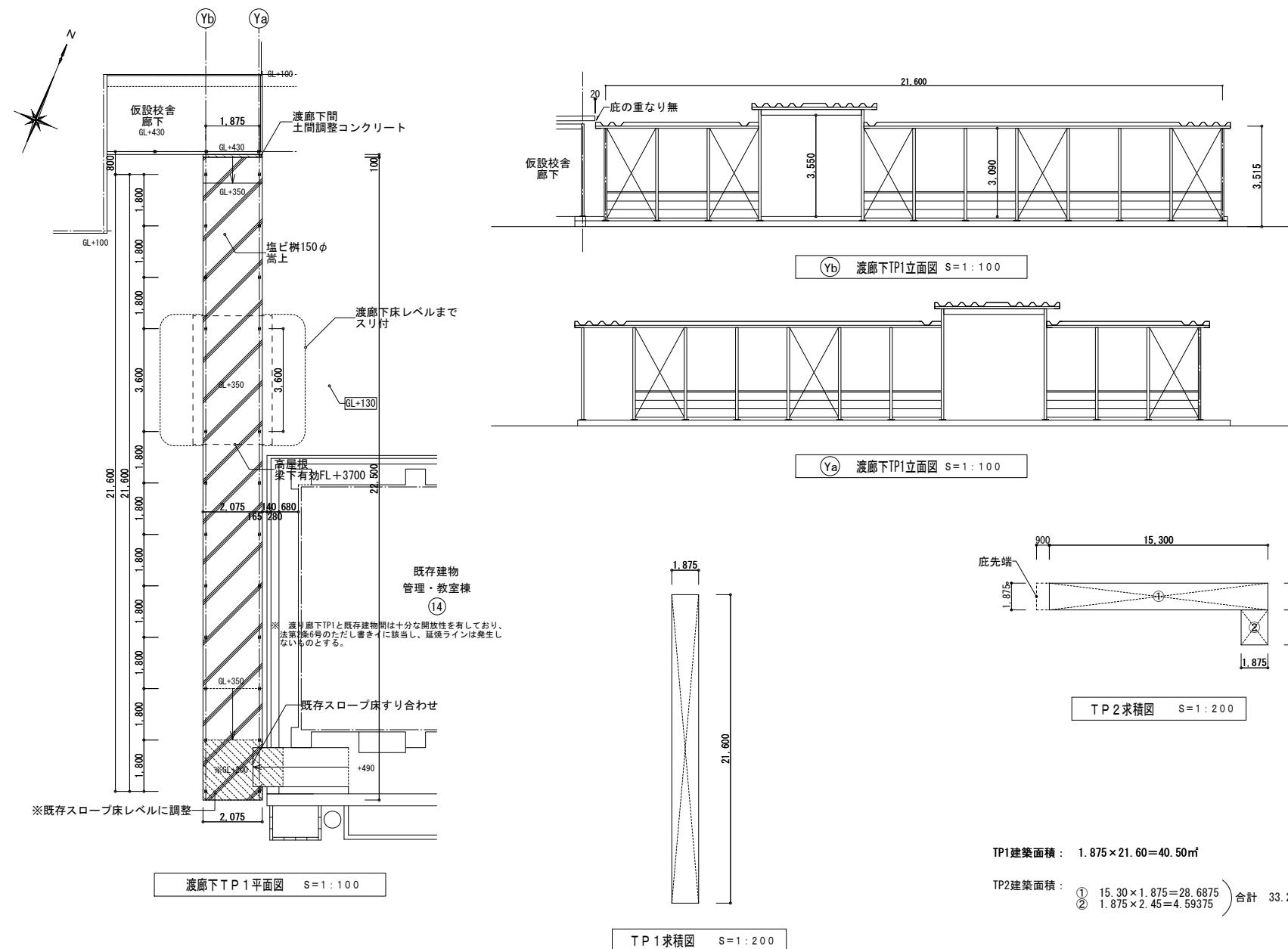
工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

設計年月
2027.7

検

図

図面名	A1	1/20	A-15
図面名	(仮設校舎) 仮設校舎断面詳細図	1/40	
設計年月	2027.7	検	図
検	1/20		



※記事
・渡り廊下の基礎及び柱脚については構造計算により安全性を確認済みである

建築士事務所名称 有限会社 野添設

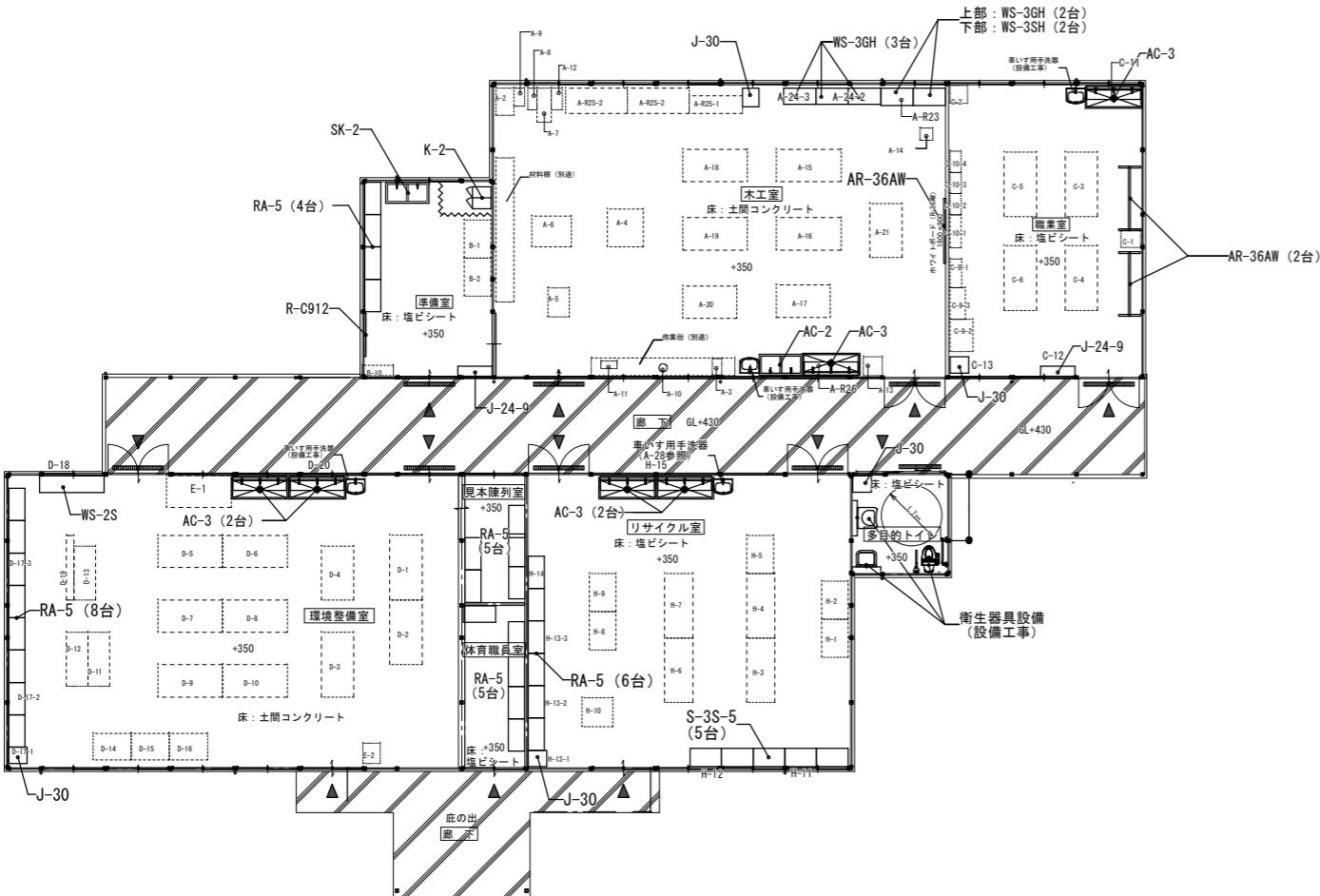
登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録
設計者 野添義二 一級建築十大臣登録

備品リスト(北棟)

室名	符号	品名	寸法	全数	既存を利用 (取り外し及び移設 取付手間は本工事)	請負者で準備 (リース)	備考
準備室	K-2	更衣ロッカー(2人用)	W608xD515xH1790	1		○	
	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	4		○	
	R-C912	掲示板	W1200xH900	1		○	
	AC-2	2槽式シンク	W1100xD600xH1020	1		○	
	J-24-9	下駄箱(9人用)	W1006xD300xH850	1		○	
木工室	WS-3SH	引違い書庫(スチール戸)	W899xD450~480xH1050~1110	2		○	
	WS-3GH	引違い書庫(ガラス戸)	W899xD450~480xH1050~1110	5		○	
	J-30	掃除用ロッカー(J-30)	W455xD515xH1790	1		○	
	AC-2	2槽式シンク	W1100xD600xH1020	1		○	
	AC-3	全槽シンク	W1600xD600xH1020	1		○	
	R-36AW	無地白板	W1800xH900	1		○	
職業室	J-30	掃除用ロッカー(J-30)	W455xD515xH1790	1		○	
	J-24-9	下駄箱(9人用)	W900xD330xH900	1		○	
	AR-36AW	両面回転移動白板(無地/無地)	W1800xH900	2		○	
	AC-3	全槽シンク	W1600xD600xH1020	1		○	

備品リスト(南棟)

室名	符号	品名	寸法	全数	既存を利用 (取り外し及び移設 取付手間は本工事)	請負者で準備 (リース)	備考
環境整備室	WS-2S	ハイカウンタ-	W1800xD460~600xH900~950	1		○	
	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	8		○	
	J-30	掃除用ロッカー(J-30)	W455xD515xH1790	1		○	
	AC-3	全槽シンク	W1600xD600xH1020	2		○	
	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	5		○	
見本陳列室							
	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	5		○	
体育職員室	RA-5	物品棚	W900xD450xH1800	6		○	
	AC-3	全槽シンク	W1600xD600xH1020	2		○	
	S-3S-5	保管庫(スチール戸)	W880xD515xH880	5		○	
リサイクル室	J-30	掃除用ロッカー(J-30)	W455xD515xH1790	2		○	
	J-30	掃除用ロッカー(J-30)	W455xD515xH1790	1		○	
多目的トイレ							



仮設校舎備品キーブラン S=1:100

※下記表中の備品移設、保管は別途工事とする。

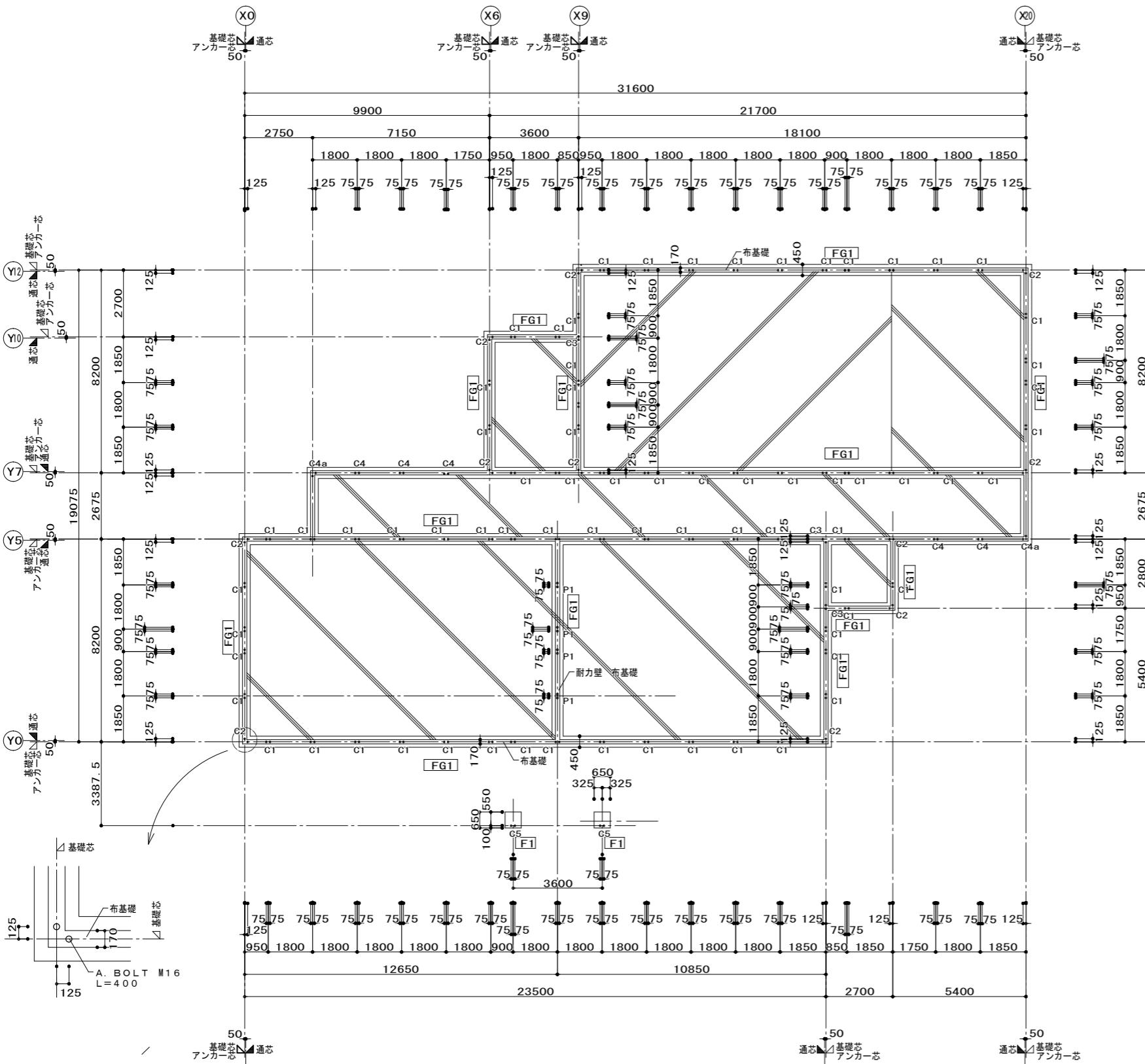
種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H	
移設品	B-1	机1		EPSON EB-685WT	398825	500	550	350
移設品	B-2	机2			480	500	1160	
保管	B-3	机3			1800	900	700	
移設品	B-4	机4			1800	900	700	
移設品	B-5	机5			1800	900	700	
保管	B-6	机6			1770	870	720	
移設品	C-9-1	机1			800	320	1800	
移設品	C-9-2	机2			900	630	1800	
移設品	C-9-3	机3			880	420	1790	
移設品	C-10-1	机4			910	300	1800	
移設品	C-10-2	机5			590	300	1800	
移設品	C-10-3	机6			590	300	1800	
移設品	C-10-4	机7			590	300	1800	
リース代替	B-8-1	手洗い場	大研ぎ		2500	750	940	
リース代替	B-8-2	木製ドア			1820	500	2000	
リース代替	B-8-3	木製下足箱			900	300	880	
リース代替	B-8-4	木製扉			1200	520	2350	
移設品	B-10	木製収納棚			860	300	1090	

職業室既存備品リスト

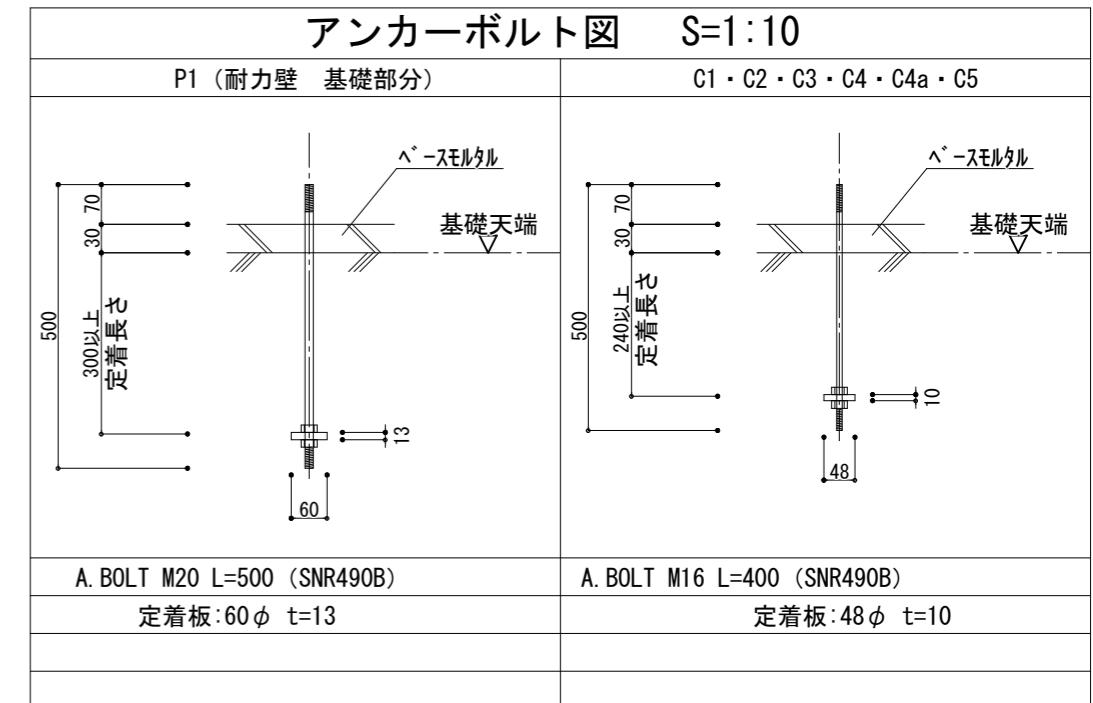
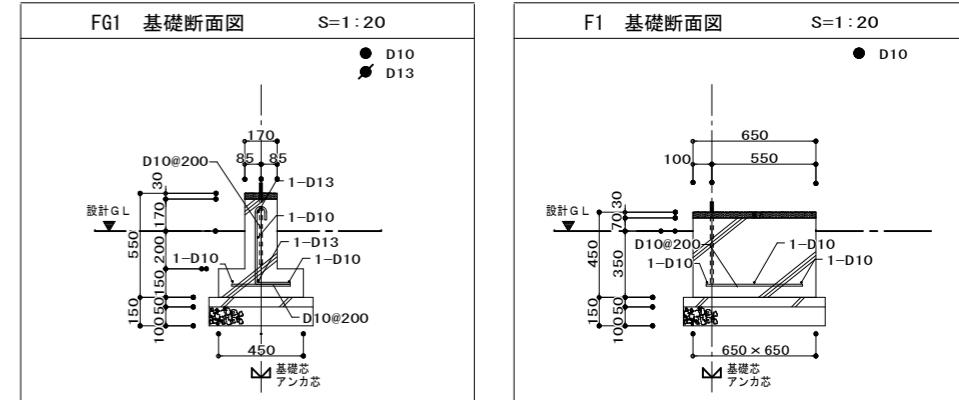
種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H	
移設品	C-1	壁付けプロジェクター		EPSON EB-685WT	398825	500	550	350
移設品	C-2	冷蔵庫SHARP			480	500	1160	
移設品	C-3	机1			1800	900	700	
移設品	C-4	机2			1800	900	700	
移設品	C-5	机3			1800	900	700	
保管	C-6	机4			1800	900	700	
移設品	C-7	机5			1800	900	700	
保管	C-8	机6			1770	870	720	
移設品	C-9-1	机1			800	320	1800	
移設品	C-9-2	机2			900	630	1800	
移設品	C-9-3	机3			880	420	1790	
移設品	C-10-1	机4			910	300	1800	
移設品	C-10-2	机5			590	300	1800	
移設品	C-10-3	机6			590	300	1800	
移設品	C-10-4	机7			590	300	1800	
リース代替	B-8-1	手洗い場	SUS		2500	750	940	
リース代替	B-8-2	木製下足箱			900	300	330	
リース代替	B-8-3	木製扉			600	600	2000	
移設品	B-10	木製収納棚			860	300	1090	

準設室既存備品リスト

種別	番号	品名	型式	備品番号	W	D	H	
移設品	D-1	作業机1			消耗品	1800	900	700
移設品	D-2	作業机2			消耗品	1800	900	700
移設品	D-3	工作台1			消耗品	1800	900	700
移設品	D-4	工作台2			消耗品	1500	900	650
移設品	D-5	工作台3			消耗品	1800	890	760
移設品	D-6	工作台4			消耗品	1800	890	760
移設品	D-7	工作台5			消耗品	1800	900	750
移設品	D-8	工作台6			消耗品	1500	900	750
移設品	D-9	工作台7			消耗品	1800	900	750
移設品	D-10	工作台8			消耗品	1800	900	750
移設品	D-11	実験・実習用机			消耗品	1500	600	770
移設品	D-12	実験・実習用机			消耗品	1500	600	770
移設品	D-13	実験・実習用机			消耗品	1500	600	760
移設品	D-14	机1			消耗品	1060	740	750
移設品	D-15	机2			消耗品	1060	740	750
移設品	D-16	机3			消耗品	1060	740</td	



基礎伏図 S=1:100



使用材料

■基礎・基礎梁・土間・スラブ
普通コンクリート 設計基準強度 $F_c=21N/mm^2$
調合管理強度 : F_c+mSn (構造体強度補正値)
※ mSn (構造体強度補正値) は施工時期によって決定する事。

■捨てコンクリート 設計基準強度 $F_c=18N/mm^2$

■所要スランプ 15cm

■異形鉄筋 SD295 D16以下(重ね継手)

設計地耐力

■長期 50kN/m²

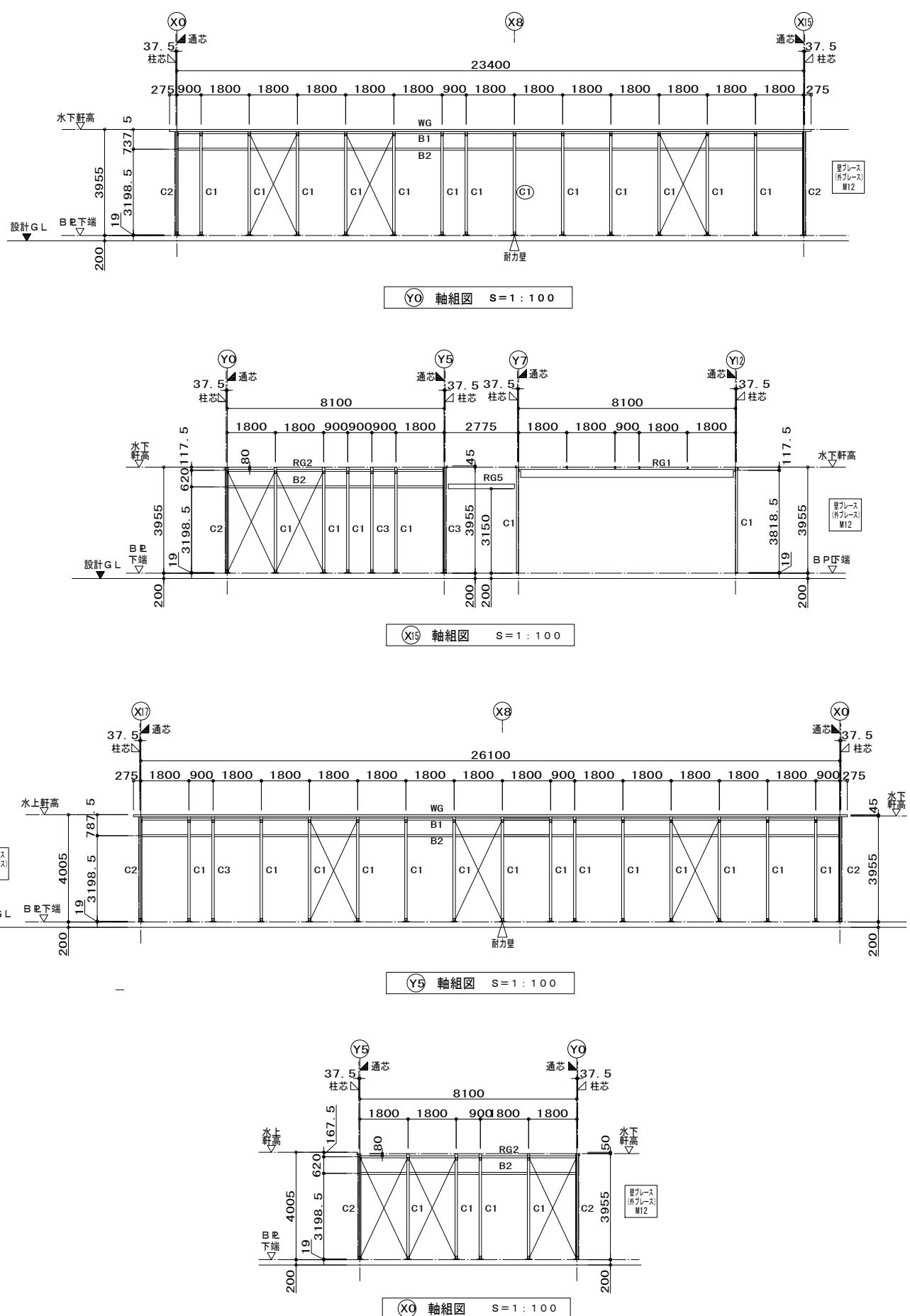
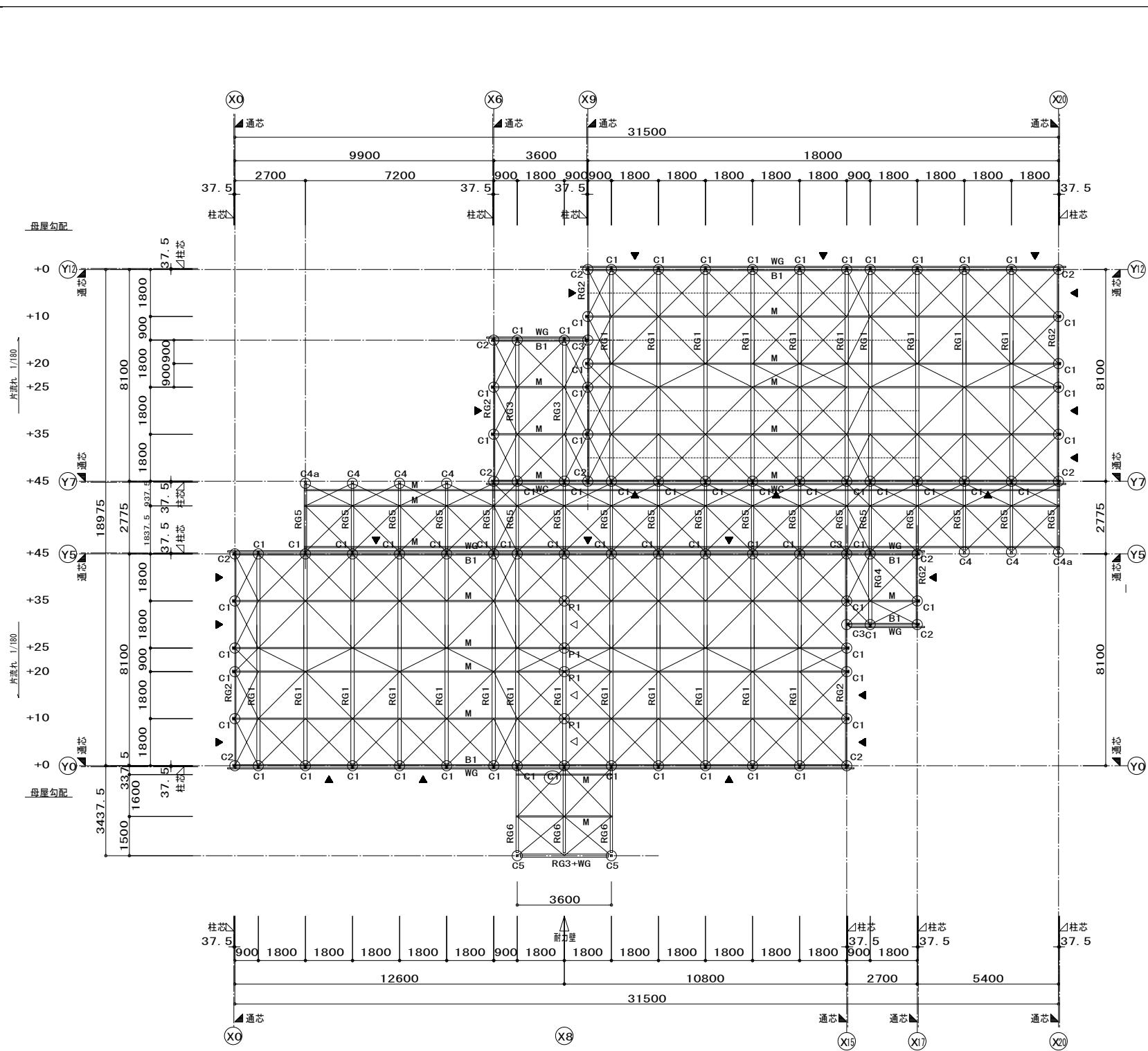
■短期 100kN/m²

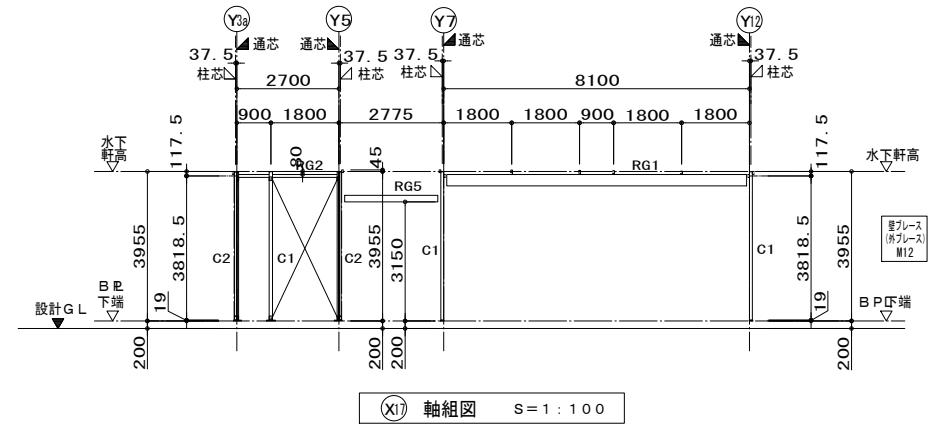
※記事

建築士事務所名称 有限会社 野添設計
登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設計者 野添義二 一級建築士大臣登録 第253725号

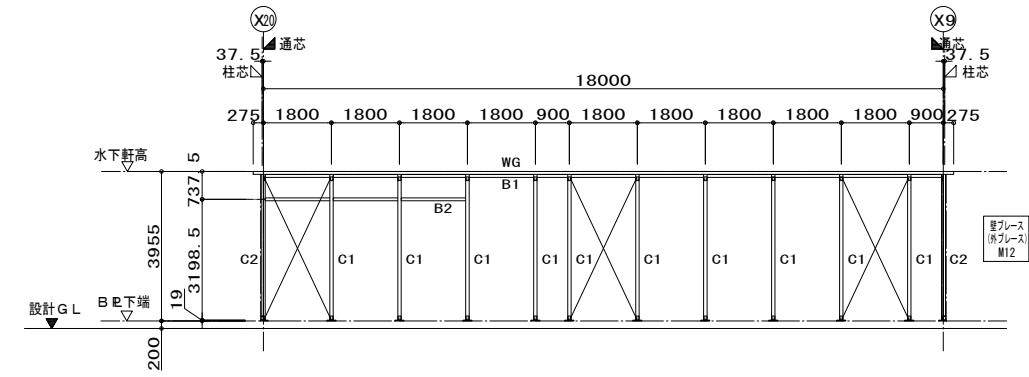
工事名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
管理建築士 野添勝久
管理技術者 野添勝久
図面名称 (仮設校舎) 基礎伏図
設計者 野添義二

年月日	2024.7	図面No.	A-18
作成者	A1 1/100, 1/20 A3 1/200, 1/40 1/20	監修者	

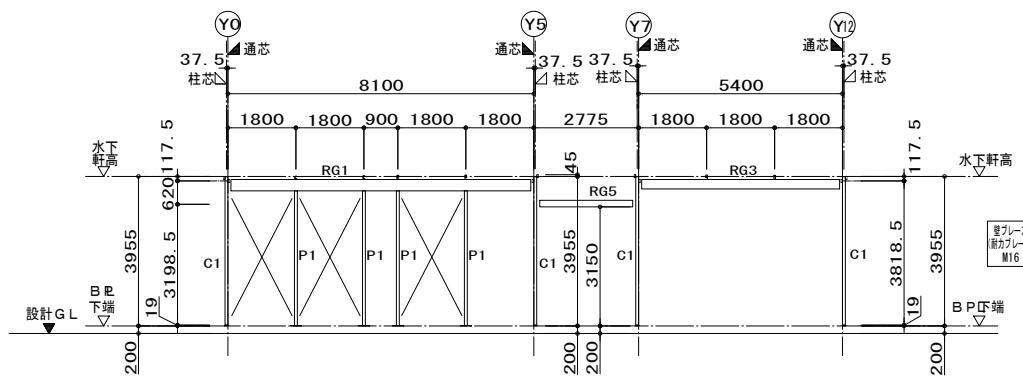




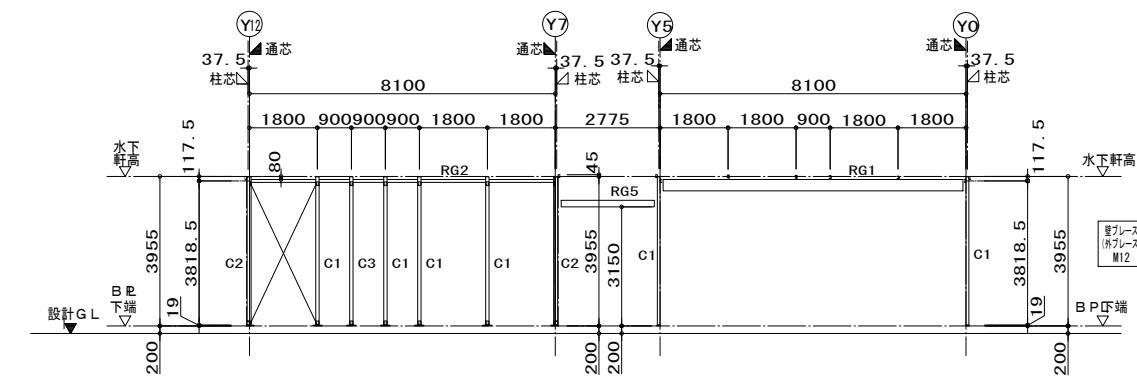
(X17) 軸組図 S=1:100



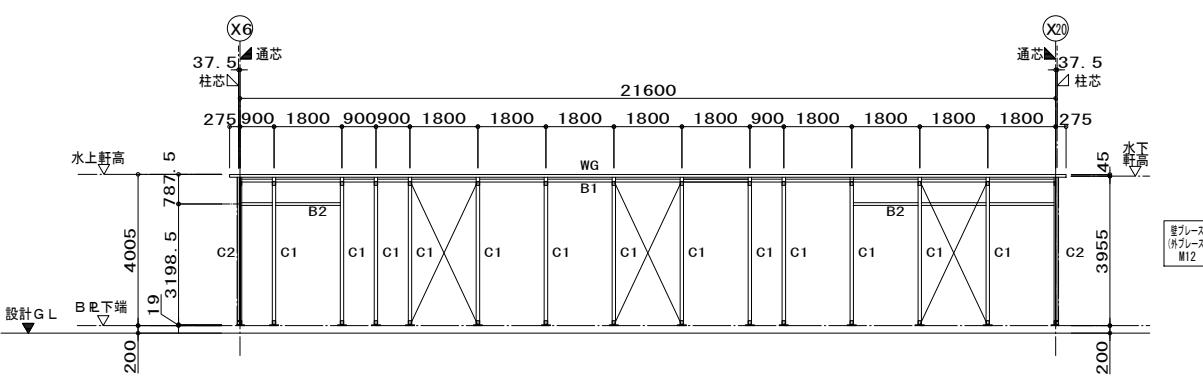
(Y12) 軸組図 S=1:100



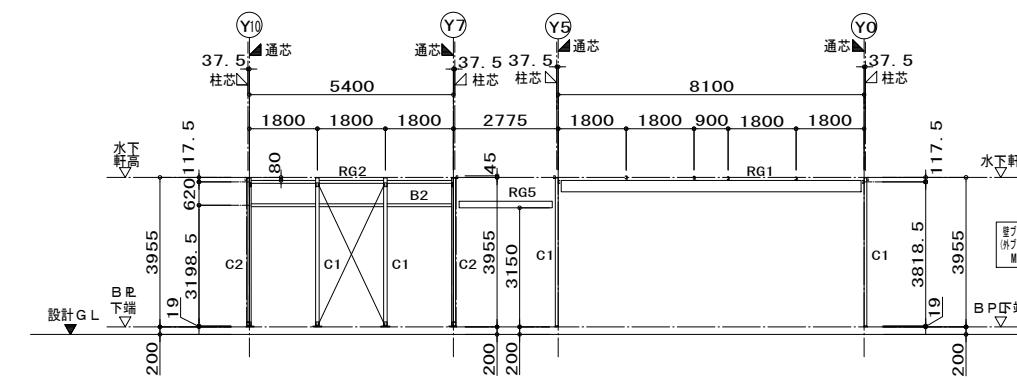
X8 軸組図 S=1:100



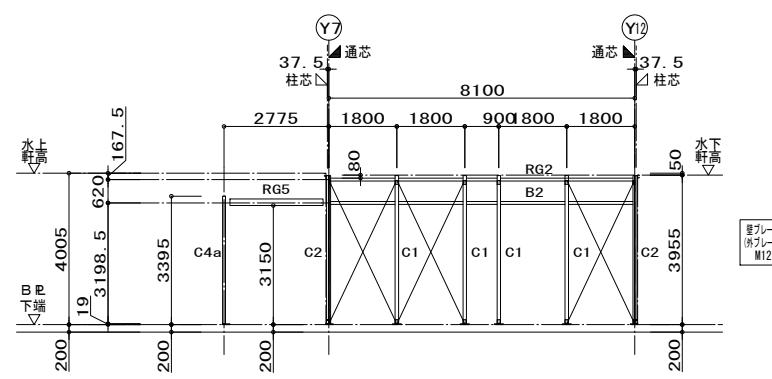
X9 軸組図 S=1:100



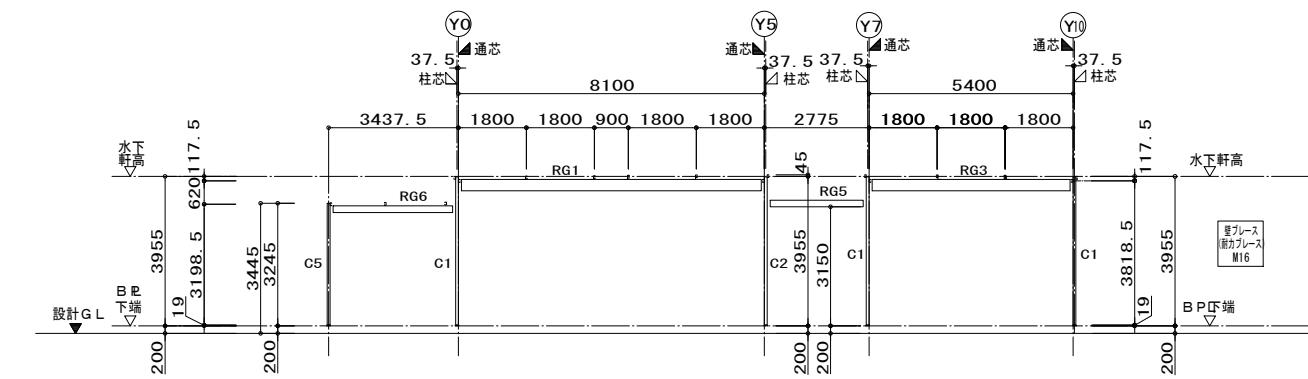
(Y7) 軸組図 S=1:100



X6 軸組図 S=1:100



X20 軸組図 S = 1 : 100



X7 軸組図 S = 1 : 1

※記事

建築士事

所名称 有限会社 野 涩

登 錄

卷 号 一級建築士事務所宮崎

立 珍

著 者 一 義 透 野

— 我 延 封 目 —

野添勝久 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

設計年

A

縮尺

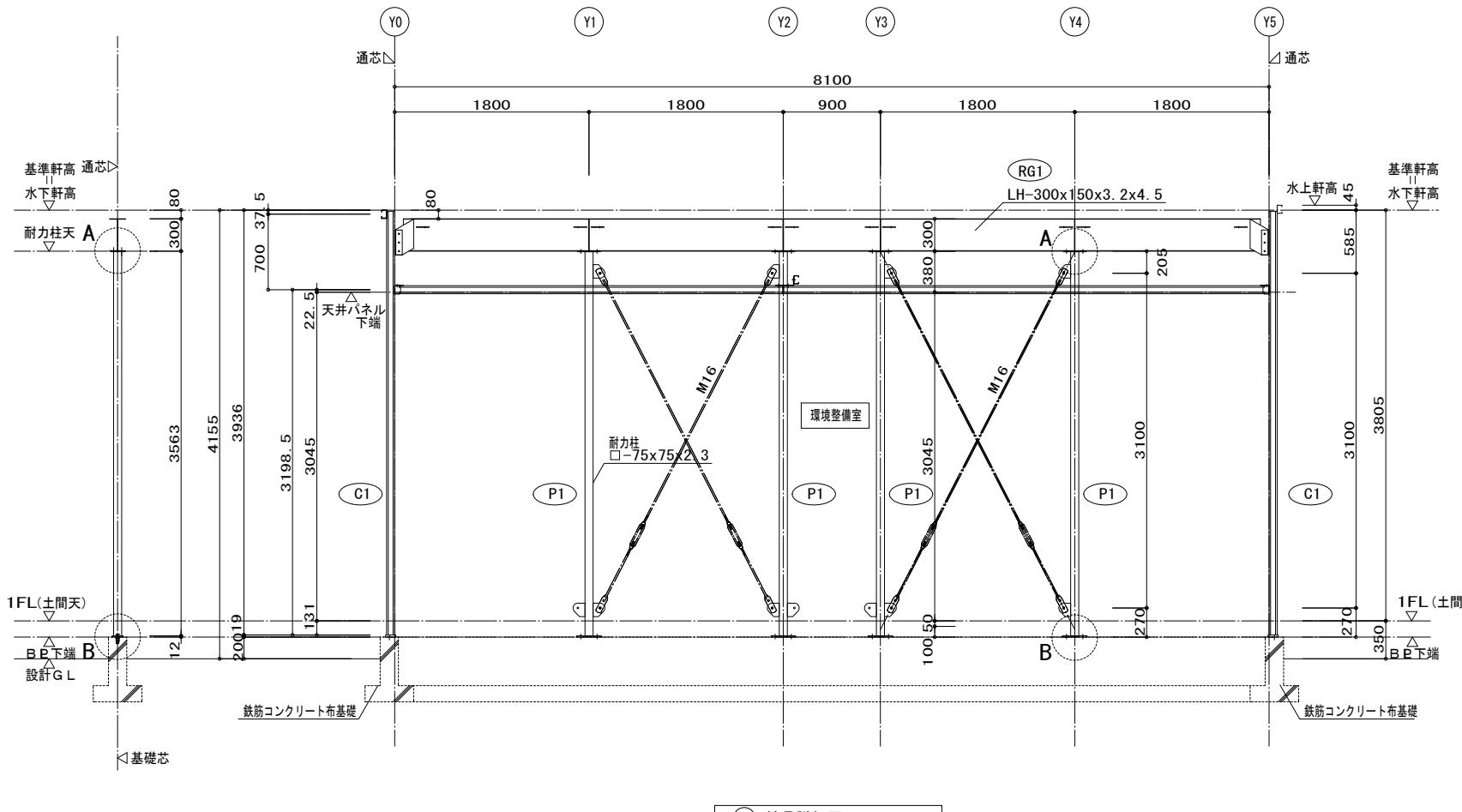
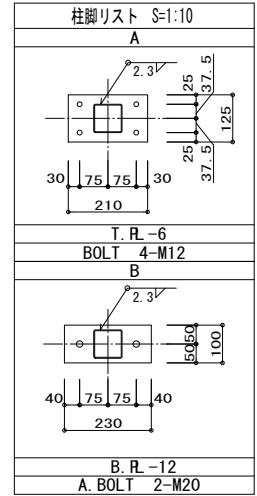
Page 1

1

1

1

1

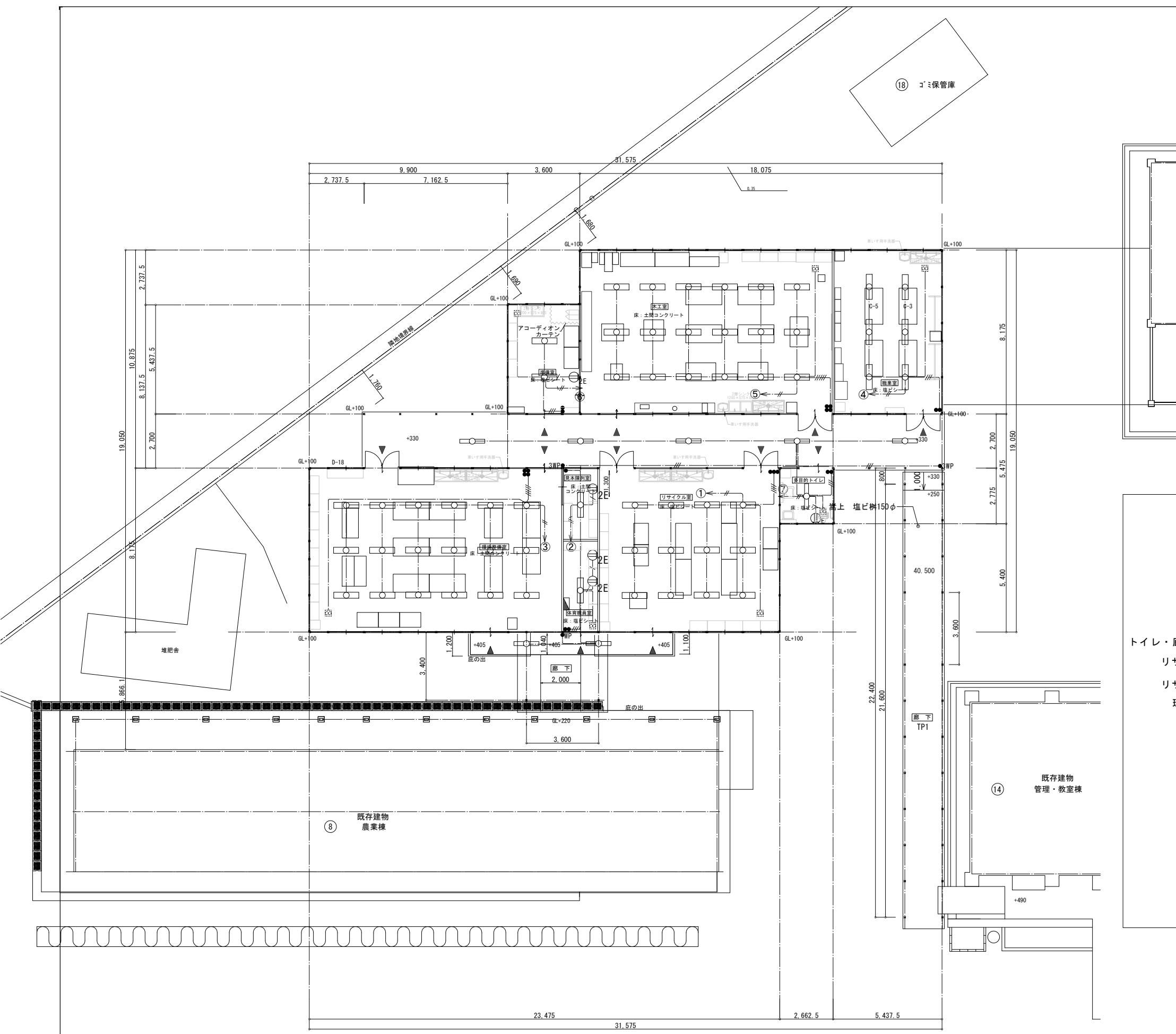


記号	桁柱・妻柱 C1	隅柱 C2	析柱・妻柱 C3	中廊下部分 C4	中廊下部分 C4a	底部分 C5
断面						
部材	I-75x90x15x3.2 (SWH400)	ZC-75x45x15x2.3 (SSC400)	I-75x90x15x3.2 (SWH400L)	P-75x75x2.3 (STKR400)	P-75x75x2.3 (STKR400)	P-75x75x2.3 (STKR400)
プレート	B, B-19.0 (SS400)	B, B-19.0 (SS400)	B, B-19.0 (SS400)	B, B-12.0 (SS400)	B, B-12.0 (SS400)	B, B-12.0 (SS400)
ボルト	2-M16 (SNR490B)	2-M16 (SNR490B)	2-M16 (SNR490B)	2-M16 (SNR490B)	2-M16 (SNR490B)	2-M16 (SNR490B)
記号	耐力プレース部分 P1	小屋梁 スパン=8100 RG1	妻梁 RG2	小屋梁 スパン=5400 RG3	小屋梁 スパン=2700 RG4	中廊下 スパン=2700 RG5
断面						
部材	P-75x75x2.3 (STKR400)	LH-300x150x3.2x4.5 (SWH400)	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	LH-250x125x3.2x4.5 (SWH400)	LH-175x90x3.2x4.5 (SWH400)	LH-175x90x3.2x4.5 (SWH400)
プレート	B, B-12.0 TOP, B-6.0	G, B-4.5		G, B-4.5	G, B-4.5	G, B-4.5
ボルト	2-M20 (SNR490B)	4-M12	3-M12	1-M12	2-M12	2-M12
記号	庇部分 スパン=3400 RG6	軒桁 WG	内桁(上段)・妻梁・振止 B1	内桁(下段) B2	母屋 M	
断面						
部材	LH-175x90x3.2x4.5 (SWH400)	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	C-75x45x15x2.3 (SSC400)	
プレート	G, B-4.5					
ボルト	2-M12	1-M12	1-M12	1-M12	1-M12	
記号	水平プレース	壁プレース(平屋)	壁プレース(耐力部分)	使用材料		
断面	.	.	.	鋼材 SS400 SSC400 STKR400 SWH400 SWH400L	<p>水平・壁プレース SNR400B, SN400B 10.9 中ボルト(スプリングワッシャー付) プレース端部 (大臣認定番号 MTRN-0019)</p> <p>4.8. 中ボルト(スプリングワッシャー付) 耐力部 プレースシール SS400 耐力プレース SNR400B JIS A5540 10.9 中ボルト(スプリングワッシャー付) 耐力部 アンカーボルト SNR490B (ダブルナット締め)</p>	
部材	M12	M12	M16			
プレート	B, S-4.5 (SS400)	B, S-6.0 (SS400)	B, S-6.0 (SS400)			
ボルト	10.9 1-M12	10.9 1-M12	10.9 2-M12			
	大臣認定MTRN-0019					
	B, S-4.5 (SS400)	B, S-6.0 (SS400)	B, S-6.0 (SS400)			
	10.9 1-M12	10.9 1-M12	10.9 2-M12			
	JIS-K5621又はJIS-K5674					

※記事

建築士事務所名称 有限会社 野添
登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録

計 第C-5666号 第253725号	管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月 A1	2024
	管理技術者 野添勝久	図面名称 (仮設校舎) 耐力壁詳細図		
	設計者 野添義二		縮尺 A3	



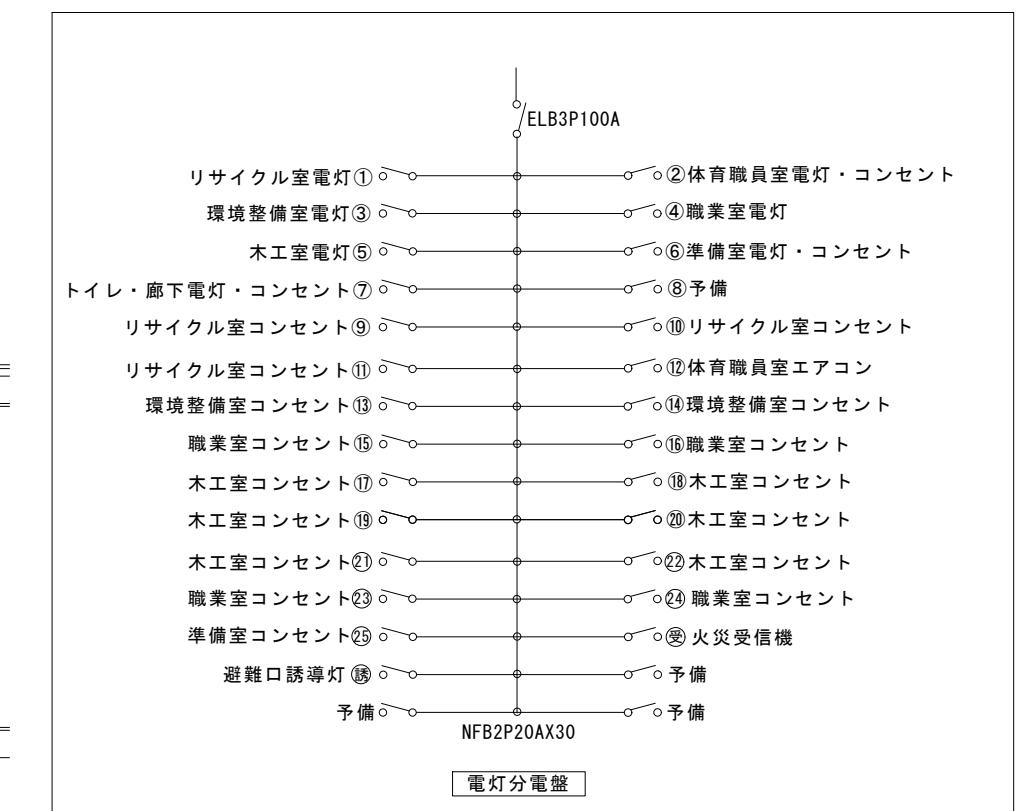
凡 例	
●	露出スイッチ 1P10A×1
◆	露出スイッチ 1P10A×2
◆◆	露出スイッチ 1P10A×3
◆◆◆	露出スイッチ 1P10A×4
●3	露出スイッチ 3W15A×1
●4	露出スイッチ 3W15A×1
①	露出コンセント 2P15A×1
□○△	照明器具A 直付LEDベースライト Hf32W-2灯高出力器具相当
□○△	照明器具B 直付LEDベースライト Hf32W-1灯高出力器具相当
□○□	C級避難口誘導灯(BT内蔵型)

特記なき配線は下記による

—	VVF1.6-2C
-/-	VVF1.6-3C 1芯アース
-//-	VVF1.6-3C
-//-	VVF2.0-3C 1芯アース

電灯盤仕様は下記の通りとする		
名称	内容	容量
L-1	主幹 ELB3P100A	
	電灯分歧 MCB2P20AT×8	
	コンセント分歧 MCB2P20AT×18	
	受信機・誘導灯 MCB2P20AT×2	

仕様：ホーム分電盤



※記事

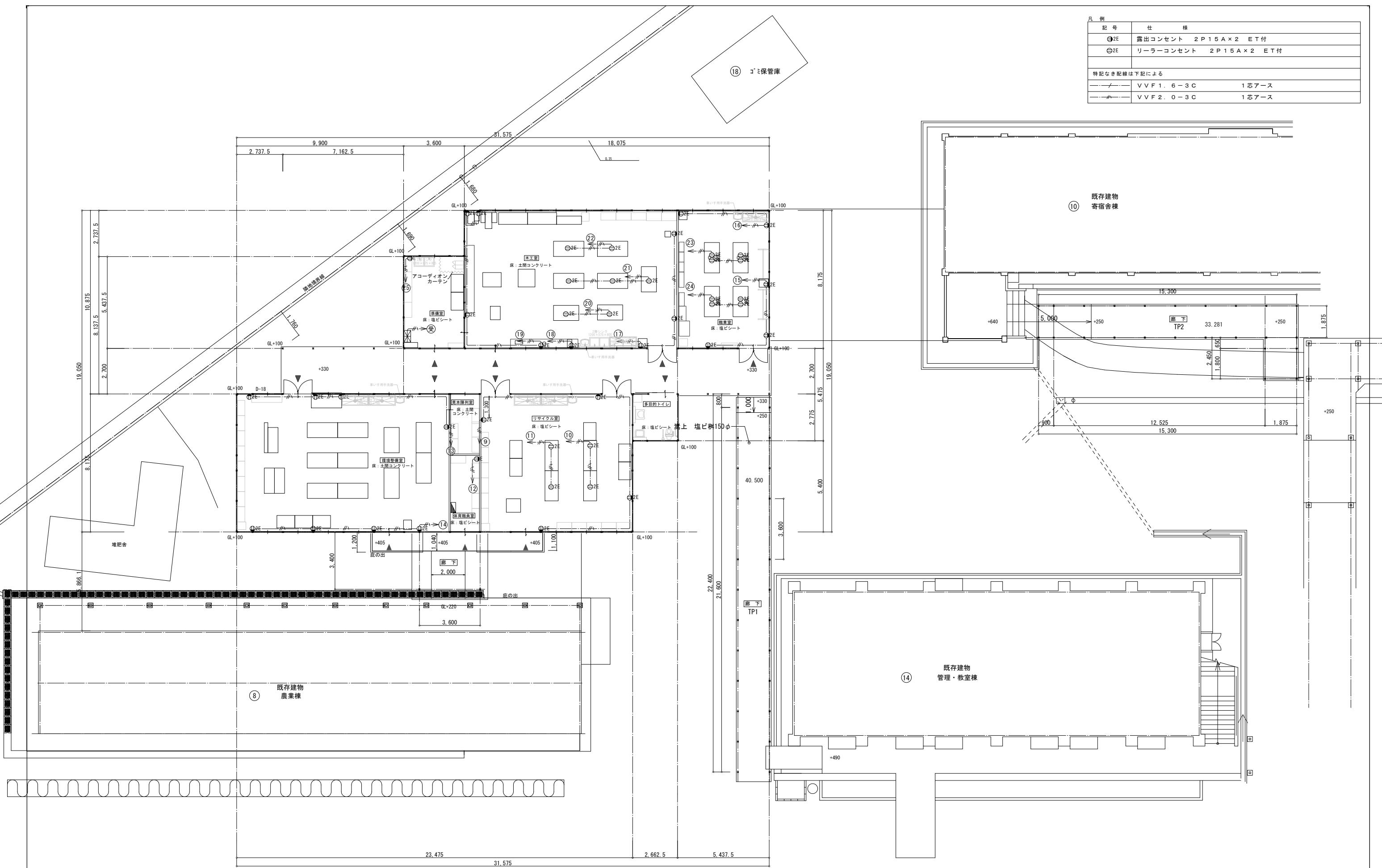
建築士事務所名称 有限会社 野添設計

登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第0-5666号
設計者 野添義二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士 野添義久
管理技術者 野添義久
設計者 野添義二
工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
図面名称 (仮設校舎)電気設備図

設計年月 2024.7
A1
1/100
A-22
図面名
A-22
A3
1/200

記号	仕様
②E	露出コンセント 2P 15A×2 ET付
②E	リーラーコンセント 2P 15A×2 ET付
特記なき配線は下記による	
— / —	VVF 1.6-3C 1芯アース
— / —	VVF 2.0-3C 1芯アース



※記事

建築士事務所名称 有限会社 野添設計

登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第0-5666号
設計者 野添義二 一級建築士大臣登録 第253725号

管理建築士
野添勝久

管理技術者
野添勝久

設計者
野添義二

工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

設計年月 2024.7

図面名 A1

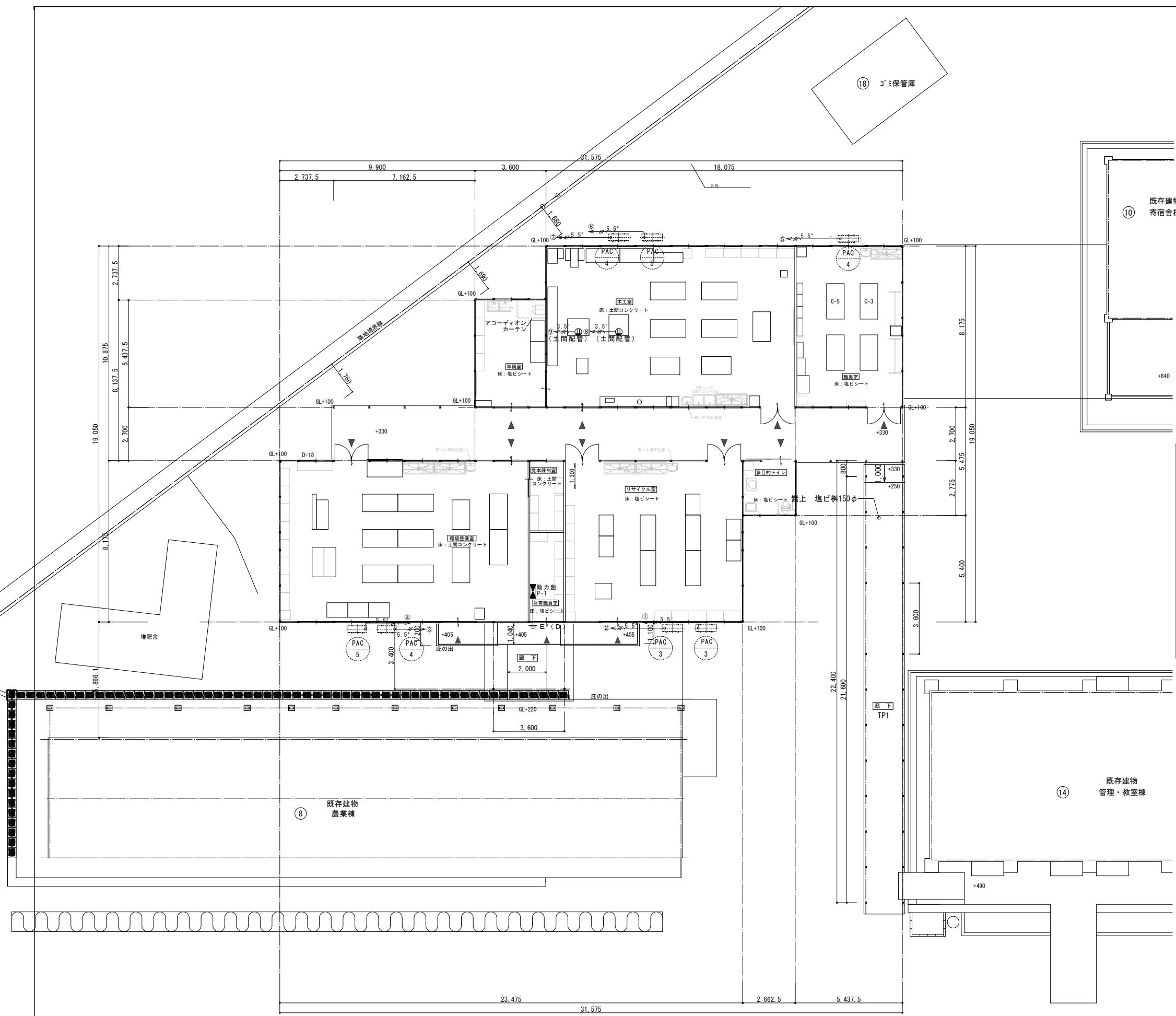
規格

A3

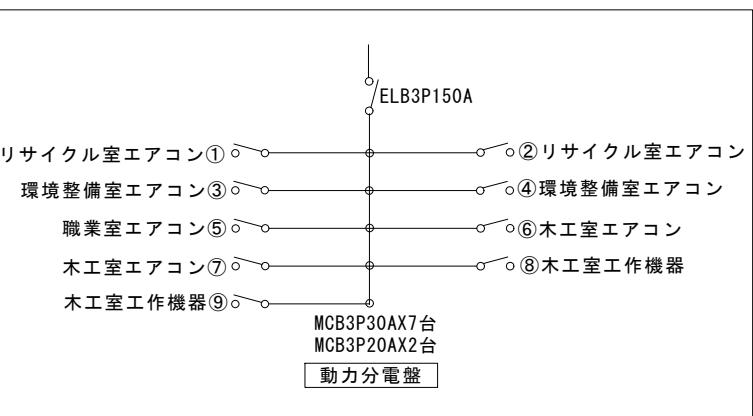
1/100

図面No. A-23

1/200



名称	内容		容量
P - 1	主幹	E L B 3 P 1 5 0 A	
	①	M C B 3 P 3 0 A	2.85
	②	M C B 3 P 3 0 A	2.85
	③	M C B 3 P 3 0 A	4.15
	④	M C B 3 P 3 0 A	5.12
	⑤	M C B 3 P 3 0 A	4.15
	⑥	M C B 3 P 3 0 A	5.12
	⑦	M C B 3 P 3 0 A	4.15
	⑧	M C B 3 P 2 0 A	2.2
	⑨	M C B 3 P 2 0 A	1.5
士様：屋外樹脂製 仮設用 プラボックス			計 32.09



※記

建築士事務所名称 有限会社 野添設計

登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録
設計者 野添義二 一級建築士大臣登録

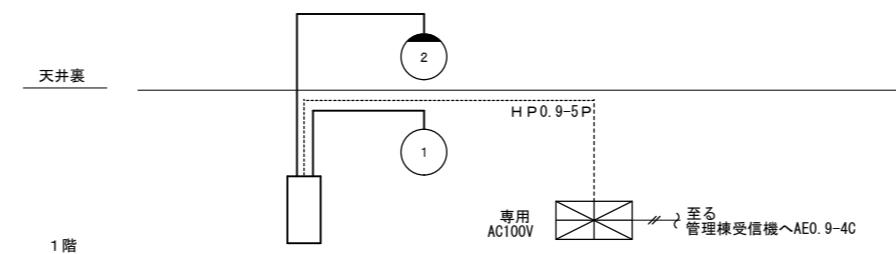
管理建築士
野添勝久
管理技術士
工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

5666号	野添勝久	図面名称
設計者		(仮設校舎) 動力設備図
3725号	野添勝久	

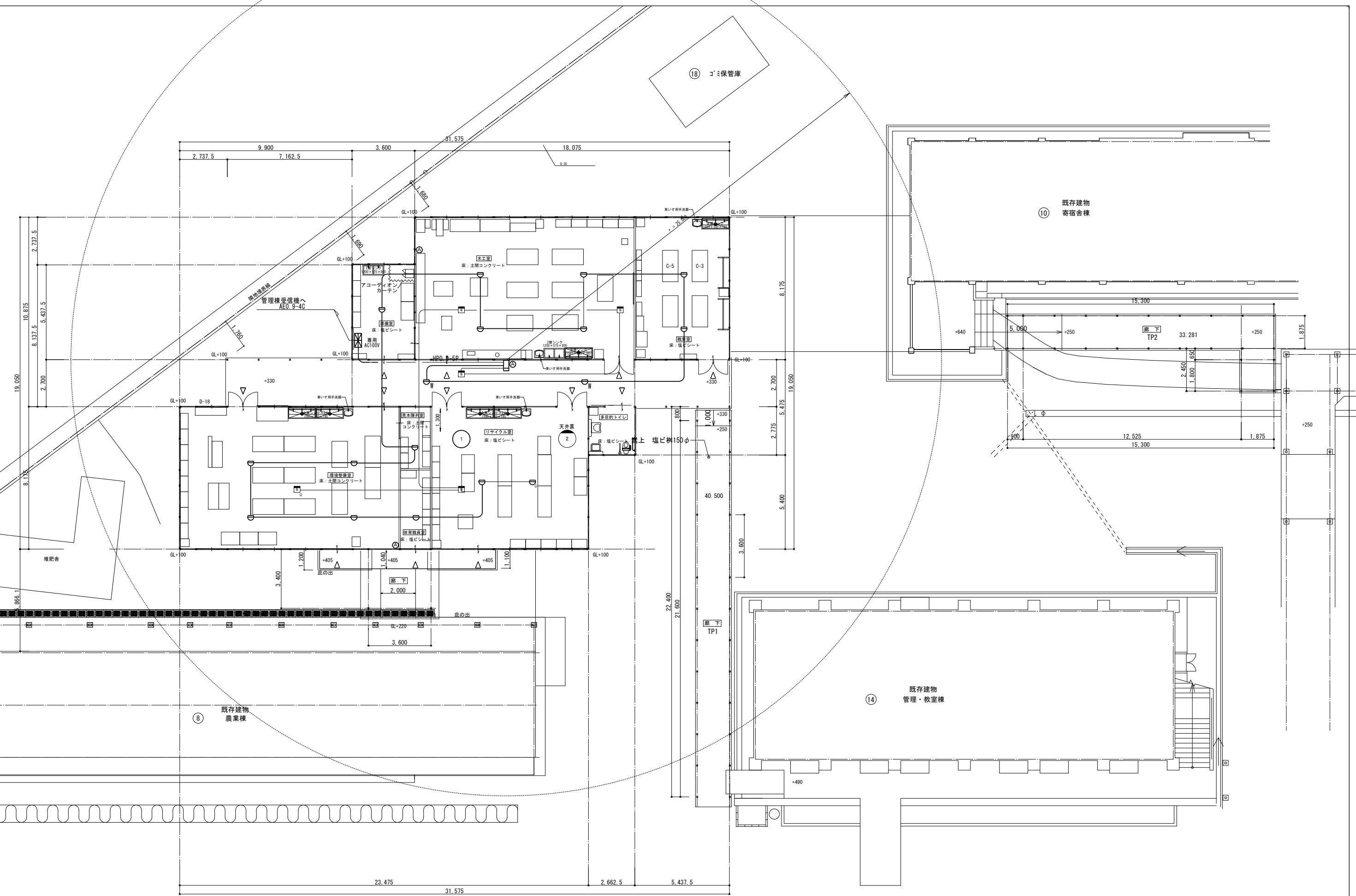
設計 年月	2024. 7			面No.
縮 尺	A1 A3	1/100	檢 圖	A-25
		1/200		

凡 例		
記 号	名 称	備 考
☒	P型2級受信機	蓄積機能付き 再鳴動
		火／3
□	機器収容箱（P型2級）	露出型
□	差動式スポット型感知器	
□	定温式スポット型感知器	
□	光電式スポット型感知器	
□	光電式スポット型感知器	天井裏設置分
Ω	終端抵抗	
Ⓐ	警戒区域番号	
Ⓐ	警戒区域番号	天井裏
Ⓐ	粉末消火器 10型	設置台付

系統図



※記事	建築士事務所名称 登録番号 設計者	有限会社 野添設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 野添義二 一級建築士大臣登録	管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	A1 A3 No. Scale No. Scale	2024.7 No. Scale No. Scale	面図 A-26
			管理技術者 野添勝久				
			設計者 野添義二	図面名称 (仮設校舎) 系統図			



※記事

建築士事務所名称
登録番号
設計者

有限会社 野添設計

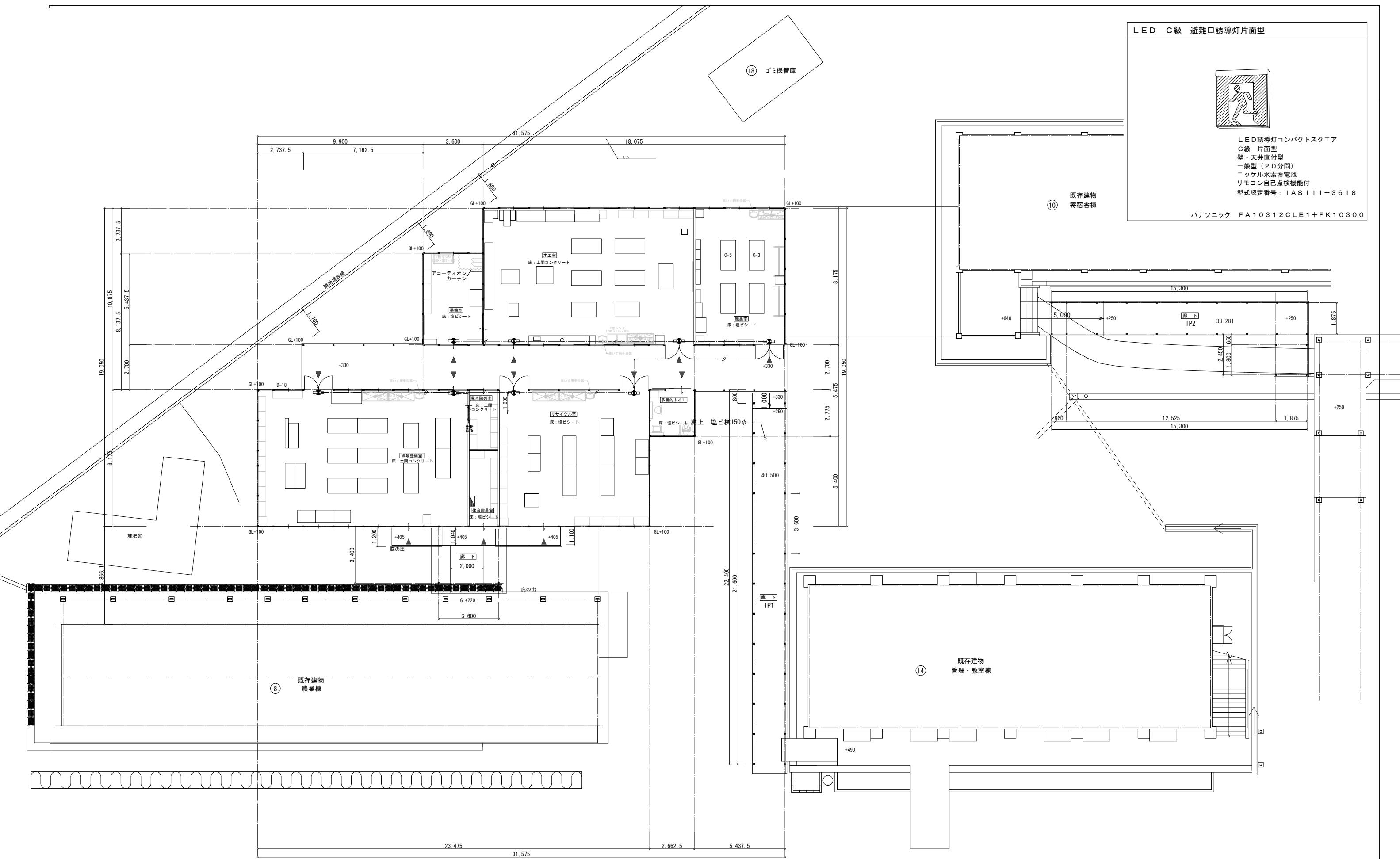
一級建築士事務所宮崎県知事登録
第0-5666号
野添義二 一級建築士大臣登録
第253725号

管理建築士
野添勝久
管理技術者
野添勝久
設計者
野添義二

工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

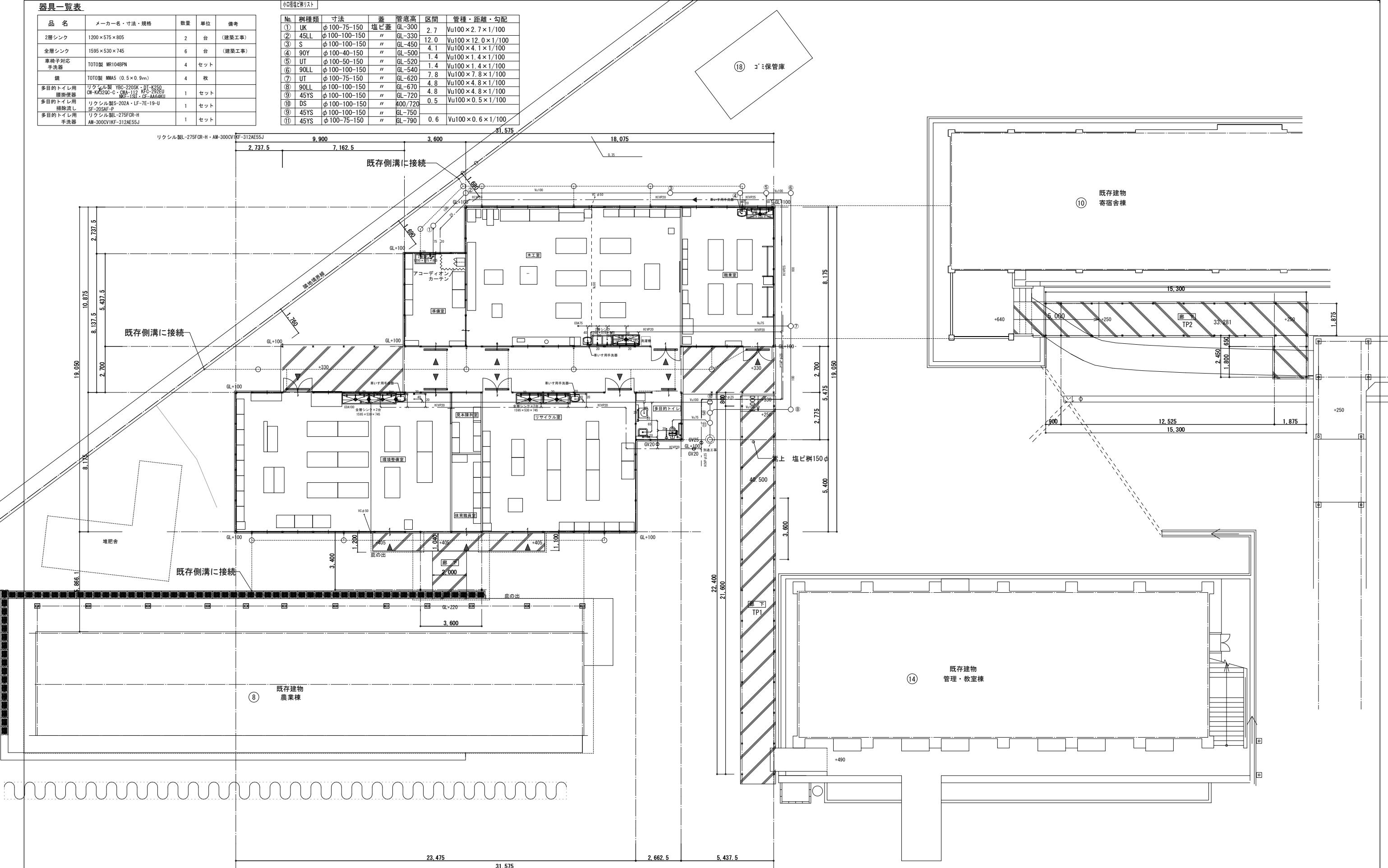
図面名称
(仮設校舎) 自動火災報知設備図

設計年月 2024.7	図面No. A-27
規格 A1	規格 A3
1/100	1/200



品名	メーカー名・寸法・規格	数量	単位	備考
2層シンク	1200×575×805	2	台	(建築工事)
全層シンク	1595×530×745	6	台	(建築工事)
車椅子対応 手洗器	TOTO製 MR104BPN	4	セット	
鏡	TOTO製 MMA5 (0.5×0.9m)	4	枚	
多目的トイレ用 腰掛便器	リクシル製 YBC-220SK-D1-K250 OH-KA320C-C・WA-112・KFC-2929KU NKF-1ST・CE-AA64KU	1	セット	
多目的トイレ用 掃除流し	リクシル製 L-202A・LF-7E-19-U SF-205AS-P	1	セット	
多目的トイレ用 手洗器	リクシル製 L-275CR-H AM-300VCKF-312AE55J	1	セット	

No.	樹種類	寸法	蓋	管底高	区間	管種・距離・勾配
①	UK	ø 100-75-150	塩 ^一 蓋	GL-300	2.7	Vu100×2.7×1/100
②	45LL	ø 100-100-150	"	GL-330	12.0	Vu100×12.0×0.1/100
③	S	ø 100-100-150	"	GL-450	4.1	Vu100×4.1×1/100
④	90Y	ø 100-40-150	"	GL-500	1.4	Vu100×1.4×1/100
⑤	UT	ø 100-50-150	"	GL-520	1.4	Vu100×1.4×1/100
⑥	90LL	ø 100-100-150	"	GL-540	7.8	Vu100×7.8×1/100
⑦	UT	ø 100-75-150	"	GL-620	4.8	Vu100×4.8×1/100
⑧	90LL	ø 100-100-150	"	GL-670	4.8	Vu100×4.8×1/100
⑨	45YS	ø 100-100-150	"	GL-720	0.5	Vu100×0.5×1/100
⑩	DS	ø 100-100-150	"	400/720		
⑪	45YS	ø 100-100-150	"	GL-750		
⑫	45YS	ø 100-75-150	"	GL-790	0.6	Vu100×0.6×1/100



※記事

建築士事務所名稱

有限会社 野添設

登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事
設計者 野添義二 一級建

管理建築
野添

野添
設計者

工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

図面名称 (仮設校舎) 給排水設備配置図・平面図

20
設計年

A1

図面No.

A-29

凡例

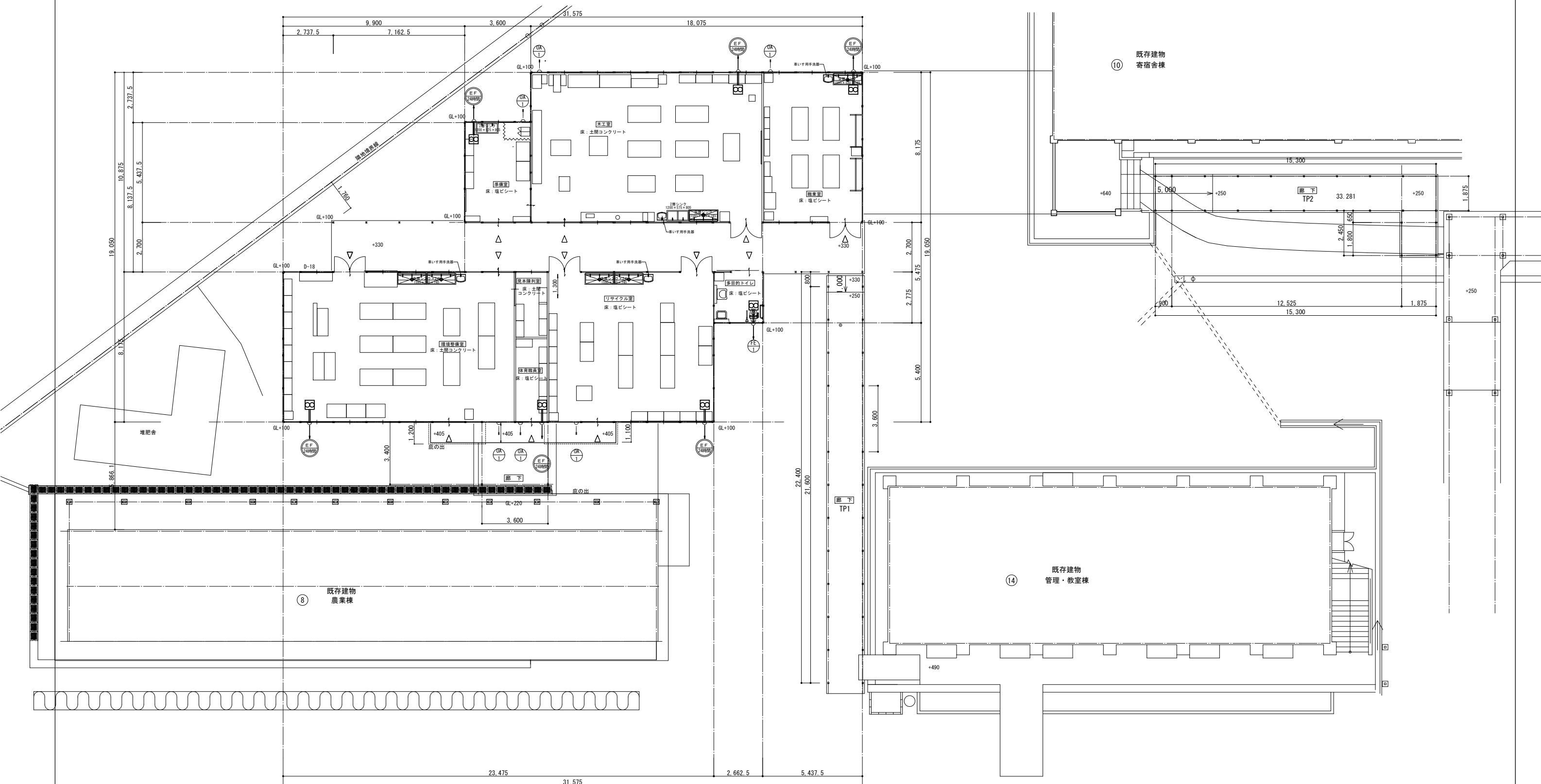
	※24時間換気扇 FY-24C8相当とする
	FY-24C8相当とする
	給気ガラリ φ100

換気機器表

記号	機器名称	仕様・能力・付属品	電気容量(60Hz)		数量	備考
			φ - V	w		
EF-1	天井埋込換気扇	低騒音形/樹脂製/ルーバーセットタイプ 型式:FY-24C8 風量: φ 100 × 108 m³/h × 35 Pa	1-100	10.5	7	
		スイッチ 壁付けモールボックス			7	
		樹脂製丸形フード(網付)、指定色塗装品			7	
DA-1	給気口	壁用φ100、フィルター付 給気グリル			6	

24時間換気計算 (使用換気扇 ハ'ナニック 型式:FY-24C8)

室名	床面積 [m²]	天井高 [m]	室容積 [m³]	換気種別	設計換気量 [m³/h]	
					記号	換気量 [m³/h]
準備室	19.58	3.045	59.63	第3種	EF-1	108 1.81
木工作室	103.32	3.1	320.30	第3種	EF-1	108 0.33
職業室	44.46	3.045	135.39	第3種	EF-1	108 0.79
環境整備室	103.32	3.045	314.61	第3種	EF-1	108 0.34
体育教員室	8.24	3.045	25.10	第3種	EF-1	108 4.30
リサイクル室	73.89	3.045	225.00	第3種	EF-1	108 0.48



※記事

建築士事務所名称

有限会社 野添設計

登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録

第0-5666号 第253725号

設計者 野添義二 一級建築士大臣登録

工事件名

高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

設計年月

2027.7

検

図

管理建築士 野添勝久

監

管理技術者 野添勝久

1/100

設計者 野添義二

(仮設校舎)換気設備図

図面No.

A-30

1/200

機器表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量				台数	設置場所	備考
			φ	V	冷房消費電力(kW)	暖房消費電力(kW)			
PAC-1	パッケージエアコン	壁掛形 1.0HP シングル 冷房能力:2.5kW 暖房能力:2.8kW ワイヤードリモコン、他標準付属品一式	1	200	0.196	0.721	(1) 1	体育職員室	参考品番:PKZ-ZRMP28SL4
PAC-2	パッケージエアコン	壁掛形 2.0HP シングル 冷房能力:4.5kW 暖房能力:5.0kW ワイヤードリモコン、他標準付属品一式	1	200	1.33	1.46	(1) 1	準備室	参考品番:PKZ-ERMP56SL4
PAC-3	パッケージエアコン	天井吊形 4.0HP シングル 冷房能力:10.0kW 暖房能力:11.2kW 防振吊金具、ワイヤードリモコン、他標準付属品一式	3	200	2.72	2.85	(2) 2	リサイクル室	参考品番:PCZ-ERMP112K4
PAC-4	パッケージエアコン	天井吊形 5.0HP シングル 冷房能力:12.5kW 暖房能力:14.0kW 防振吊金具、ワイヤードリモコン、他標準付属品一式	3	200	4.15	4.06	(3) 1	木工室	参考品番:PCZ-ERMP140K4
PAC-5	パッケージエアコン	天井吊形 6.0HP シングル 冷房能力:14.0kW 暖房能力:16.0kW 防振吊金具、ワイヤードリモコン、他標準付属品一式	3	200	5.12	5.01	(2) 1	木工室	参考品番:PCZ-ERMP160K4

注記)

1.屋外機には転倒防止措置を施す。

2.パッケージエアコンの定格冷暖房能力・定格冷暖房消費電力はJIS B 8616で規定された値を示す。

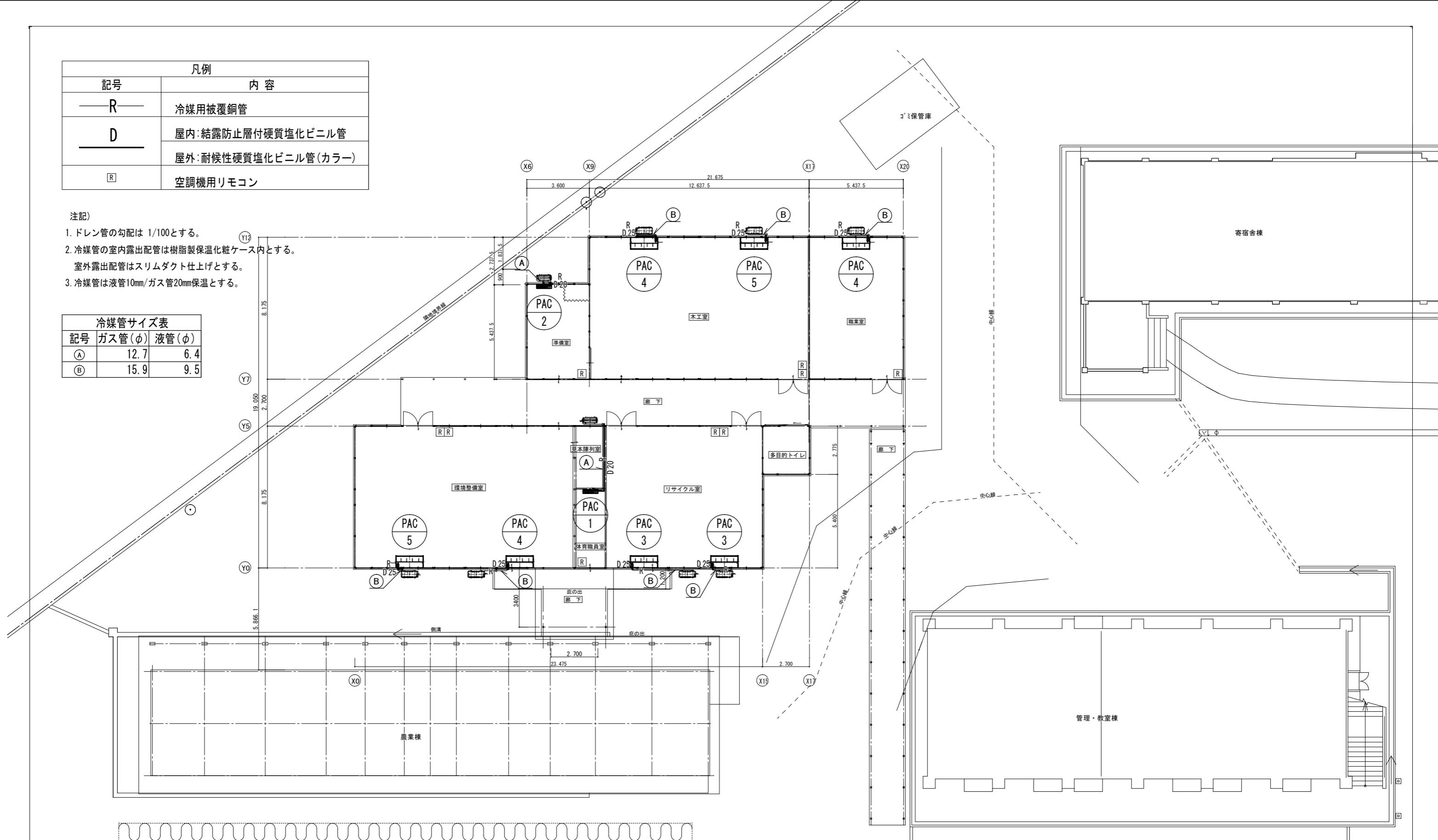
※記事	建築士事務所名称 登録番号 設計者	有限会社 野添設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 野添義二 一級建築士大臣登録	管理建築士 野添勝久	工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借	2024.7 A1 A3 No. Scale No. Scale	面図 面図 面図 A-31
			管理技術者 野添勝久			
			設計者 野添義二	図面名称 (仮設校舎) 空調設備機器リスト (リースエアコン)		

凡例	
記号	内容
R	冷媒用被覆銅管
D	屋内:結露防止層付硬質塩化ビニル管 屋外:耐候性硬質塩化ビニル管(カラー)
[R]	空調機用リモコン

注記)

1. ドレン管の勾配は 1/100とする。
2. 冷媒管の室内露出配管は樹脂製保温化粧ケース内とする。
室外露出配管はスリムダクト仕上げとする。
3. 冷媒管は液管10mm/ガス管20mm保温とする。

冷媒管サイズ表		
記号	ガス管(Φ)	液管(Φ)
(A)	12.7	6.4
(B)	15.9	9.5



※記事

建築士事務所名称
登録番号
設計者

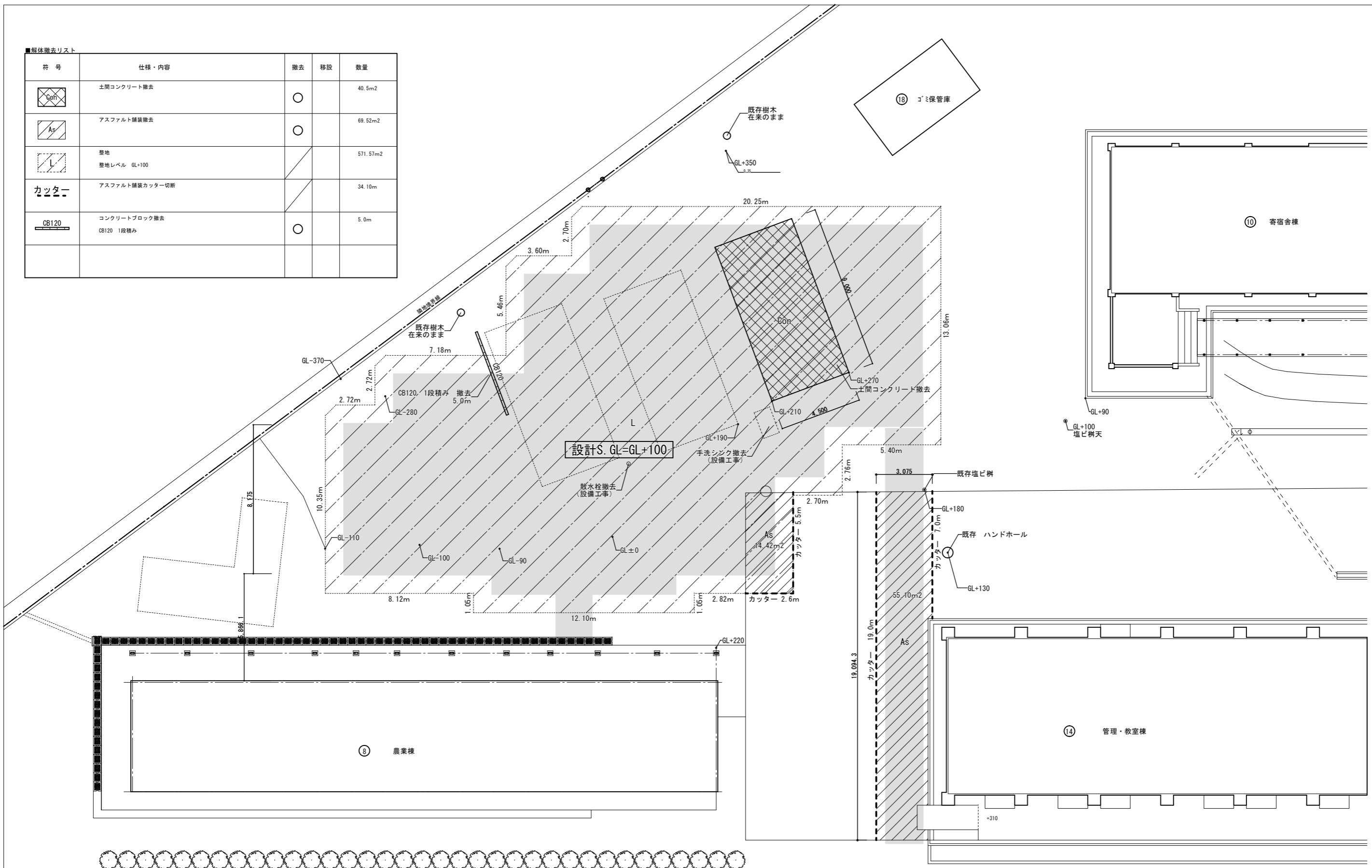
有限会社 野添設計
一級建築士事務所宮崎県知事登録
野添義二 一級建築士大臣登録

管理建築士
野添勝久
管理技術者
野添勝久
図面名称
（仮設校舎）空調設備（リースエアコン）平面図

工事件名
高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借
第C-5666号
第253725号

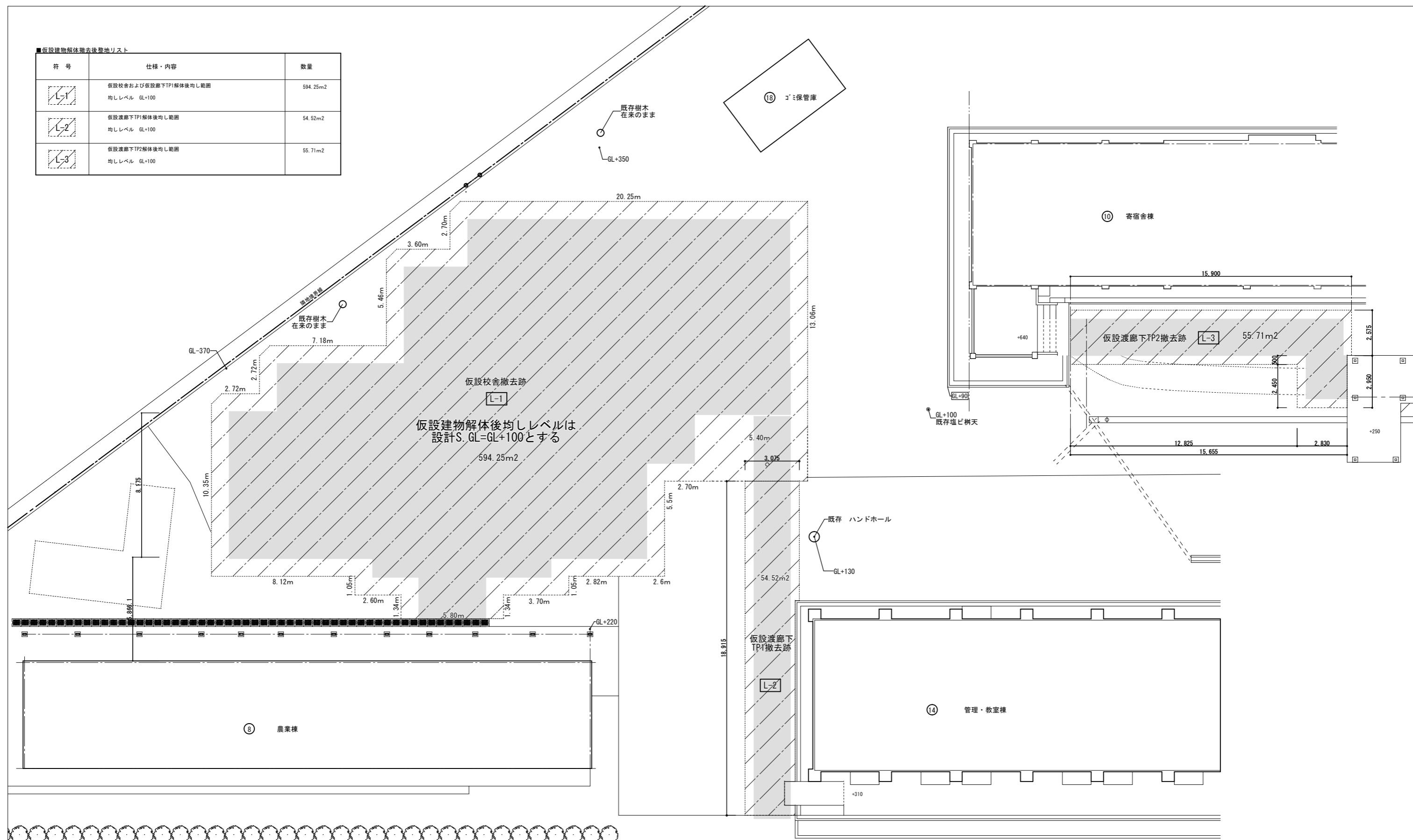
右半規	2024.7	A1 A3	1/100 1/200	図面No. A-32
左半規	右半規			

解体撤去リスト				
符 号	仕様・内容	撤去	移設	数量
	土間コンクリート撤去	○		40.5m ²
	アスファルト舗装撤去	○		69.52m ²
	整地 整地レベル GL+100	/		571.57m ²
カッター	アスファルト舗装カッター切断	/		34.10m
	コンクリートブロック撤去 CB120 1段積み	○		5.0m



■仮設建物解体撤去後整地リスト

符号	仕様・内容	数量
L-1	仮設校舎および仮設廊下TP1解体後均し範囲 均しレベル GL+100	594.25m ²
L-2	仮設渡廊下TP1解体後均し範囲 均しレベル GL+100	54.52m ²
L-3	仮設渡廊下TP2解体後均し範囲 均しレベル GL+100	55.71m ²



*記事

建築士事務所名称 有限会社 野添設計

登録番号 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第C-5666号
設計者 野添義二 一級建築士大臣登録 第253725号

工事件名 高等特別支援学校建設工事に伴う仮設校舎賃貸借

管理建築士 野添勝久
管理技術者 野添勝久
設計者 野添義二
（仮設校舎）仮設建築物解体後敷地整備図

右半規格	2024.7	A1 A3 1/100 1/200	図面No. A-34
左半規格	右半規格		